令和7年度　消防年報



四日市市消防本部

はじめに

この年報は、四日市市及び受託する三重郡朝日町、川越町にかかる主な消防業務を令和７年度を中心に収録し、将来の参考に資すると共に、広く消防事象を紹介するためにとりまとめたものです。

住民のみなさん及び関係者の方に広く活用され、本市消防行政に対する認識を一層深めていただければ幸いと存じます。

令和８年６月

四日市市消防本部

写真で見る令和７年度のあゆみ

□日勤救急隊の運用開始(R7.4.1)

高齢化の進展や感染症等の影響により救急需要が増加しており、特に平日昼間時間帯の救急隊の稼働率が高まっていることから、救急車の現場到着時間の短縮をはかるため、中消防署に平日の昼間のみ勤務する日勤救急隊を新たに創設し、４月１日から運用を開始しました。



□南消防署西南出張所新庁舎の運用開始(R8.2.26)

消防活動拠点としての機能強化を図るため、これまで小山田地区市民センター内に設置されていた西南出張所を、六名町地内に新たに独立した庁舎を建設し、３月８日から運用を開始しました。



□「横浜 DeNA ベイスターズ所属の東克樹氏」が消防出初式一日消防長に（R8. 1. 11）

今年は、四日市市出身で横浜 DeNA ベイスターズ所属の東克樹氏を一日消防長としてお迎えしました。東氏からは火災予防や災害に対する家庭での備えの重要性について、市民の皆様へわかりやすくお伝えいただきました。



目　　次

四日市市の位置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
四日市市の沿革・消防概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
署別地区別面積・世帯数・人口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
四日市市消防の沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～7
歴代消防長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
四日市市消防機構図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

総　務

一目統計（総務） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
令和７年度・８年度消防費歳出予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
消防費に対する人口世帯当たり額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
過去10年間の消防費の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
消防職員の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
消防職員特殊技能資格取得状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
階級別・所属別消防職員配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
消防職員年令別分布 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
消防職員勤続年数別分布 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
消防車両配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
消防用資機材配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
救急用資機材配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
職員研修実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
プリセプターシッププログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19～21
令和７年度主要記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
令和８年度消防重点事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23･24
相互応援協定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

警　防

一目統計（火災） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
令和７年中の火災概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
火災概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
火災発生状況比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
出火率比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
地区別火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
月別・曜日別・時間帯別火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
出火原因別火災発生概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
過去10年間年別主な火災原因 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
過去10年間の火災発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
海上・沿岸防災等（上野マリタイム・ジャパン株式会社委託状況） ・・・・・・・・・・・・・・ 35
火災・救助以外の消防車両の出動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
消防水利状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
開発行為に関する事前協議等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
緊急消防援助隊の派遣体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
四日市市消防支援隊の活動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
防災教育センター利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
四日市市防災指導員制度（指導状況） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
防火・防災教室の経緯と現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

救助･救急

一目統計（救助） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
救出・救助活動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
水難救助隊の災害出動概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
一目統計（救急） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
令和７年中の救急業務の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48･49
救急概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
救急発生状況比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
過去10年間の救急発生状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
地区別救急出場状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
月別救急出場状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
応急手当の普及計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
応急手当普及啓発活動の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
心肺機能停止傷病者の救命率 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

通信・気象

一　目　統　計　（通　信）・・・・・・・・・・ 56
指令事務の共同運用・消防通信施設の概要・・・・・・・・・・ 57
１１９番通報受付取扱状況・・・・・・・・・・ 58
通信施設保有状況・・・・・・・・・・ 59
無 線 配 置 状 況・・・・・・・・・・ 59
警報・注意報・情報等の発表状況・・・・・・・・・・ 60

予　防

一　目　統　計　（予 防）・・・・・・・・・・ 61
広 報 活 動 状 況・・・・・・・・・・ 62
広 報 用 印 刷 物・・・・・・・・・・ 62
建築同意状況及び防火対象物の推移・・・・・・・・・・ 63
建 築 同 意 件 数・・・・・・・・・・ 63
消防用設備等届出状況・・・・・・・・・・ 63
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況・・・・・・・・・・ 63
危険物施設数及び設置許可数の推移・・・・・・・・・・ 64
危険物関係事務処理状況・・・・・・・・・・ 64
火災予防条例等に基づく届出事務処理状況・・・・・・・・・・ 65
防火対象物状況（階層別）・・・・・・・・・・ 66
防火対象物状況（消防用設備別）・・・・・・・・・・ 67
防火対象物状況（地区別）・・・・・・・・・・ 68
数量・類別危険物施設設置状況・・・・・・・・・・ 69
地区別危険物施設設置状況・・・・・・・・・・ 70
事業所等別危険物施設状況・・・・・・・・・・ 71
コンビナート概要・・・・・・・・・・ 72
特 定 防 災 施 設・・・・・・・・・・ 72
コンビナート防災体制・・・・・・・・・・ 73･74
四日市臨海地区特定事業所配置図・・・・・・・・・・ 75･76

消 防 団

四日市市消防団の沿革・・・・・・・・・・ 77･78
歴 代 消 防 団 長・・・・・・・・・・ 78
消防団員の配置状況・・・・・・・・・・ 79
消 防 団 員 の 状 況・・・・・・・・・・ 80
消防団員出動状況・・・・・・・・・・ 81
消防団訓練・研修実施状況・・・・・・・・・・ 81
サルビア分団活動状況・・・・・・・・・・ 82
消防団防災支援員の登録状況・・・・・・・・・・ 82

四　日　市　市　の　位　置



北緯　34°　57′
東経　136°　38′
面積　206.50㎢



東西最長
２３．７６km

南北最長１８．２０ｋｍ

四日市市の沿革

四日市市は三重県の北部に位置し、西は鈴鹿山系、東は伊勢湾に面した温暖な地域です。すでに旧石器時代から人々が住み、市内には縄文から弥生時代の遺跡も数多く存在しています。市内各所に古墳が築かれ、なかでも志氏神社古墳は市内唯一の前方後円墳として知られています。８～１０世紀には智積廃寺や上品寺の釈迦如来座像など四日市地域への仏教文化の広がりが認められ、また、多度神宮寺伽藍縁起并資財帳によれば条理が整備されていた様子がうかがえ、平安から鎌倉時代には伊勢平氏の活躍の舞台でありました。それだけに鎌倉、南北朝、室町時代には時の指導者がその被官を北伊勢に配置しました。

１４７３年の外宮庁宣に「四ケ市庭浦」の地名が出てきます。この頃すでに定期市「四日市」が立っていたことがうかがえます。江戸時代、市場町・湊町の四日市に「宿場町」「陣屋・代官所の町」が加わり、北勢の行政・商業の中心地として知られるようになりました。幕末から明治にかけ、菜種油・肥料の生産や取引の盛んな町として栄え、四日市港の修築を機に、生糸、紡績を中心とした繊維工業へ、さらに機械工業や化学工業の進出が相次ぎ、日本の近代工業化への歩みを模したかのような形で四日市地域が商工業の都市に進展しました。明治３０年に市制を施行し、昭和５年に塩浜、海蔵の両村を合併して以来、周辺町村を併合し平成１７年２月の楠町との合併で現在の市域になりました。昭和３０年代以降石油化学工場等の進出は、大気汚染等の公害をもたらしましたが、今では環境浄化に努力し、自然との調和を目指した街づくりにまい進しています。

消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・救急救命室・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の３消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市中央部に中央分署、市北部に北部分署、市南部に南部分署、市西部に西分署、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っています。

これに対応する消防力として、消防職員３７８名、消防車両９０台のほか、１消防団及び市内各地区に２５分団・団員５６４名、消防車両３０台を配備しています。

署別地区別面積・世帯数・人口

（令和8年4月1日）

署別・地区別		面積（k㎡）	世帯数	人　口	人口密度(1k㎡あたり)
合　　計		221	160,004	331,692	1,499
中消防署管内	小　計	68	64,449	130,242	1,913
	共　同	1	4,562	7,745	7,041
	同　和	0	329	659	5,492
	中　央	1	1,116	2,034	3,912
	港	2	909	1,450	806
	浜　田	3	7,128	11,979	3,993
	橋　北	3	2,712	5,098	1,946
	海　蔵	4	6,281	13,104	3,590
	常　磐	5	14,519	28,055	5,737
	川　島	8	4,919	11,261	1,427
	神　前	7	3,059	6,743	911
	桜	12	6,138	13,887	1,155
	県	11	2,834	6,624	589
	三　重	12	9,943	21,603	1,826
北消防署管内	小　計	66	53,550	114,675	1,739
	羽　津	9	8,782	18,092	2,056
	富　田	5	6,144	12,538	2,569
	富洲原	2	4,065	8,201	4,060
	大矢知	7	10,120	21,779	3,161
	八　郷	10	5,590	12,331	1,208
	下　野	8	3,949	8,490	1,122
	保　々	11	2,713	6,288	579
	朝日町	6	4,506	11,102	1,853
	川越町	9	7,681	15,854	1,818
南消防署管内	小　計	87	42,005	86,775	995
	塩　浜	8	3,218	5,708	688
	日　永	7	9,151	18,474	2,555
	四　郷	8	11,143	22,437	2,671
	内　部	12	7,896	18,175	1,476
	河原田	5	2,424	5,001	977
	小山田	18	1,962	4,069	222
	水　沢	20	1,183	2,789	142
	'楠	8	5,028	10,122	1,291
四日市市		207	147,817	304,736	1,476
受託2町		15	12,187	26,956	1,832

四 日 市 市 消 防 の 沿 革

明治19年	四日市に初めて火防組1組が組織される　消防夫59人
明治20年	火防組12組　消防夫864人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組　消防夫1，396人となる
明治27年2月	勅令をもって消防規則が公布される
明治28年12月26日	各町自警消防組を統合し、新たに四日市町消防組として発足 四日市町消防組　第1番組　川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第2番組　西町、久六町、比丘尼町、堅町、南町、北町、上新町 （共同地区） 第3番組　中町、境町、八幡町、中新町、四ツ谷新町、南新町 （同和地区） 第4番組　浜町、北条町、下新町、新町（同盟地区） 第5番組　蔵町、北納屋町、中納屋町、桶ノ町、袋町、高砂町、 稲葉町、南納屋町（港地区） 第6番組　浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員　組頭1人　小頭6人　消防手193人　合計200人 配備器具　ポンプ6　大水桶12　小水桶64　梯子6　鳶口31　刺又6　釣瓶13 斧6　大縄6　纏6　旗6　高張提灯6　弓張提灯62　消口札6
明治30年	市制実施とともに四日市町消防組も市に引き継がれる
大正6年10月	第5番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年1月	総ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和5年	市域の拡大に伴って第7番組（海蔵地区）　第8番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和7年	本市上水道工事が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年1月	政府は準戦時体制から戦時体制に切替え、警防団令を発令した
昭和14年4月1日	昭和6年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体一本化し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の8分団とした 定員　622人　（うち本部消防部16人） 分団に警防、消防、救護の3部を置く 初代警防団長　九鬼紋七氏
昭和15年1月16日	分団とは別に常備の本部消防部が組織され、部員が任命され事務所を市役所に置く 本部消防部定員16人（部長1副部長1警防員14） 警防団の装備　自動車ポンプ　5台（うち本部所属1台）　三輪自動車ポンプ1台　ガソリンポンプ2台 サイドカー1台（本部所属1台） 初代部長　　東　平三氏
昭和15年4月16日	本部消防部の勤務体制を2部制24時間勤務とし、望楼見張勤務を始める
昭和15年6月4日	本部消防部にポンプ自動車配置 日産ポンプ自動車　29AT式KMC2段タービン26馬力 （警防団長　九鬼紋七氏の寄付）
昭和16年8月28日	本部消防部詰所に火災報知専用電話を設置（警察署より移転）
昭和16年	本市が富田町等2町3村を併合
昭和22年4月8日	千歳町に常備消防港出張所を開所 ポンプ自動車2台配備　本部員7人（本部と輪転勤務）
昭和23年3月7日	消防組織法が施行され、消防団は大正6年から続いていた警察行政から分離し、自治体消防に形を変える
昭和24年3月29日	四日市市常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置 消防職員55人　消防自動車4台（速消車1・普通消防車3） 初代消防長に吉田千九郎氏（四日市市長兼務）　就任
昭和26年6月20日	消防本部富田出張所を建設・開所　消防職員定員　70名
昭和29年5月8日	機構改革により消防本部を分離して四日市消防署を設置し、港、富田出張所をその傘下に統一した
昭和29年11月15日	吉田千九郎氏消防長を退任
昭和29年11月16日	2代目消防長に中村松次郎氏就任
昭和29年12月1日	消防本部の機構改革により総務・整備・消防・予防の4係を置く
昭和32年4月1日	消防職員定員　90名
昭和32年11月1日	消防と警察の特別援助協力協定を締結
昭和34年2月24日	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
昭和35年4月1日	消防職員定員　91名
昭和35年12月15日	救急業務を開始
昭和36年3月31日	中村松次郎氏消防長を退任
昭和36年4月1日	消防職員定員　106名
昭和36年4月15日	3代目消防長に竹内鉄雄氏就任
昭和36年5月1日	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・消防・予防の4係を置き、消防署に 総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
昭和37年1月20日	南出張所を開所
昭和38年4月1日	消防職員定員　125名
昭和38年5月24日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定締結
昭和39年4月1日	消防職員定員　139名
昭和39年10月1日	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格

昭和40年10月1日	桜、保々分遣所を開所
昭和41年4月1日	消防職員定員　159名
昭和42年4月1日	消防職員定員　166名
昭和43年3月31日	竹内鉄雄氏消防長を退任
昭和43年4月1日	4代目消防長に冨山光三氏就任　消防職員定員　171名
昭和43年7月1日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を締結
昭和44年3月31日	一斉指令装置を設置
昭和44年4月1日	消防職員定員　176名
昭和45年4月1日	機構改革により、本部の2課4係にあらたに予防課を設け、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・ 通信・救急・予防・危険物の6係とした　中消防署港出張所を同署港分署に昇格 消防職員定員　185名
昭和45年5月21日	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
昭和46年4月1日	消防職員定員　190名
昭和46年4月6日	北消防署庁舎改築（鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積760.31㎡、監視用テレビカメラ装置付）
昭和46年5月22日	消防と海上保安部の船舶消防に関する業務協定を改定締結
昭和47年3月31日	冨山光三氏消防長を退任
昭和47年4月1日	5代目消防長に倉谷徳助氏就任
昭和49年4月1日	消防職員定員　191名
昭和49年6月4日	南消防署庁舎改築（鉄筋コンクリート造2階建、建築延面積759.9㎡）
昭和50年3月31日	倉谷徳助氏消防長を退任
昭和50年4月4日	6代目消防長に松村佳美氏就任　消防職員定員　193名
昭和50年10月1日	小山田分遣所を開所
昭和50年10月22日	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市及び長島町の高速道路における消防相互応援協定を締結
昭和51年4月1日	消防職員定員　194名
昭和51年4月16日	機構改革により、本部予防課に指導査察係を置く
昭和52年3月25日	石油コンビナート等災害防止法に基づき、高所放水車・大型化学車・泡原液搬送車の3点セットを 中消防署に配備
昭和52年4月1日	消防職員定員　197名
昭和52年7月1日	機構改革により、本部に警防技監・主幹・主任を、消防署に副署長・主任の設置制度及び中消防署に 消防第3係を設け、本部通信救急係を通信指令室に改めた
昭和53年3月31日	通信指令室に防災指令装置を設置　望楼見張勤務を廃止した 松村佳美氏消防長を退任
昭和53年4月1日	消防職員定員　200名
昭和53年4月5日	7代目消防長に渡邊靖三氏就任
昭和53年12月23日	四日市市と楠町、川越町、朝日町の救急業務に関する応援協定を改定締結
昭和54年4月1日	消防職員定員　207名
昭和55年4月1日	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係 を置き、通信指令室を指令第1及び第2係に改めた　消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止した 消防職員定員　215名
昭和56年2月26日	中消防署に救助工作車を配備
昭和56年4月1日	消防職員定員　222名
昭和57年4月1日	消防職員定員　227名
昭和57年12月1日	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用開始
昭和58年4月1日	消防職員定員　232名
昭和58年9月30日	渡邊靖三氏消防長を退任
昭和58年10月1日	8代目消防長に山口博氏就任
昭和59年4月1日	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、 総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、 予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹・主査及び副主査制度を設けた 消防職員定員　236名
昭和59年10月31日	消防本部・中消防署合同庁舎改築（本館棟、鉄骨鉄筋コンクリート造5階一部6階建、建築延面積3，829.09㎡）
昭和60年4月1日	消防職員定員　235名
昭和60年10月18日	桜分遣所改築
昭和62年4月1日	機構改革により消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係に第3係を増設し、3係制とした 消防職員定員　240名
昭和62年11月30日	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
昭和63年3月31日	桜分遣所を廃止した
昭和63年4月1日	中消防署西分署を開設（鉄筋コンクリート造平屋建　延べ面積390.85㎡）、4月8日から業務開始、 4月18日竣工式を挙行　機構改革により、西分署に消防第1係、消防第2係、消防第3係を設置し 港分署水上係を水上第1係、水上第2係、水上第3係に改めた 海上分団に普通ポンプ自動車（旧第4号車）を配備した
平成元年10月2日	消防業務のOAシステム（予防）の運用を開始した
平成2年3月31日	山口博氏消防長を退任
平成2年4月2日	9代目消防長に島村隆氏就任
平成2年10月1日	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の運用を開始した
平成2年12月6日	中消防署にはしご付消防自動車（45m）を配備
平成3年1月21日	消防業務のOAシステム（指令管制）の運用を開始した
平成3年2月28日	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・ 同覚書の調印を行った

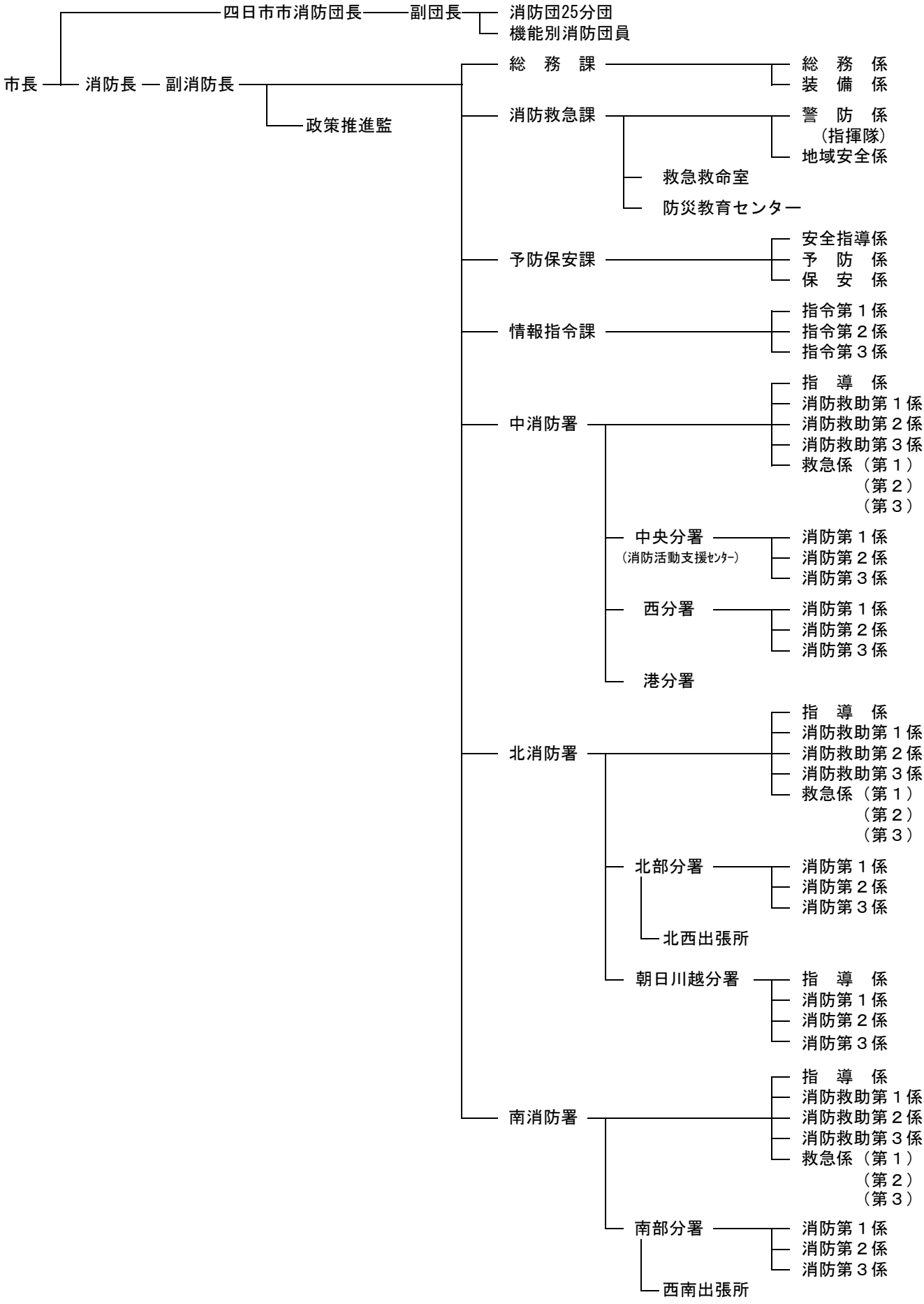
平成3年4月1日	中消防署港分署庁舎移転・新築（鉄筋コンクリート造一部2階建延べ面積208,75㎡） 消防職員定員　245名
平成4年4月1日	三重郡楠町、朝日町及び川越町の消防事務受託に伴い消防職員を増員 消防職員定員　274名 県下初の女性消防吏員3名を採用
平成4年4月15日	消防本部次長を2人制とし、消防課に救急救助係を設けた
平成4年6月23日	救急救命中央研修所及び大阪市消防学校において各1名が研修を終了し、4月19日第1回 救急救命士国家試験に合格 県下初の救急救命士　2名誕生
平成5年2月10日	三重郡楠町の消防事務受託に際し、南消防署を一部増築（事務所部分135,18㎡）
平成5年2月26日	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を建設（鉄筋 コンクリート造一部2階建、延べ面積560㎡）竣工式を挙行
平成5年3月1日	三重郡楠町、朝日町、川越町の消防事務を受託し業務開始 北消防署朝日川越分署を開署 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車1台、広報車・軽トラック各1台を配備、予防係、消防第1係、 消防第2係、消防第3係、を設置し分署長以下18名で業務を開始した
平成5年4月1日	機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設けた 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始した 消防音楽隊を再結成し、練習・訓練を開始した 消防職員定員　284名
平成6年4月1日	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した 消防職員定員　286名
平成7年3月　3日	四日市市消防本部・四日市市消防団連名で、消防庁長官表彰・表彰旗を受章
平成7年4月1日	消防職員定員　290名
平成8年3月31日	島村隆氏消防長を退任
平成8年4月1日	10代目消防長に小山佳志氏就任 消防職員定員　294名
平成8年7月12日	消防緊急通信指令システム運用開始
平成9年4月1日	機構改革により、消防本部に防災教育センター、中消防署に特別救急救助第1、第2、第3係を設けた
平成9年4月10日	北消防署、防災教育センター竣工
平成10年2月1日	予防システムのOA機器更新
平成10年4月1日	機構改革により、消防本部総務課の所管として情報指令室を置き、同課施設装備係を装備係に、 消防課を消防救急課に、同課の防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、予防課を 予防保安課に、同課の建築物係を予防係に、危険物係を保安係に、指導査察係を安全指導係に、 各消防署及び朝日川越分署の予防係を指導係に、中消防署の消防第1～3係及び特別救急救助 第1～3係を消防救助第1～3係及び救急係に改称し、北消防署及び南消防署に救急係を設置した 消防職員定員　293名
平成10年10月5日	北勢地域携帯電話119番通報運用開始
平成11年3月31日	小山佳志氏消防長を退任
平成11年4月1日	消防職員定員　292名
平成11年4月3日	11代目消防長に星合隆毅氏就任
平成12年10月1日	北消防署保々分遣所を廃止し、新たに北消防署北西救急分駐所（職員3名、救急車1台）を開設
平成14年2月27日	中消防署に救助工作車（Ⅲ型）を増強配備した
平成14年3月31日	小山田分遣所を廃止
平成14年4月1日	機構改革により北消防署消防係を消防救助係に改め、救助工作車の運用を開始した
平成14年10月1日	小山田地区市民センター内に、新たに南消防署西南救急分駐所（職員3名、救急車1台）を開設
平成15年3月31日	星合隆毅氏消防長を退任 消防音楽隊活動休止
平成15年4月1日	12代目消防長に鈴木史郎氏就任 四日市市消防本部水難救助隊発足
平成15年4月13日	四日市市消防本部水難救助隊発足式
平成16年4月1日	四日市市消防団防災支援者制度発足
平成16年8月20日	四日市市消防支援隊発足
平成17年1月1日	消防情報支援システムの運用開始
平成17年2月7日	四日市市と楠町が合併し新たな四日市市が誕生
平成17年4月1日	機構改革により消防本部総務課情報指令室を消防本部情報指令課に改組した 消防音楽隊を再編し、活動再開
平成17年8月9日	北勢地域携帯電話からの119番通報がブロック代表受信方式から直接受信方式に切替
平成18年3月31日	鈴木史郎氏消防長を退任
平成18年4月1日	13代目消防長に北川保之氏就任 消防職員定員　310名
平成18年7月10日	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会の設置
平成19年4月1日	消防職員定員　320名 四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用を開始 機構改革により消防本部消防救急課の指揮支援隊の24時間体制を開始、南消防署消防係を 消防救助係に改め救助工作機能付消防ポンプ自動車の運用を開始した
平成20年4月1日	消防職員定数　320名 特別救助隊に替えて中消防署に高度救助隊を導入
平成20年11月1日	中消防署中央分署（消防活動支援センター）を開署（鉄筋コンクリート造3階建　敷地面積 5，227㎡） 11月10日から業務開始　11月16日開署式を挙行

平成22年3月31日	北川保之氏消防長を退任 楠町消防団解団
平成22年4月1日	14代目消防長に川北悟司氏就任 四日市市消防団の1元化を図るとともに機能別消防団員の新設および各分団定数増を図り定数620名とする 職員6名を国際消防救助隊(IRT)へ登録 西南および北西救急分駐所へ消防ポンプ自動車を配備し、西南及び北西出張所に名称変更した
平成23年4月1日	機構改革により消防次長制を改め副消防長を設置した
平成24年4月1日	機構改革により消防本部消防救急課に救急救命室を設置した
平成25年1月15日	救急ワークステーション試行運用開始
平成26年3月31日	川北悟司氏消防長を退任
平成26年4月1日	15代目消防長に後藤善博氏就任 救急ワークステーション本格運用開始
平成27年3月26日	ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)の中核となる大型放水砲車及び 大容量送水ポンプ車を配備した
平成27年3月31日	後藤善博氏消防長を退任
平成27年4月1日	16代目消防長に山本良也氏就任 消防職員定員　361名
平成28年4月1日	四日市、桑名、菰野消防本部が中消防署中央分署内で消防指令センターの共同運用開始
平成29年3月31日	山本良也氏消防長を退任
平成29年4月1日	17代目消防長に坂倉啓史氏就任 消防本部消防救急課の指揮支援隊を指揮隊とした 南消防署南部分署開署
平成30年4月1日	北消防署北部分署開署
平成30年11月1日	北消防署と南消防署に特別救助隊を設置した
平成31年3月28日	南消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配備した
平成31年4月1日	ドローン隊の運用を開始した 消防職員定員　381名
令和2年3月27日	重機と重機搬送車を中央分署に配備した
令和3年3月31日	坂倉啓史氏消防長を退任
令和3年4月1日	18代目消防長に人見実男氏就任
令和3年12月10日	南消防署南部分署及び北消防署北部分署において消防隊と救急隊の2隊運用を開始
令和5年3月31日	中消防署中央分署に13mブーム付多目的消防自動車を配備した
令和5年4月17日	南消防署を改築(鉄骨鉄筋コンクリート造3階建、建築延面積1,811.05㎡)
令和6年3月31日	人見実男氏消防長を退任
令和6年4月1日	19代目消防長に真弓明之氏就任
令和6年4月1日	消防本部ホームページリニューアル
令和6年5月12日	防災教育センターリニューアル
令和6年7月8日	北消防署北西出張所開所
令和7年3月31日	真弓明之氏消防長を退任
令和7年4月1日	20代目消防長に小谷正人氏就任
令和7年4月1日	日勤救急隊運用開始
令和8年2月26日	南消防署西南出張所開所

歴　代　消　防　長

代	氏名	在　　職　　期　　間
初	吉 田 千 九 郎	昭和24年3月29日～昭和29年11月15日
2	中 村 松 次 郎	昭和29年11月16日～昭和36年3月31日
3	竹 内 鉄 雄	昭和36年4月15日～昭和43年3月31日
4	冨 山 光 三	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日
5	倉 谷 徳 助	昭和47年4月1日～昭和50年3月31日
6	松 村 佳 美	昭和50年4月4日～昭和53年3月31日
7	渡 邊 靖 三	昭和53年4月5日～昭和58年9月30日
8	山 口　博	昭和58年10月1日～平成2年3月31日
9	島 村　隆	平成2年4月2日～平成8年3月31日
10	小 山 佳 志	平成8年4月1日～平成11年3月31日
11	星 合 隆 毅	平成11年4月3日～平成15年3月31日
12	鈴 木 史 郎	平成15年4月1日～平成18年3月31日
13	北 川 保 之	平成18年4月1日～平成22年3月31日
14	川 北 悟 司	平成22年4月1日～平成26年3月31日
15	後 藤 善 博	平成26年4月1日～平成27年3月31日
16	山 本 良 也	平成27年4月1日～平成29年3月31日
17	坂 倉 啓 史	平成29年4月1日～令和3年3月31日
18	人 見 実 男	令和3年4月1日～令和6年3月31日
19	真 弓 明 之	令和6年4月1日～令和7年3月31日
20	小 谷 正 人	令和7年4月1日～現在

四日市市消防機構図


四日市市消防団長
副団長
消防団25分団
機能別消防団員
市長
消防長
副消防長
政策推進監
総　務　課
総　務　係
装　備　係
消防救急課
警　防　係
（指揮隊）
地域安全係
救急救命室
防災教育センター
予防保安課
安全指導係
予　防　係
保　安　係
情報指令課
指令第１係
指令第２係
指令第３係
中消防署
指　導　係
消防救助第１係
消防救助第２係
消防救助第３係
救急係（第１）
（第２）
（第３）
中央分署
（消防活動支援ｾﾝﾀｰ）
消防第１係
消防第２係
消防第３係
西分署
消防第１係
消防第２係
消防第３係
港分署
北消防署
指　導　係
消防救助第１係
消防救助第２係
消防救助第３係
救急係（第１）
（第２）
（第３）
北部分署
消防第１係
消防第２係
消防第３係
北西出張所
朝日川越分署
指　導　係
消防第１係
消防第２係
消防第３係
南消防署
指　導　係
消防救助第１係
消防救助第２係
消防救助第３係
救急係（第１）
（第２）
（第３）
南部分署
消防第１係
消防第２係
消防第３係
西南出張所

総　　務

一 目 統 計

（三重郡朝日町・川越町消防事務受託分含む）

消　防　予　算		4,977,858,000円（市予算 3.27%）
一 般 会 計 総 予 算		152,230,000,000円
消 防 職 員 定 数		381 人 以内
市　職　員　定　数		3,441 人 以内
人　口（委託2町含む）		331,692 人
人口の最も多い地区	（四日市市）常磐地区	28,055 人
人口の少ない地区	（四日市市）同和地区	659 人
消 防 車 両 等		
（常 備）はしご自動車		2 台
	化学消防ポンプ自動車	2 台
	水槽付ポンプ自動車	9 台
	消防ポンプ自動車	8 台
	小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
	大型化学高所放水車	1 台
	はしご機能付高所放水車	1 台
	13mブーム付多目的消防ポンプ自動車	1 台
	泡原液搬送車	2 台
	救助工作車	3 台
	高規格救急自動車	15 台
	大容量送水ポンプ車	1 台
	大型放水砲車	1 台
	人員搬送車	1 台
	軽救命消防車	3 台
	水難救助車	1 台
	その他車両	38 台
（非常備）	消防ポンプ自動車	25 台
	資機材搬送車	2 台
	バイク	3 台
参 考（受託2町非常備）		
（朝日町）水槽付ポンプ自動車		1 台
	可搬式ポンプ積載車	5 台
	指令車	1 台
（川越町）水槽付ポンプ自動車		1 台
	可搬式ポンプ積載車	11 台
	救助資機材搭載型車両（小型動力消防ポンプ積載車）	1 台

令和7年度・令和8年度消防費歳出予算（当初予算額）

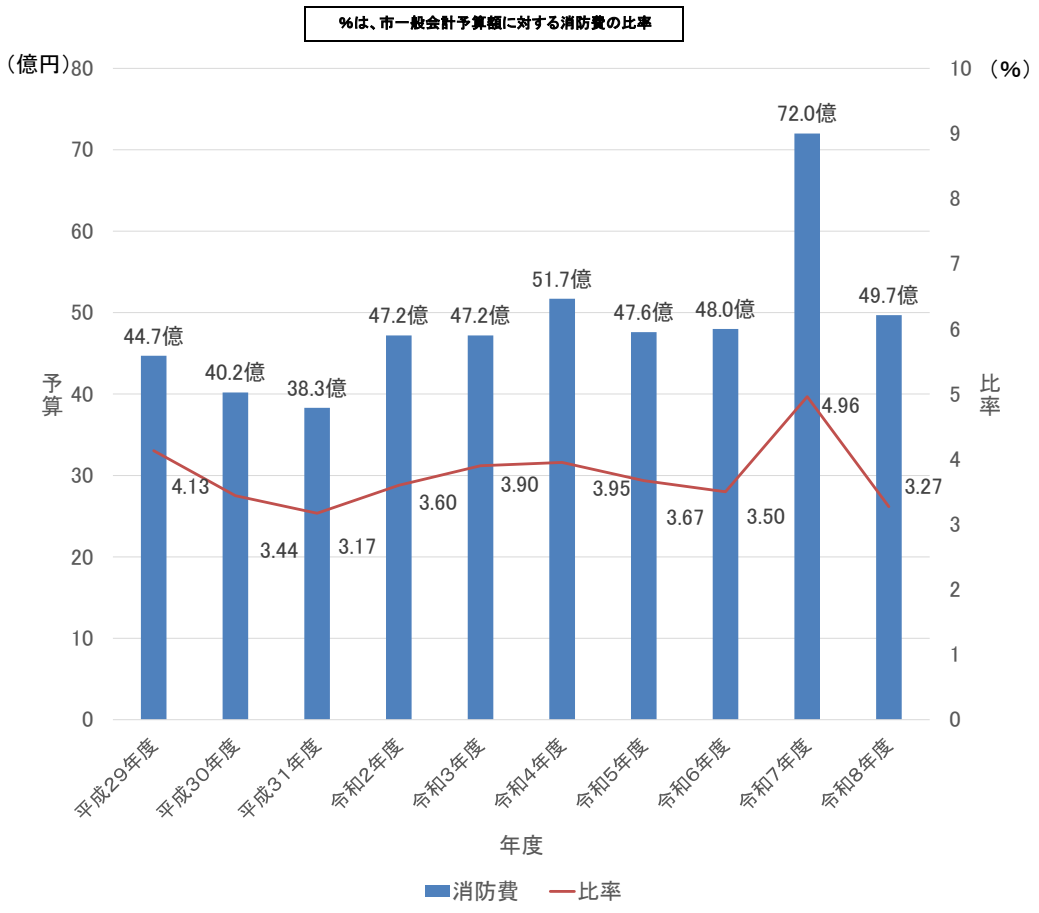
（千円）

款　項　目	節	令和7年度	令和8年度	比較増△減
消　防　費		7,209,811	4,977,858	△ 2,231,953
消　防　費		7,209,811	4,977,858	△ 2,231,953
常備消防費		4,028,632	4,234,336	205,704
	報　　酬	23,320	26,169	2,849
	給　　料	1,494,558	1,547,455	52,897
	職 員 手 当	1,448,597	1,586,172	137,575
	共　済　費	561,085	571,762	10,677
	報　償　費	1,578	1,773	195
	旅　　費	5,836	7,366	1,530
	需　用　費	161,740	164,704	2,964
	役　務　費	13,272	13,289	17
	委　託　料	95,540	110,440	14,900
	使用料及び賃借料	19,868	24,773	4,905
	工 事 請 負 費	45,469	49,811	4,342
	原 材 料 費	7	7	0
	備 品 購 入 費	34,203	25,420	△ 8,783
	負担金補助及び交付金	77,523	52,959	△ 24,564
	補償補填及び賠償金	46,000	52,200	6,200
	公　課　費	36	36	0
非常備消防費		143,854	149,475	5,621
	報　　酬	84,489	85,289	800
	共　済　費	14,151	14,151	0
	災 害 補 償 費	2,720	2,835	115
	報　償　費	10,461	10,478	17
	旅　　費	4,661	4,865	204
	需　用　費	14,673	14,911	238
	役　務　費	493	2,448	1,955
	委　託　料	3,450	3,120	△ 330
	使用料及び賃借料	1,203	940	△ 263
	工 事 請 負 費	0	500	500
	原 材 料 費	28	0	△ 28
	備 品 購 入 費	145	2,137	1,992
	負担金補助及び交付金	7,380	7,801	421
消防施設費		3,034,832	583,907	△ 2,450,925
	需　用　費	400	0	△ 400
	役　務　費	940	0	△ 940
	委　託　料	25,485	9,660	△ 15,825
	工 事 請 負 費	2,431,607	276,028	△ 2,155,579
	備 品 購 入 費	576,400	298,219	△ 278,181
水　防　費		2,493	10,140	7,647
	需　用　費	1,640	1,640	0
	委　託　料	253	600	347
	原 材 料 費	600	7,900	7,300

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世　帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
令和4年度	5,179,336	335,844	154,273	15,422	33,573
令和5年度	4,764,928	335,447	156,095	14,205	30,526
令和6年度	4,802,051	333,321	156,585	14,406	30,667
令和7年度	7,209,811	332,420	158,393	21,688	45,518
令和8年度	4,977,858	331,692	160,004	15,007	31,111

過去10年間の消防費の推移



消　防　職　員　の　推　移

（令和８年４月１日現在）

年　度　別		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
定　　員		３８１	３８１	３８１	３８１	３８１
実員	消防吏員	３５７	３６１	３６６	３６３	３６９
	再任用職員/その他の職員	１９	１６	１２	１４	９
	合　　計	３７６	３７７	３７８	３７７	３７８
消防職員定員増減		０	０	０	０	０

（県出向職員・再任用職員・その他の職員は合計数に含む、市長部局への出向職員・会計年度任用職員は合計数に含まず）

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

（令和８年４月１日現在）

階級別 ＼ 資格種別			合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車免許	免許	大　　型	281	1	4	17	60	91	92		16
		け　ん　引	8				4	2	2		
		大　型　特　殊	23			2	2	6	12		1
自動車整備士			4		1	1		2			
小型船舶操縦士１級			7			1	1	4	1		
小型船舶操縦士２級			81				11	34	32		4
小型移動式クレーン			324		4	10	40	95	106		69
玉掛資格			362	1	3	19	59	102	109		69
ガス溶接資格			220	1	1	18	59	94	42		5
無線技士	第２級海上特殊無線技士		4				1	3			
	レーダー級海上特殊無線技士		3				1	2			
	陸上特殊無線技士		369	1	4	20	62	102	111		69
救急	救急Ⅰ課程		3	1		1	1				
	救急Ⅱ課程（標準課程含む）		267		4	15	44	59	82		63
	救急救命士		101			4	17	43	30		7
応急手当指導員			367	1	4	20	62	102	111		67
潜水士			68			3	10	19	30		6
酸素欠乏危険作業主任者			56		3	7	21	16	9		
第２種衛生管理者			34	1	2	8	15	6	2		
予防技術資格者		防火査察	101	1	1	7	16	28	39		9
		消防用設備	44		1	8	7	15	12		1
		危険物	47	1		3	16	15	10		2
危険物取扱者		甲種	10			1	2	5	2		
		乙種	388	3	1	11	51	111	135		76
消防設備士		甲種	5			1	1	2	1		
		乙種	41			2	7	15	14		3
防火対象物点検資格者			5			1		2	2		
フォークリフト運転技能資格			26		1	1	3	10	9		2
重機(3トン以上)運転技能資格			21					8	12		1
ドローン操縦資格			48			2	8	22	16		
水難隊員			38					13	22		3

階級別・所属別消防職員配置状況

（令和８年４月１日）

所属別＼階級別			合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計			378(14)[4]<17>⑨	1	4	19[3]<1>	62(1)	99(1)[1]<7>	111(1)<4>⑨		82(11)<5>
消防本部	消防長		1	1							
	副消防長		1		1						
	政策推進監兼同和行政推進監		1			1					
	総務課	小計	24(14)[1]<2>①		1	[1]	3(1)	4(1)<1>	5(1)<1>①		11(11)
		課長	1		1						
		課長補佐	[1]								
		総務課付	14(14)				1(1)	1(1)	1(1)		11(11)
		総務係	5<1>①				1	2<1>	2①		
		装備係	4<1>				1	1	2<1>		
		課員									
	消防救急課	小計	25<1>			3<1>	8	9	5		
		課長	1			1					
		課長補佐	1			1					
		警防係	15				5	6	4		
		地域安全係	4				2	1	1		
		救急救命室	4<1>			1<1>	1	2			
	防災教育センター	小計	[1]			[1]					
		所長	[1]			[1]					
		所員									
	予防保安課	小計	18<1>			2	3	4	9<1>		
		課長	1			1					
		課長補佐	1			1					
		予防係	6<1>				1	1	4<1>		
		保安係	5				1	1	3		
		安全指導係	5				1	2	2		
	情報指令課	小計	14<1>①			4	6	3<1>	1①		
		課長	1			1					
		課長補佐	3			3					
		指令係	10<1>①				6	3<1>	1①		
消防署	中消防署	小計	111[2]<5>③		1	3[1]	16	33[1]<2>	35③		23<3>
		本署 計	64[2]<4>①		1	[1]	9	20[1]<2>	19①		15<2>
		本署 署長	1		1						
		本署 副署長	[1]			[1]					
		本署 指導係	5[1]<2>①				1	1[1]<1>	2①		1<1>
		本署 消防救助係	40<1>				3	13	11		13<1>
		本署 救急係	18<1>				5	6<1>	6		1
		中央分署 計	29<1>①			1	3	8	12①		5<1>
		中央分署 分署長	1			1					
		中央分署 消防係	28<1>①				3	8	12①		5<1>
		西分署 計	16①			1	4	4	4①		3
		西分署 分署長	1			1					
		西分署 消防係	15①				4	4	4①		3
		港分署 計	2			1		1			
		港分署 分署長	1			1					
		港分署 分署員	1					1			
	北消防署	小計	101<5>②		1	3	16	25<1>	28<2>②		28<2>
		本署 計	45<1>①		1	1	7	10	14<1>①		12
		本署 署長	1		1						
		本署 副署長	1			1					
		本署 指導係	4①				1	1	2①		
		本署 消防救助係	30				3	6	10		11
		本署 救急係	9<1>				3	3	2<1>		1
		北部分署 計	37<2>①			1	4	11	10<1>①		11<1>
		北部分署 分署長	1			1					
		北部分署 消防係	36<2>①				4	11	10<1>①		11<1>
		朝川分署 計	19<2>			1	5	4<1>	4		5<1>
		朝川分署 分署長	1			1					
		朝川分署 指導係	2<1>				1				1<1>
		朝川分署 消防係	16<1>				4	4<1>	4		4
	南消防署	小計	82<2>②			3	10	21<2>	28②		20
		本署 計	45<1>			2	7	11<1>	14		11
		本署 署長	1			1					
		本署 副署長	1			1					
		本署 指導係	4				1		2		1
		本署 消防救助係	30				3	8	12		7
		本署 救急係	9<1>				3	3<1>			3
		南部分署 計	37<1>②			1	3	10<1>	14②		9
		南部分署 分署長	1			1					
		南部分署 消防係	36<1>②				3	10<1>	14②		9
市長部局へ出向			4			1		3			

（ ）は県派遣職員および消防学校入校職員、＜＞は女性消防吏員、〇数字は再任用職員をそれぞれ内数で表す。
市長部局への出向職員は合計数に含まず。　　[ ]は兼務である。

消 防 職 員 年 令 別 分 布

（令和８年4月１日現在）

階級別 / 年令	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合　計	378	1	4	19	62	99	111	0	82
18	1								1
19	2								2
20	2								2
21	3								3
22	9								9
23	11								11
24	13								13
25	9						1		8
26	10						4		6
27	7						2		5
28	12						4		8
29	14						11		3
30	16						10		6
31	4						1		3
32	9						8		1
33	6						6		
34	8						8		
35	4					2	2		
36	9					3	5		1
37	5					1	4		
38	7					5	2		
39	7					4	3		
40	7					3	4		
41	14				1	10	3		
42	12					8	4		
43	16				2	9	5		
44	16				3	8	5		
45	8				2	3	3		
46	10				4	5	1		
47	9				2	5	2		
48	5				4	1			
49	10			2	6	1	1		
50	11			1	4	6			
51	8			2	3	3			
52	6			2	2	2			
53	8			2	5	1			
54	10			4	4	2			
55	12		1	2	4	3	2		
56	7	1			3	2	1		
57	7			1	2	4			
58	12		1	3	2	6			
59	4		2			2			
60	5				5				
61	4				4				
62	4						4		
63	1						1		
64	4						4		

（県出向職員・再任用職員は合計数に含む　　市長部局への出向職員は合計数に含まず）

平均年齢　　40.6　歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

（令和８年４月１日現在）

階級別 / 勤続年数	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合　計	**378**	**1**	**4**	**19**	**62**	**99**	**111**	**0**	**82**
０～１	**11**								11
１～２	**7**								7
２～３	**8**								8
３～４	**9**								9
４～５	**10**						2		8
５～６	**12**						3		9
６～７	**14**						3		11
７～８	**9**						3		6
８～９	**9**						6		3
９～１０	**14**						10		4
１０～１１	**21**						17		4
１１～１２	**11**						10		1
１２～１３	**2**						2		
１３～１４	**5**					2	2		1
１４～１５	**6**					2	4		
１５～１６	**4**					1	3		
１６～１７	**5**					3	2		
１７～１８	**16**					9	7		
１８～１９	**27**				2	17	8		
１９～２０	**19**				1	13	5		
２０～２１	**8**				1	5	2		
２１～２２	**12**				1	8	3		
２２～２３	**8**				5	3			
２３～２４	**7**				3	2	2		
２４～２５	**9**			1	5	2	1		
２５～２６	**7**				2	4	1		
２６～２７	**7**				5	1	1		
２７～２８	**4**			1	3				
２８～２９	**13**			3	4	5	1		
２９～３０	**4**			1	1	1	1		
３０～３１	**9**			2	2	5			
３１～３２	**6**		1	1	4				
３２～３３	**6**				4	2			
３３～３４	**11**			1	6	3	1		
３４～３５	**23**	1		6	6	6	4		
３５～３６	**5**			2		2	1		
３６～３７	**4**		2		1	1			
３７～３８	**3**		1	1	1				
３８～３９									
３９～４０	**3**				2	1			
４０～４１	**1**					1			
４１～４２									
４２～４３	**1**				1				
４３～４４	**3**				2		1		
４４～４５	**1**						1		
４５～４６	**1**						1		
４６～４７	**3**						3		

（県出向職員・再任用職員は合計数に含む　　市長部局への出向職員は合計数に含まず）

平均勤続年数　**18.0**　年

消 防 車 両 配 置 状 況

（令和8年４月１日現在）

区分＼所属別		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	南部分署	西南出張所	防災教育センター	合計	消防団
消防車	消防ポンプ自動車	－	1	1	－	－	1	1	－	1	1	1	1	－	8	25
	水槽付ポンプ自動車	－	1	－	2	－	1	1	2	－	1	1	－	－	9	
	化学消防ポンプ自動車	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	はしご自動車	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2	
	はしご機能付高所放水車	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	
	13mブーム付多目的消防ポンプ自動車	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	大型化学高所放水車	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	泡原液搬送車	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	2	
	救助工作車	－	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	3	
	大容量送水ポンプ車	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
	大型放水砲車	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
高規格救急自動車		－	4	1	1	－	2	1	1	1	2	1	1	－	15	
その他の車両	指揮車	2	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	5	
	支援車	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	水難救助車	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	泡原液運搬車	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	
	資機材搬送車	1	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	4	2
	重機搬送車	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	火災原因調査車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	立入検査車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	広報車	7	1	1	1	－	1	1	1	－	1	1	－	－	15	
	防災指導車	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	2	
	人員輸送車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	軽救命消防車	-	1	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	3	
	軽四トラック	－	1	－	1	－	1	－	1	－	1	－	－	－	5	
	乗用車	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	地震体験車	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	
	その他	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3
	合計	15	14	8	5	1	12	6	5	2	14	4	2	2	90	30

消防用資機材配置状況

（令和８年４月１日現在）

区分　／　所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合　計
空気呼吸器		25	16	12		26	16	12	33	15	155
酸素呼吸器		4									4
エンジンカッター		4	1	1		3	2	1	2	1	15
高発泡器		1				2					3
大容量泡放射砲（１S）		1				1			1		3
可搬式放水銃		3	2	2		2	1	2	2		14
耐熱服		2				4	5		2		13
ガス測定器	1	5	1	1		3	1	1	11	1	25
各種測定器	2	11	2	2		9			17		43
救命ボート		3	1	1		2	1	1	2	1	12
油圧切断機		4				2			1		7
チェーンソー		2	1	1		1	1	1	1	1	9
ポートパワー						1					1
救命索発射銃		1				1			1		3
ガス溶断器		1				0			1		2
発動発電機	2	8	6	2		6	3	2	9	3	41
排送風機		2	1	2		3		1	2		11
エアーソー等		2		1		2			1		6
救助幕		1				1					2
油圧スプレッター		2				1	1（電動ﾊﾟｯﾃｨｰ式）		1		4
マット型空気ジャッキ		2				1			1		4
削岩機		2				1			1		4
耐電衣		8				7			8		23
防毒衣		33				19			44		96
マンホール救助器具		1				1			1		3

高度救助用資機材

画像探索機　１型		1									1
画像探索機　２型		1				1			1		3
熱画像直視装置		2	1	1		1	2	1	2	1	11
地中音響探知機		1									1
夜間用暗視装置		3									3
エアーラインマスク		1									1
地震警報器		1				1					2
潜水器具					39						39
高圧空気充てん機		1							1		2

救急用資機材配置状況

（令和８年４月１日現在）

区分　／　所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署	合　計
ＡＥＤ	3	7	3	3	1	6	5	3	6	4	41
ＡＥＤトレーナー	11	14	5	5		8	6	6	10	6	71
指導用訓練人形　成人	7	11	5	9		13	4	9	14	5	77
小児	4	4	5	6		5	4	4	5	4	41
乳児	5	5	5	5		5	4	4	4	4	41
救急隊員教育訓練人形	1	1	1			1			1		5

令 和 7 年 度 職 員 研 修 実 施 状 況

	研　　修　　名	研　　修　　日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校		
	1 救助科（91期）	9/1-10/17	1
	2 火災調査科（49期）	10/20-12/5	1
	3 指揮隊長コース（第30回）	5/12-5/20	1
	4 NBCコース（第15回）	1/13-1/29	1
	2 三重県消防学校		
	1 初任科　（62期）	4/7-8/15 10/10-12/2	7
	2 救急科救急課程　（28期）	8/16-10/9	7
	3 救助科水難救助課程　（25期）	5/15-5/30	3
	4 救助科救助課程　（35期）	9/2-10/3	3
	5 水難救助フォローアップ研修会	10/16	3
	6 警防科警防課程（37期）	1/26-2/6	4
	7 火災調査科火災調査課程（21期）	12/8-12/19	4
	8 特殊災害科特殊災害課程（11期）	1/15-1/23	1
	9 上級幹部科　（11期）	1/13-1/16	1
	10 中級幹部科　（32期）	2/12-2/20	1
	11 特別科女性消防吏員講習(初級)（1期）	2/25-2/26	1
	12 特別科指揮課程（13期）	3/2-3/6	1
	13 気管挿管追加講習（ビデオ喉頭鏡）	7/8-7/9	2
	14 指導救急救命士課程（6期）	6/2-6/13	3
	15 救急救命士ブラッシュアップ講習	2/17-2/19	5
	3 救急救命士養成所		
	1 救急救命士東京研修所（前期）　新規養成	4/3-9/30	1
	2 救急救命士東京研修所（後期）　新規養成	8/26-3/9	1
	3 名古屋市救急救命研修所　新規養成	8/18-3/10	2
	4 全国市町村国際文化研修所・全国市町村アカデミー		
	1 情報公開と個人情報保護	5/26-5/30	1
	2 組織のリスクマネジメント	9/17-9/19	1
	3 管理職のためのリーダーシップ・マネジメント講座①	10/14-10/16	1
	4 災害に強い地域づくりと危機管理②	2/12-2/20	1
	5 地域住民の防災力向上～平時からの取組～	5/12-5/14	1
	6 自治体におけるDXの推進	5/21-5/23	1
	7 消防職員のための外国人とのコミュニケーション	5/27-6/6	1
	8 自治体におけるSNSの活用	7/2-7/4	1
	9 これからの自治体人材マネジメント	8/4-8/6	1
	5 市役所（職員研修所等）が企画する研修		
	1 新規採用職員研修	4/4.7	7
	2 一般職員Ⅰ部研修（チャレンジ①）※採用5年目	9月の間延３回	13
	3 一般職員Ⅱ部研修（チャレンジ②）※採用8年目		9
	4 新任係長級職員研修(パワーアップ②)	4月～6月の間延4回	8
	5 係長級職員Ⅱ部研修（パワーアップ③）	10月～11月の間延4回	14
	6 新任課長補佐級職員研修（パワーアップ④）	4月～6月の間延4回	7
	7 新任課長級職員研修（パワーアップ⑤）	4月～6月の間延4回	5
	8 新所属長研修（パワーアップ⑥）	4月、5月の間延4回	6
	9 準管理職候補者研修（チャレンジ⑤）	8月、10月の間延3回	12
	10 管理職候補者研修（チャレンジ⑥）	8月、10月延2回	3
	11 年齢別研修（５０歳）		7
	12 デジタル人材育成研修（ＤＸ推進リーダー）	随時	28
	6 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会		
	1 消防長研修会	10/22	1
	2 車両構造講習会及び訓練会	12/21	1
	3 火災調査研究発表会	10/16	5
	4 消防職員安全衛生研修会	12/11	2
	5 違反是正事例発表会	11/6	4
	7 三重県消防長会が関係する研修		
	1 違反是正研修会	8/20	3
	2 違反是正事例研究会	1/23	3
	3 救助オープンカレッジ	12/17	2
	4 救急スキルアップ研修会	2/3	4
	8 三重県指導者セミナー		
	1 病院前救護体制における指導医及び事後検証に係る関係者研修	9/13、12/20	5
	2 ＰＣＥＣコース	6/25	2
	3 ＭＣＬＳ標準コース	7/12、7/13、1/18	4
	4 ＰＥＭＥＣコース	11/12	3
	5 ＭＩＥＬＳ	10/4	4
	9 危険物セミナー		
	1 屋外タンク実務担当者講習会	11/28	1
	2 危険物事故事例セミナー	2/20	1
	3 事故の教訓と保安管理技術セミナー	10/8	1
	4 危険物事故防止ブロック連絡会義及び事故防止講習会	10/21	1
	10 その他派遣研修		
	1 消防職員安全衛生管理研修会	10/23-10/24	1
	2 救急隊員シンポジウム（熊本県熊本市）	1/22-1/23	1
	3 全国消防救助シンポジウム（東京都）	12/11	1
	4 通信指令シンポジウム（東京都）	3/14	1
	5 国際消防救助隊員連携訓練（新潟市）	11/19-11/21	1
	6 調査技術会議（名古屋市）	6/19	5
	7 日本救急医学会中部学術集会(第28回)（金沢市）	11/29	2
	8 東京消防庁職員を講師に招いた特別講演会（津市消防本部）	10/15	1
	9 NBC災害担当消防職員等に対する教養研修（警察庁）	11/18	1
	10 危険物保安技術講習会	7/17-7/18	1
	11 話し方技法研修（三重県市町総合事務組合）	7/10-7/11	1
	12 チラシ・パンフレットデザイン研修会（三重県市町総合事務組合）	8/21	2
	13 災害時メンタルヘルス研修（三重県市町総合事務組合）	9/26	1
	14 第56回部落解放・人権夏期講座	8/21-8/22	1
	15 ＪＰＴＥＣプロバイダーコース、更新コース	8/23、12/13	17
	16 ＰＣＥＣコース	11/7	9
	17 救急コ・メディカルセミナー	10/24	9
資格取得研修	11 資格取得など		
	1 大型自動車運転免許　（新規）	随時	11
	2 潜水士免許　（新規）	7/19	2
	3 第２種衛生管理者免許	12/12	3
	4 ２級小型船舶操縦士免許　（新規取得）	3/7、8	3
	5 ２級小型船舶操縦士免許　（更新/失効再交付）	随時	9
	6 酸素欠乏・硫化水素危険業務作業主任技能講習	10/16-10/18	2
	7 危険物取扱者保安講習	8/4-9/3(オンライン)	19
	8 無人航空機操縦技能及び安全運行管理者コース	9/9-9/12、10/7-10/12	4
	9 予防技術資格者（新規）	12/7	7
	10 安全運転管理者	随時	8
視察研修	12 先進都市視察など		
	1 「危険物規制事務にかかる先進的な取り組み事例」視察（福岡市）	10/7	2
本部研修	13 消防本部で実施する研修		
	1 新規採用職員研修	随時	7
	2 プリセプター養成研修（消防士長）	4/3	7
	3 救急救命士就業前病院研修	5/12-6/6、6/9-7/4、1/29-2/27	5
	4 救急科救急課程修了後病院研修	12/5	6
	5 救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習	11/12-11/14、11/12-11/18	2

消防プリセプターシッププログラム

消防プリセプターシッププログラムの目的

１　消防学校を卒業した新人消防士（プリセプティ）に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
２　消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
３　警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

策定の経緯

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では､看護職場が１９９０年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です｡「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

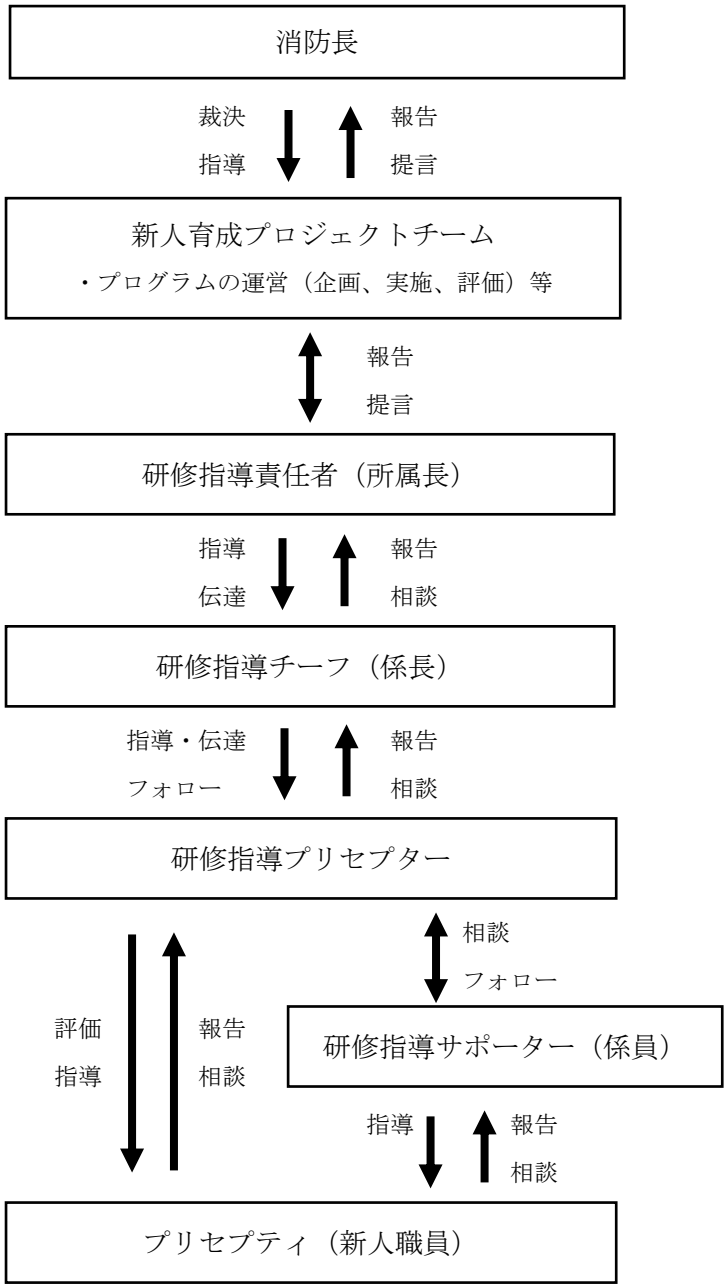
さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成２０年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

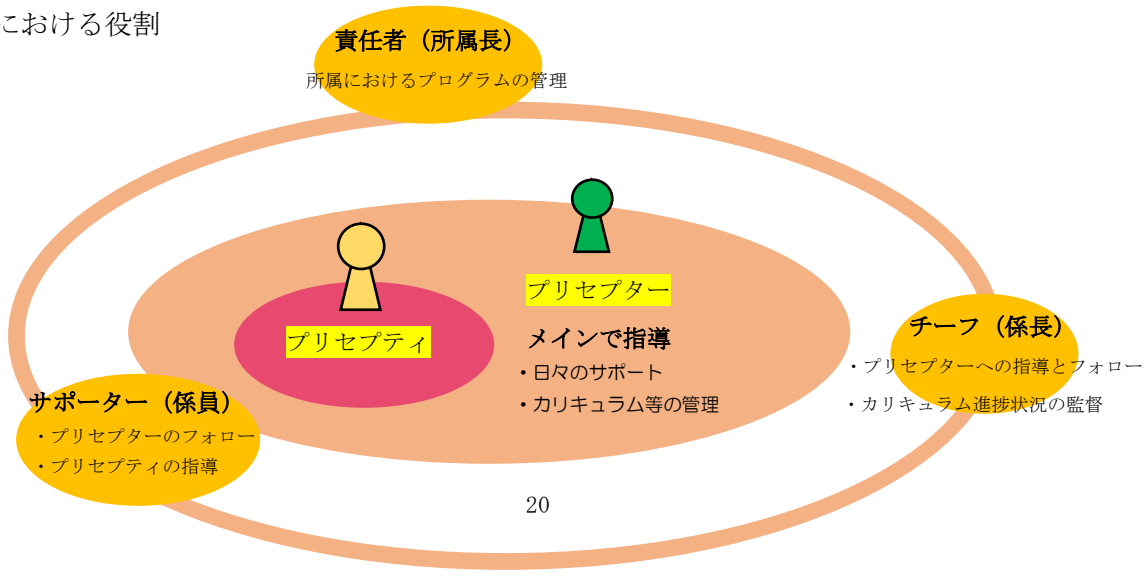
1　プログラムの管理運営

（1）管理責任　　消防長

（2）管理運営体制



（3）所属における役割



2　新人育成プロジェクトチーム

（1）構成

責任者：総務課長

委員長：政策推進監

事務局：総務課

委　員：各所属代表者

（2）機能

ア　プログラムの運営（企画・実施・評価）を行う。

イ　消防長に対して、プリセプターシッププログラムに関する報告・提言を行うとともに、プログラム案に対して裁決および指導を受ける。

ウ　研修部署の指導責任者に対して、報告・提言を行う。

エ　研修部署から提出されたプリセプター評価表およびレポート等に基づき、研修目標に対する達成度を評価する。

オ　プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

3　各所属の指導体制

（1）体制について

項目	担当・対象など	役割など
人材育成責任者	消防長	消防本部における プログラムの管理責任者
運営、計画、評価	新人育成プロジェクトチーム 責任者：総務課長 委員長：政策推進監 事務局：総務課 委　員：各所属代表１名	研修プログラムの運営 （企画、実施、評価） 制度等の検討、見直し、修正
研修指導責任者	所属長	所属におけるプログラムの管理責任者
研修指導 チーフ	新人職員が属する係の係長	係におけるプログラムの管理責任者 プリセプターの指導やフォローを 行う。
研修指導 プリセプター	プリセプティが属する係の 消防士長以上の職員（所属長が指名）	プリセプティに対する 研修指導担当者 （原則、マンツーマン方式）
研修指導 サポーター	プリセプティが属する係の職員 （プリセプティを終了した若手職員や 専門的知識を有する職員など）	プリセプターに対する 研修支援や補助を行う。
プリセプティ	初任科卒業後、１年以内の職員	

令和7年度主要記録

月	内容
4	三重県消防学校 7名入校 三重県消防長会総会及び三重県消防職員意見発表会（熊野市） 全国消防長会東海支部総会(田原市) 四日市コンビナート地域防災協議会(消防部会)
5	四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会 三重県内高速道路消防連絡協議会全員協議会(四日市市) 緊急消防援助隊後方支援訓練(消防学校) 四日市市防火協会総会 優良防火管理事業所表彰(6事業所) 三重県救急医療情報センター定例理事会（津市） 全国消防長会総会（広島市）
6	危険物安全管理強調月間 優良危険物事業所表彰及び危険物施設安全管理セミナー 安全衛生講演会
7	四日市市消防団消防操法競技大会 消防救助技術東海地区指導会 霞ヶ浦地域公災害防止協議会 南部工業地域環境安全協議会
8	四日市市消防職員委員会 全国消防救助技術大会(兵庫県三木市)
9	救急フェスタ（イオンモール四日市北） 救急講演会
10	四日市市市民総ぐるみ総合防災訓練（石油コンビナート防災訓練） 四日市市市民総ぐるみ総合防災訓練（海上防災訓練） 三重県警防技術交換会 全国消防長会危険物委員会(香川県) 三重県内高速道路消防連絡協議会研修会 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(奈良県) 特別消防訓練（イオンタウン四日市泊）
11	三重県内高速道路消防連絡協議会訓練(鈴鹿市) 防火パレード 災害医療情報伝達訓練 防火ポスター・防火習字入賞者表彰 三重県消防長会議・消防長研修会(伊勢市) 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練（岐阜県） 全国女性消防団員活性化大会
12	年末特別警戒
1	四日市市消防出初式 朝日町・川越町合同出初式 文化財防火デー 四日市コンビナート地域防災協議会総会 四日市市、桑名市及び三重郡菰野町消防通信指令事務協議会 南部工業地域環境安全協議会
2	消防春ふぇす(イオンモール四日市北) 霞ヶ浦地域公災害防止協議会
3	特別消防訓練(四日市市立博物館) 警防技術訓練査閲（消防長査閲） 三重県総合防災訓練（いなべ市及び木曽岬町） 三重県消防大会 三重県救急医療情報センター理事会 西南出張所開所

令和８年度消防重点事業

新年度予算における基本的な方針

本市の消防救急体制は、一刻も早く災害現場に到着し、消防活動や救急活動が行えるよう、８分消防５分救急の体制の構築に取り組んできたところであり、消防活動拠点の整備については令和７年度をもって完了した。令和８年度は、これまでに整備した消防活動拠点を有効に活用し、市民に対し、より安全・安心を提供できる消防救急体制に向け取り組みを進めるとともに、消防力の維持・強化を目的とした菰野町との消防広域化に向けた協議を進める。

また、迅速な救急搬送の実施に向けて、引き続き救急業務の高度化に取り組むとともに、救急業務の効率化に資する資機材の整備を図っていく。

このように、消防本部は、災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、総合計画の基本的政策に掲げる「市民を守る消防救急体制の確立」に向け、以下の事項の取り組みを進める。

１．消防力の充実強化について

消防車両更新計画に基づき、老朽化した北消防署救助工作車や中消防署及び西分署の高規格救急自動車等を更新する。また、老朽化した南消防署救助工作車の救助資機材を更新する。

【主な事業】　消防車両整備事業　　２６７，１３０千円

２．消防指令センターの共同運用について

四日市市、桑名市及び三重郡菰野町の３消防本部で共同運用している三重北消防指令センターの消防指令システム等について、令和８年４月の新消防指令システムの運用開始に伴い、令和８年度は旧消防指令システムの撤去及び旧消防指令センターの建築改修工事を行うとともに、適切なシステムの維持管理を行い消防指令センターの円滑な運用を図る。

【主な事業】　消防指令システム整備事業費　　６６，６９８千円
　　消防指令センター共同運用事業費　　１７，６４１千円

３．救急業務の充実強化について

マイナ保険証を活用し、より正確に傷病者情報を把握して円滑な病院選定を図る。また、救急映像等伝送システムの運用の習熟により、現場到着から医療機関へ搬送開始するまでの時間短縮

を図る。あわせて、令和７年度に日勤救急隊用の救急車に導入した電動ストレッチャー及び自動式心マッサージ器を車両更新にあわせて他の救急車へ導入し、救急業務の効率化と隊員の身体的負担の軽減に努める。

また、救急ワークステーションの運用により救急救命士の研修時間を確保し、医療機関との連携強化を図る。

さらに、救急救命士が、救急車に複数名乗車できる体制を目指して計画的な養成を行う。

【主な事業】　救急関係事業活動費　　３５，００１千円
　　救急救命士養成事業　　１０，０２５千円

４．火災予防対策の推進について

コンビナート事業所や防火対象物に対して立入検査や消防訓練を行い、関係者に防火安全指導を行う。

建物火災は火災件数の中で最も多いため、引き続きＳＮＳなどを活用して住宅防火対策を推進し、市民の防火意識の向上を図る。

また、リチウムイオン電池を搭載した機器などによる新たな火災の注意喚起や大規模地震時の電気火災対策として感震ブレーカーの普及啓発を行う。

【主な事業】　火災予防関係事業活動費　　２，２６７千円

５．消防団の充実強化について

地域防災の要である消防団について、老朽化した消防分団車庫を改築するとともに、令和７年度に導入したタブレット端末の効果的な運用により、消防団活動の円滑化を図る。

また、令和７年度に配備したオフロードバイクを活用した実践的な訓練を実施し、大規模災害時における道路寸断時においても迅速な情報収集が可能な体制を構築する。

あわせて消防団の災害対応能力を強化することで、地域防災力の更なる向上を図る。

【主な事業】　消防分団車庫整備事業費　　１３４，６９０千円

６．消防広域化について

人口減少や高齢化に伴う救急需要の増加、大規模災害の激甚化など社会環境の変化に対応するため、消防本部の規模拡大によるスケールメリットを活かし、消防力の維持・強化を目的とした消防広域化について、令和７年9月に菰野町から申出を受けたことから、今後、消防広域化に向けた協議を行う。

令和８年度は、四日市市および菰野町の双方にメリットのある消防体制の構築を図るため、消防署の適正配置を検討するための調査業務を進めていく。

【主な事業】　消防広域化適正配置調査負担金　　１，４５５千円

相　互　応　援　協　定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎょ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

（１）消防相互応援協定

協　　定　　名	締　結　年　月　日	協　　定　　市　　町　　村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日締結	四日市市長ほか県内２８市町長、 ５消防組合管理者及び三重県知事

（２）船舶消防に関する応援協定

協　　定　　名	締　結　年　月　日	協　　定　　市　　町　　村
船舶消防に関する業務協定	昭和46年5月22日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

（３）高速道路における消防応援協定

協　　定　　名	締　結　年　月　日	協　　定　　市　　町　　村
三重県内高速道路等における消防相互応援協定	平成31年1月31日締結	桑名市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・津市松阪市・伊勢市・木曽岬町・東員町・朝日町・川越町・菰野町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合

警　　防

一　目　統　計

令和７年中

火　災　件　数		１１４　件
損　害　額		２３１,６６１ 千円
出　火　率		３．４　件
建物焼損床面積		１,４４３　㎡
建物焼損表面積		９５　㎡
最も多かった火災原因	たき火	１９　件

火災種別件数

建　物　火　災		４９　件
林　野　火　災		３　件
車　両　火　災		１０　件
船　舶　火　災		０　件
そ　の　他　火　災		５２　件 （５２件中　枯草火災２９件）

火災多い少ない

火災の多かった月	３月	２０　件
火災の少なかった月	４月	３　件
火災の多かった時間帯	１４時～１５時、１５時～１６時	１１　件
火災の少なかった時間帯	５時～６時、６時～７時、 ７時～８時、２２時～２３時	１　件
火災の一番多かった日	３月１日、３月１０日、５月１日、 ６月５日、９月２日	３　件

令和７年中の火災概要

１　火災の概要

令和７年中の火災は１１４件で、前年の７８件と比較して３６件の増加となりました。

火災種別では、その他火災が５２件と全火災の４５．６％を占め、次いで、建物火災が４９件（４３％）、車両火災が１０件（８．８％）と林野火災が３件（２．６％）となりました。

火災の損害は、焼損床面積が１，４４３㎡、焼損棟数が５９棟、損害額が２３１，６６１，０００円、死者が１人、負傷者が１５人となっています。

損害額は、前年の５２，０８６，０００円と比較して１７９，５７５，０００円の増加となり、焼損床面積は、前年の８６２㎡と比較して５８１㎡の増加となっています。

出火率（人口１万人当たりの出火件数をいう。）は、３．４件で、前年の２．３件と比較して１．１件の増加となっています。

月別発生状況は、３月が２０件と最も多くなっています。

２　出火原因

出火原因は、たき火が１９件と全体の１６．７％を占め第１位となっています。第２位は、放火、放火疑いで１３件（１１．４％）、第３位は、たばこで９件（７．９％）となりました。

３　火災による死者

火災による死者は、１人発生し、前年より１人の減少となりました。

また、年齢別でみると、５０歳代が１人となっています。

４　火災による負傷者

火災による負傷者は、１５人発生し、前年より９人の増加となりました。

また、年齢別では、２０歳代が４人、４０歳代が３人、５０歳代が３人、６０歳代が１人、７０歳代が３人、８０歳代が１人となっています。

負傷者の発生した経過別では、消火中が４人、避難中が６人、作業中が２人、就寝中が２人、その他が１人となっています。

５　初期消火の実施

１１４件の火災において７２件の初期消火が実施され、火災鎮圧に主として効果があったのは４３件でした。

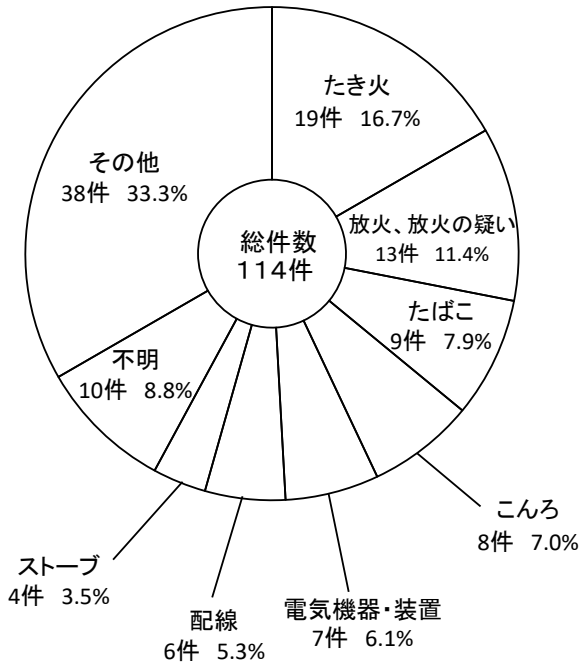
初期消火器具	消火器	水道等	寝具等をかける	もみ消した	その他
実施件数	２６	３４	４	７	１
効果あり	１９	１９	４	１	０

火　災　概　要

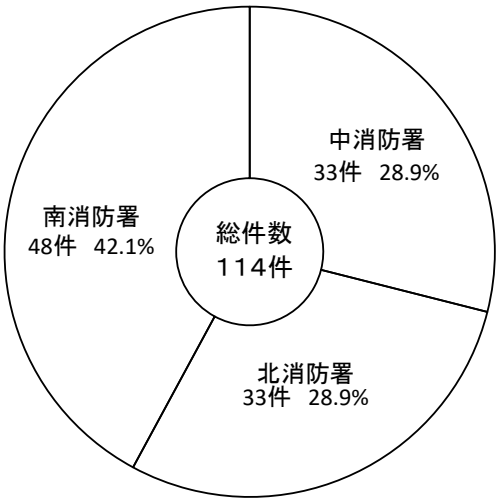
（令和7年中）

火　　災　　件　　数	１１４　件
建　物　火　災　件　数	４９　件
建 物 以 外 火 災 件 数	６５　件
建　物　焼　損　床　面　積	１，４４３　㎡
建　物　焼　損　表　面　積	９５　㎡
林　野　焼　損　面　積	６　a
損　　害　　額	２３１，６６１　千円
死　　者	１　人
負　　傷　　者	１５　人

原因別火災件数



消防署別火災件数



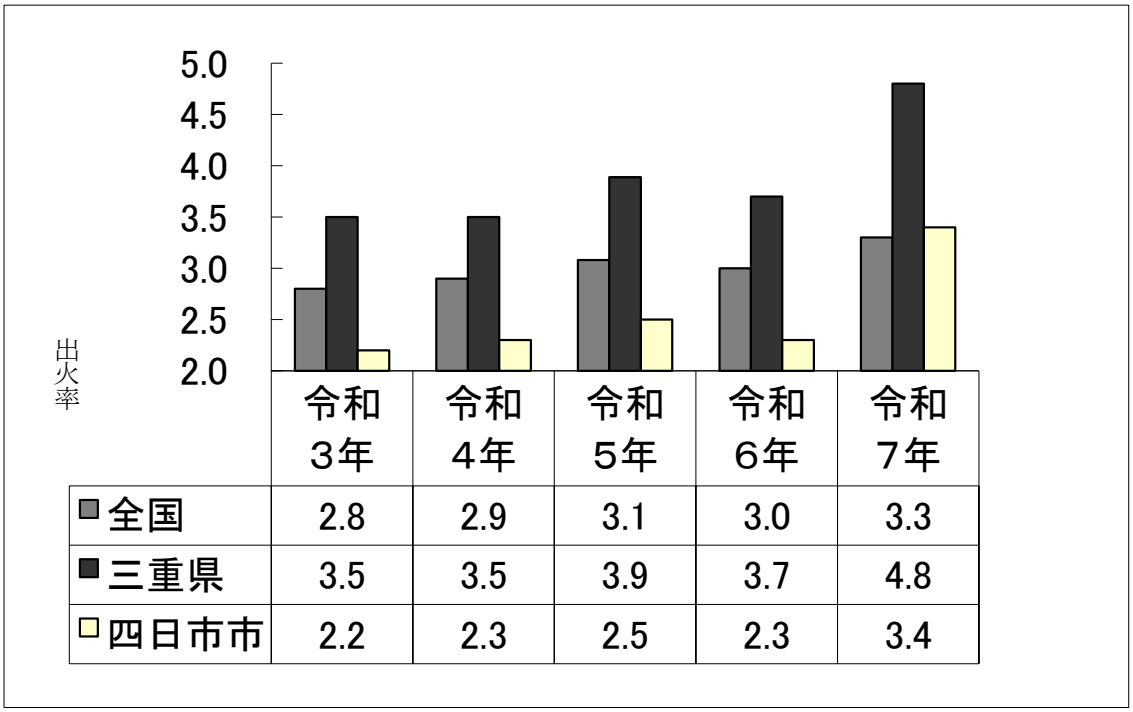
※小数点以下第２位で四捨五入。
※四捨五入により１００％にならないことがあります。

火　災　発　生　状　況　比　較

区分＼年		令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
全　国	火　災　件　数	35,222	36,314	38,672	37,036	40,783
	出　火　率	2.8	2.9	3.1	3.0	3.3
	一件当たり損害額（千円）	2,959	2,802	2,436	2,508	2,584
三重県	火　災　件　数	621	617	690	651	839
	出　火　率	3.5	3.5	3.9	3.7	4.8
	一件当たり損害額（千円）	2,214	2,740	1,985	1,897	2,189
四日市市（朝日、川越町含）	火　災　件　数	74	79	84	78	114
	出　火　率	2.2	2.3	2.5	2.3	3.4
	一件当たり損害額（千円）	1,548	1,068	1,960	668	2,032

$$出火率＝\frac{出火件数}{人口}\times１０,０００$$

出　火　率　比　較



地区別火災発生状況

（令和7年中）

		火災件数								焼損棟数										り災世帯数				り災人員	焼損面積			死傷者			損害額（千円）								
			屋外							火元					類焼																								
		建物	船舶	航空機	車両	林野	その他	その他（枯草）	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計		建物焼損床面積（㎡）	建物焼損表面積（㎡）	林野（a）	死者	30日死者	負傷者	建物		船舶	航空機	車両	林野	その他	爆発	計
																															建造物	収容物							
合計		49	0	0	10	3	23	29	114	5	5	13	27	50	1	1	3	4	9	6	4	38	48	109	1,443	95	6	1	0	15	132,991	90,417	0	0	1,658	0	595	6,000	231,661
中消防署管内	計	16	0	0	5	0	3	8	32	3	1	6	6	16	0	0	1	2	3	2	0	14	16	29	497	27	0	0	0	1	50,137	11,858	0	0	993	0	69	0	63,057
	共同	2	0	0	2	0	0	0	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	0	12	2	0	0	118	0	0	0	132
	同和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	港	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	16
	浜田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	橋北	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	0	0	0	0	0	38,078	9,234	0	0	0	0	0	0	47,312
	海蔵	2	0	0	1	0	1	0	4	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0	1	0	0	0	0	2	16	0	0	25	0	2	0	45
	常磐	4	0	0	0	0	1	0	5	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4	8	7	4	0	0	0	0	247	100	0	0	0	0	9	0	356
	川島	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	53
	神前	3	0	0	1	0	0	1	5	2	0	1	0	3	0	0	1	1	2	0	0	2	2	4	118	16	0	0	0	0	2,510	656	0	0	829	0	0	0	3,995
	桜	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	150	0	0	0	0	0	7,636	740	0	0	0	0	0	0	8,376
	三重	2	0	0	1	0	1	0	4	0	1	0	1	2	0	0	0	1	1	1	0	4	5	6	31	5	0	0	0	1	1,636	1,110	0	0	21	0	5	0	2,772
北消防署管内	計	14	0	0	2	1	7	7	31	2	2	2	8	14	1	1	1	2	5	3	2	15	20	47	539	61	4	0	0	8	46,193	2,330	0	0	190	0	3	0	48,716
	羽津	6	0	0	1	0	2	0	9	2	0	0	4	6	0	1	1	1	3	2	1	1	4	6	309	4	0	0	0	1	32,687	689	0	0	29	0	2	0	33,407
	富田	2	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	富洲原	2	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	1	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	98	0	0	0	0	0	4,388	1,509	0	0	0	0	0	0	5,897
	大矢知	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	89	5	0	0	161	0	0	0	255
	八郷	1	0	0	0	0	1	2	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	35	0	0	0	0	2	3,200	60	0	0	0	0	0	0	3,260
	下野	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保々	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	朝日町	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川越町	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	11	12	30	97	57	0	0	0	4	5,829	67	0	0	0	0	0	0	5,896
南消防署管内	計	19	0	0	1	2	13	12	47	0	2	5	13	20	0	0	1	0	1	1	2	9	12	33	407	7	2	1	0	6	36,661	76,229	0	0	8	0	523	6,000	119,421
	塩浜	4	0	0	1	0	3	1	9	0	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	156	1	0	0	0	0	1,059	63,714	0	0	8	0	102	6,000	70,883
	日永	4	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	9	0	0	0	0	0	1	12	30	0	0	0	0	0	0	42
	四郷	3	0	0	0	0	4	1	8	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	55	0	0	0	0	1	2,516	120	0	0	0	0	55	0	2,691
	内部	3	0	0	0	1	0	3	7	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	2	9	125	0	1	0	0	1	21,983	12,253	0	0	0	0	0	0	34,236
	河原田	3	0	0	0	0	1	1	5	0	1	0	2	3	0	0	1	0	1	1	0	1	2	3	58	5	0	0	0	0	8,460	91	0	0	0	0	310	0	8,861
	小山田	1	0	0	0	1	4	3	9	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	0	1	7	0	0	0	0	0	56	0	63
	水沢	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	楠	1	0	0	0	0	1	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	13	1	0	1	0	2	2,624	21	0	0	0	0	0	0	2,645
高速道路		0	0	0	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	467	0	0	0	467

月別・曜日別・時間帯別火災発生状況

（令和7年中）

火 / 月・曜日		出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(㎡)	建物 表面積(㎡)	林野 面積(ａ)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合計		114	49	3	10			52	59	6	6	16	31	1,443	95	6	1	15	48	6	4	38	109	231,661	223,408		1,658			595	6,000
月別	1月	8	5		2			1	5	1	1	1	2	129				2	4		1	3	12	5,797	5,732		65				
	2月	11	5					6	7	2	2	1	2	462	6			2	7	3	2	2	16	65,301	65,301						
	3月	20	4	2	1			13	7	1		3	3	56	2	5		4	3			3	7	9,089	2,609		387			93	6,000
	4月	3						3										1						56						56	
	5月	8	4	1				3	4			1	3	47	1	1			2			2	7	2,831	2,521					310	
	6月	6	4		2				4			2	2	5	1				1			1	1	1,778	1,692		86				
	7月	11	6		1			4	6			2	4	73	73			1	15	1		14	38	5,405	5,322		80			3	
	8月	13	5		2			6	7	1	1		5	99					2			2	6	6,035	6,013		19			3	
	9月	11	4					7	6	1	1	2	2	175	5			2	4	1	1	2	5	17,686	17,604		29			53	
	10月	4	1					3	1			1		13	1		1	2	2			2	2	2,647	2,645					2	
	11月	7	4					3	5		1	1	3	187	5				6	1		5	9	65,958	65,942		2			14	
	12月	12	7		2			3	7			2	5	197	1			1	2			2	6	49,078	48,027		990			61	
	不明																														
合計		114	49	3	10			52	59	6	6	16	31	1,443	95	6	1	15	48	6	4	38	109	231,661	223,408		1,658			595	6,000
曜日別	日曜日	13	6		1			6	11	2	2	3	4	251	10		1	3	12	2	1	9	16	22,512	22,388		56			68	
	月曜日	13	4		3			6	5		1		4	120				1	4		2	2	16	32,898	32,486		319			93	
	火曜日	17	11					6	12		2	4	6	166	66			4	18	2	1	15	38	17,075	17,017					58	
	水曜日	14	6		1			7	7	1		2	4	181	17			2	6	1		5	12	18,814	18,714		40			60	
	木曜日	26	10	1	3			12	10			3	7	29	2	1		3	3			3	13	4,565	3,725		837			3	
	金曜日	15	7	2	2			4	9	1	1	2	5	445		5		1	2			2	4	118,472	118,066		406				
	土曜日	16	5					11	5	2		2	1	251				1	3	1		2	10	17,325	11,012					313	6,000
	不明																														
合計		114	49	3	10			52	59	6	6	16	31	1,443	95	6	1	15	48	6	4	38	109	231,661	223,408		1,658			595	6,000
時間帯別	0～1時	6	3		1			2	3			1	2	24				4						3,071	3,005		8			58	
	1～2時	4	3					1	3			1	2	191				1	1			1	4	47,432	47,432						
	2～3時	3	2		1				2			1	1	156					1			1	5	65,096	64,267		829				
	3～4時	2	2						4	1	1		2	165	6				7	2		5	9	17,602	17,596		2			4	
	4～5時	2						2																50						50	
	5～6時	1	1						1		1			35				1	1		1		2	3,260	3,260						
	6～7時	1	1						1			1		13	1		1	2	2			2	2	2,645	2,645						
	7～8時	1	1						1			1			1									12	12						
	8～9時	3			1			2																130			80			50	
	9～10時	5	2					3	4	1	1	1	1	175	2				2	1	1		3	17,430	17,390		29			11	
	10～11時	4	1	1	1			1	1				1		1	4		1	1			1	2	9	7					2	
	11～12時	4						4	1				1											45						45	
	12～13時	3						3																							
	13～14時	10	4	1	1			4	4			1	3		1	1			2			2	3	6,102	30		19			53	6,000
	14～15時	11	3	1	1			6	3		1		2	120	1	1		2	3		2	1	11	32,851	32,462		78			311	
	15～16時	11	4					7	4	1			3	86	1			1						2,815	2,815						
	16～17時	7	2					5	2			2		79	57			1	12	1		11	30	4,122	4,122						
	17～18時	8	4		3			1	7	1	1	2	3	90	5				4	1		3	8	9,508	9,282		226				
	18～19時	8	3					5	3			1	2	5					1			1	1	1,691	1,681					10	
	19～20時	4	3					1	3			1	2		15				3			3	10	200	200						
	20～21時	2	2						2	1		1		158					2	1		1	6	8,534	8,534						
	21～22時	5	3					2	3				3	1	1			1	2			2	6	134	134						
	22～23時	1	1						1				1						1			1	4	16	16						
	23～0時	3	1					2	1				1					1	1			1	1	6	6						
	不明	5	3		1			1	5	1	1	2	1	145	3				2			2	2	8,900	8,512		387			1	

出火原因別火災発生概況

（令和７年中）

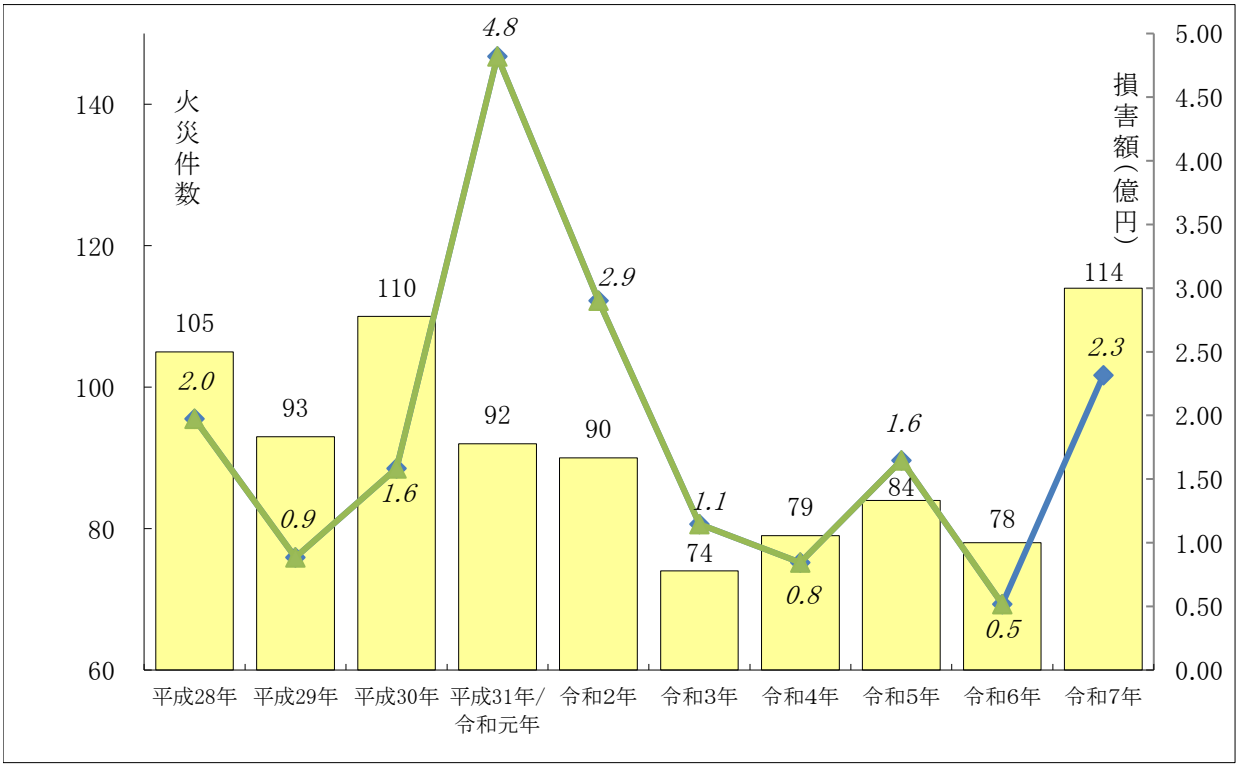
原因別	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額（千円）							
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積(㎡)	建物 表面積(㎡)	林野 面積(ａ)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
合計	114	49	3	10			52	59	6	6	16	31	1,443	95	6	1	15	48	6	4	38	109	231,661	223,408		1,658			595	6,000
たばこ	9	7					2	8		2	3	3	179	6			1	8	1	2	5	23	41,032	41,032						
こんろ	8	7		1				9	1	2	2	4	218	3			1	7	1	2	4	17	20,914	20,858		54			2	
かまど																														
風呂かまど																														
炉																														
焼却炉																														
ストーブ	4	3					1	3	1		1	1	197				2	2	1		1	2	10,910	10,854					56	
こたつ																														
ボイラー																														
煙突・煙道																														
排気管	2			2																			19			19				
電気機器	5	2		2			1	2			1	1	191				1						47,360	47,312		48				
電気装置	2	2						2				2											1,161	1,161						
電灯・電話等の配線	6	4		1			1	5			2	3	37	2		1	5	4			4	8	4,715	4,592		78			45	
内燃機関	1						1																6,000							6,000
配線器具	3	2					1	2			1	1	6					1			1	3	184	175					9	
火あそび	3						3																							
マッチ・ライター	1						1																							
たき火	19	1					18	1				1		1			1						53						53	
溶接機切断機	2		1				1								4		1													
灯火																														
衝突の火花																														
取灰																														
火入れ																														
放火	4	2					2	4	1	1		2	165	6				7	2		5	9	17,604	17,596		2			6	
放火の疑い	9	1	1	1			6	1				1			1			1			1	2	848	7		829			12	
その他	26	12	1	2			11	14	2		4	8	279	17	1		1	2			2	4	70,650	69,690		548			412	
不明	10	6		1			3	8	1	1	2	4	171	60			2	16	1		15	41	10,211	10,131		80				

過去１０年間　年別主な火災原因

年　別	火災件数	主 な 火 災 原 因		
平成２８年	１０５件	放　火　１９件 （放火の疑い含む）	たばこ　１０件	溶接機　５件 切断機
平成２９年	９３件	放　火　１５件 （放火の疑い含む）	たばこ　６件	こんろ　５件
平成３０年	１１０件	放　火　１７件 （放火の疑い含む）	たき火　１３件	たばこ　７件
平成３１年 ／令和元年	９２件	放　火　１８件 （放火の疑い含む）	たばこ　１０件	たき火　７件
令和２年	９０件	放　火　１４件 （放火の疑い含む）	たばこ　９件	たき火　８件
令和３年	７４件	放　火　１７件 （放火の疑い含む）	たき火　８件	たばこ　７件
令和４年	７９件	放　火　９件 （放火の疑い含む）	たき火　６件	たばこ、こんろ　各５件 ストーブ
令和５年	８４件	たばこ　１５件	放　火　１５件 （放火の疑い含む）	たき火　１０件
令和６年	７８件	たばこ　９件	こんろ、ストーブ　各６件 電灯・電話等の配線	たき火　５件
令和７年	１１４件	たき火　１９件	放　火　１３件 （放火の疑い含む）	たばこ　９件

過去１０年間の火災発生状況

区分／年別	火災件数 合計	建物	林野	車両	船舶	その他	損害額（千円）	損害面積 建物焼損 表面積(㎡)	林野(a)	死傷者 死者	負傷者
平成28年	105	70	0	9	0	26	197, 464	2, 129 424	0	6	13
平成29年	93	34	7	11	0	41	87, 689	1, 657 347	60	2	9
平成30年	110	63	2	18	0	27	158, 292	1, 896 873	14	5	14
平成31年／令和元年	92	60	3	8	1	20	481, 993	5, 877 1, 033	69	2	6
令和2年	90	50	1	11	0	28	290, 017	1, 026 2, 731	2	1	11
令和3年	74	37	1	12	0	24	114, 536	1, 484 92	3	2	13
令和4年	79	42	0	10	0	27	84, 387	992 110	0	2	10
令和5年	84	36	3	8	1	36	164, 650	1, 845 107	137	2	8
令和6年	78	45	2	7	0	24	52, 086	862 140	10	2	6
令和7年	114	49	3	10	0	52	231, 661	1, 443 95	6	1	15
平均	92	49	2	10	0	31	186, 278	1, 921 595	30	3	11



海上・沿岸防災等
（上野マリタイム・ジャパン株式会社委託状況）

（令和７年中）

種別	月別	合計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
災害出動	火災	0												
	水難救助	0												
	流出油	0												
	その他	0												
警防	警備	0												
	警戒	1								1				
	警防調査	0												
	その他	0												
予防	広報	0												
	予防調査	0												
	その他	0												
訓練	災害防御	0												
	航海	0												
	操船	0												
	水難救助訓練	5							3				2	
	その他	2	1									1		
合計		8	1	0	0	0	0	0	3	1	0	1	2	0

火災・救助以外の消防車両の出動

（令和7年中）

分　類	件数	説　　明
交通支援	160	国道1号、23号等通行量の多い道路における救急支援のための出動
救急支援	2,348	消防隊・救助隊による上記以外の救急の支援出動
たき火	62	たき火等の怪煙による調査警戒のための出動
交通油漏れ	65	交通事故等により、人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、道路上に漏れ出たものによる出動
その他漏油	11	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがある危険物が、池、湖、河川、海等に流れ出たものによる出動
ガス漏れ	5	人的損害を生じ、又はそのまま放置すれば爆発、火災若しくは人的被害を生じる恐れがあるガス又は毒劇物等の漏洩による出動
機器発報	182	直接通報、火災通報、即時通報及び自動火災報知設備の発報等による出動で非火災であったもの
虚報	5	出動した結果、いたずら等であったもの
誤報	50	出動した結果、誤報、誤認であったもの
非火災事故	24	火災調査の結果、火災に至らないもの
捜索	0	山岳遭難、水難事故に伴う捜索等による出動
その他	54	「交通支援」から「捜索」までに掲げる種別以外による出動
総計	2,966	

消　防　水　利　状　況

（令和8年4月1日）

			合計	消火栓					防火水槽							その他					
				小計	工業用水		上水道		小計	100m3耐震	60m3耐震	40m3耐震	100m3以上	40m3以上	40m3未満	小計	井戸	プール	池沼	河川	海運河
					双口	単口	双口	単口													
合　計			7,520	6,676	82	103	42	6,449	619	41	52	213	7	214	92	225	49	69	14	75	18
中消防署管内	中署	共　同	151	137	0	1	1	135	9	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0
		同　和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		中　央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0
		港	126	113	3	3	2	105	5	2	0	0	0	1	2	8	0	0	0	0	8
		浜　田	256	234	4	1	3	226	16	5	1	4	1	3	2	6	3	2	0	1	0
		橋　北	148	128	1	5	2	120	12	3	0	2	0	4	3	8	3	2	0	3	0
		海　蔵	218	202	1	0	0	201	11	1	2	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0
		常　磐	308	277	12	4	2	259	19	0	4	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0
	中央	川　島	206	185	0	0	1	184	18	0	2	1	0	13	2	3	0	1	1	1	0
		神　前	214	195	0	0	0	195	16	0	2	4	1	5	4	3	0	3	0	0	0
		県	262	216	0	0	1	215	38	0	2	18	0	15	3	8	0	2	0	6	0
		三重	462	376	5	5	5	361	74	2	5	47	0	12	8	12	0	6	0	6	0
	西	桜	292	265	0	0	0	265	19	0	1	7	0	11	0	8	0	3	0	5	0
		小　計	2,717	2,392	26	19	19	2,328	243	19	19	90	2	84	29	82	15	26	1	32	8
北消防署管内	北署	羽　津	306	285	4	17	5	259	13	2	3	2	0	4	2	8	2	3	1	1	1
		富　田	253	226	4	3	0	219	10	2	1	4	1	1	1	17	9	3	0	3	2
		富洲原	239	209	6	1	0	202	15	3	0	8	0	3	1	15	6	2	0	0	7
		大矢知	305	280	0	1	3	276	19	0	4	9	0	3	3	6	3	2	1	0	0
	北部	八　郷	298	255	3	3	0	249	40	0	1	14	0	18	7	3	0	3	0	0	0
		下　野	211	191	0	0	0	191	17	0	1	11	0	3	2	3	0	2	0	1	0
		保　々	257	220	0	0	0	220	33	0	0	5	1	17	10	4	0	2	1	1	0
	朝川	朝　日	284	237	0	13	2	222	44	0	0	6	0	19	19	3	0	3	0	0	0
		川　越	560	525	2	11	0	512	23	0	0	19	0	4	0	12	2	4	0	6	0
		小　計	2,713	2,428	19	49	10	2,350	214	7	10	78	2	72	45	71	22	24	3	12	10
南消防署管内	南署	塩　浜	240	213	8	13	1	191	14	6	1	3	1	2	1	13	8	2	0	3	0
		日　永	306	275	13	7	6	249	16	3	1	4	1	5	2	15	4	3	1	7	0
		内　部	340	310	0	2	1	307	21	0	3	6	0	10	2	9	0	3	1	5	0
		河原田	151	131	5	5	0	121	15	1	0	6	0	8	0	5	0	1	0	4	0
		楠	306	265	11	4	0	250	39	3	16	12	0	6	2	2	0	2	0	0	0
	南部	四郷	361	334	0	4	5	325	16	2	2	2	0	7	3	11	0	5	0	6	0
		小山田	218	182	0	0	0	182	25	0	0	6	0	14	5	11	0	2	5	4	0
		水　沢	168	146	0	0	0	146	16	0	0	6	1	6	3	6	0	1	3	2	0
		小　計	2,090	1,856	37	35	13	1,771	162	15	23	45	3	58	18	72	12	19	10	31	0

開発行為に関する事前協議等

概要

本市では、地域の計画的な発展と良好な市街地の形成を図るため、都市計画法（昭和４３年法律第１００号）の規定に基づき、良質な開発行為等を誘導し、もって住みよいまちづくりの実現と地域住民の健全な生活環境を保全することを目的として、開発許可等に関し必要な事項について四日市市開発許可等に関する条例を定めています。

消防本部としては、四日市市開発許可等に関する条例に基づき、万一の災害が発生しても、安全かつ円滑な災害防ぎょ活動が実施できるよう、消防活動上必要な施設の設置等、宅地開発行為に関し必要な事項の同意、協議について審査、指導をしています。

		令和６年度	令和７年度
審査件数		４６件	３５件
指導内容	水利関係	４件	４件
	消防活動用空地	１件	０件
	その他	０件	０件
	指導件数合計	５件	４件

緊急消防援助隊の派遣体制

緊急消防援助隊は、平成７年１月に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、平成７年６月に創設されています。各地で大規模災害が発生した場合に、その被災都道府県内の消防力だけでは対応できないときに、緊急消防援助隊に登録している他の都道府県の市町村消防本部から、被災地に応援出動します。三重県隊のうち本市の派遣体制は次のとおりです。

登録隊の種類		登録車両	登録人数
県大隊指揮隊 【統合機動部隊指揮隊】 【土砂・風水害機動支援部隊指揮】 【NBC 災害即応部隊指揮隊】		本部 51 号	5 人 【15 人】
エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊		本部 61 号	4 人
安全管理部隊指揮隊		本部 52 号	4 人
消火小隊		北 1 号	4 人
		南 1 号	4 人
		西 1 号	4 人
		北部 2 号	4 人
救助小隊		中 41 号	5 人
救急小隊		西南救急 1 号	3 人
		北救急 1 号	3 人
後方支援小隊		支援 1	3 人
特殊災害小隊	毒劇物等対応小隊	南 41 号	4 人
	大規模危険物 火災等対応小隊	中 10 号	3 人
		中 71 号	2 人
		特装 1	2 人
		特装 2	2 人
特殊装備小隊	震災対応特殊車両小隊	重機 1	3 人
合計		20 隊【3 隊】	74 人【15 人】
重複を除く合計		17 隊	59 人

※　【　】内は重複　　令和８年４月１日現在

四日市市消防支援隊の活動状況

四日市市消防支援隊とは、大規模災害の発生時に迅速な市民対応と安全な市民生活を確保するため、四日市市消防本部の退職者が有する消防及び防災の知識、技術、経験を活かし、消防本部及び消防署等が行う消防、防災活動を支援する制度です。

【　活動内容　】

（１）消防本部、消防署及び消防分署の広報活動
　ア　庁舎、資機材等の管理
　イ　市民への機材貸出し（のこぎり、バール等の軽量機材）
　ウ　避難者の応急手当
　エ　避難者の広域避難地への案内
　オ　支援物資の管理

（２）情報収集
　ア　自宅周辺の被害状況の報告
　イ　参集途上の道路、危険箇所及び建築物等の被害状況に係る報告
　ウ　消防署等における住民からの情報収集

（３）消防本部、消防署及び消防分署が行なう災害活動の支援
　ア　広域応援隊の誘導
　イ　活動中の消防署員等の食糧及び飲料水等の供給

（４）地域防災活動の支援
　ア　地域の防災リーダーとしての地元自治会が実施する地域防災活動等の支援

【　四日市市消防支援隊登録状況　】

令和８年４月１日現在　１０１名

防災教育センター利用状況

【概　要】

平成９年４月に四日市市北消防署に併設された防災教育センターは、老朽化した施設・設備を、ＶＲなどの最新技術を活用して、市民が災害を身近に感じる事ができ、実践的な対応を学ぶことが出来る展示内容に一新するとともに、ＶＲ付地震体験車による出張型教育を行うなど、時代の流れに対応した魅力ある施設として、令和６年５月にリニューアルオープンしました。

１階の展示体験室は、四日市市マッピングシアターや煙体験、ＶＲを使用しての地震体験など様々な体験ができるとともに、災害に備えた備蓄品を展示するなど、防災教育・研修施設として市民等の防災意識の高揚を図るために利用の促進に努めていきたいと考えております。

また、防火・防災に関するDVDの貸し出しを行い、２階の防災センターには、消防防災に関する会議等に利用して頂いております。

今後も、さらなる防災力の向上と啓発・発信拠点として、より一層魅力ある施設として多くの市民が利用していただけるように努めていきます。

（令和7年度）

月	区分	防災展示体験室											地震体験車		防災センター	
		消防施設見学		自主防災隊	消防関係	自治会	会社関係	官公庁	他都市視察	家族		計	計	累計	計	累計
		保･幼稚園	小中学校							子供	大人					
4月	件数	0	1	2	1	0	2	0	0	6		12	12	12		0
	人員	0	1	22	8	0	19	0	0	6	10	66	360	360		0
5月	件数	1	8	0	0	1	4	3	1	6		24	30	42	1	1
	人員	17	77	0	0	2	21	11	33	10	13	184	3,138	3,498	70	70
6月	件数	2	4	2	2	7	3	1	0	5		26	27	69	1	2
	人員	90	10	20	15	93	34	30	0	4	13	309	1,338	4,836	40	110
7月	件数	3	7	0	0	1	7	1	2	51		72	34	103	11	13
	人員	163	140	0	0	17	76	33	25	54	86	594	922	5,758	10,153	10,263
8月	件数	0	18	2	2	2	5	1	0	43		73	59	162	3	16
	人員	0	357	54	102	41	57	18	0	65	64	758	1,236	6,994	1,571	11,834
9月	件数	2	4	1	2	4	15	1	1	12		42	36	198	6	22
	人員	153	67	3	27	113	163	29	16	9	17	597	1,283	8,277	3,675	15,509
10月	件数	0	2	0	1	0	11	0	3	3		20	26	224	3	25
	人員	0	54	0	12	0	169	0	23	2	6	266	1,402	9,679	126	15,635
11月	件数	2	8	1	0	7	5	1	1	3		28	33	257	3	28
	人員	60	416	13	0	136	35	50	1	5	5	721	2,613	12,292	152	15,787
12月	件数	2	4	0	1	1	4	3	0	4		19	17	274	1	29
	人員	96	111	0	1	18	41	15	0	2	11	295	813	13,105	60	15,847
1月	件数	1	4	1	2	1	4	4	3	6		26	25	299	3	32
	人員	17	41	22	18	21	43	43	8	7	10	230	763	13,868	950	16,797
2月	件数	1	1	2	1	2	3	2	4	16		32	19	318	4	36
	人員	13	5	42	24	49	20	16	38	42	11	260	694	14,562	9,785	26,582
3月	件数	0	2	0	2	1	4	1	0	4		14	12	330	5	41
	人員	0	80	0	32	7	61	4	0	2	16	202	567	15,129	98	26,680
合計	件数	14	63	11	14	27	67	18	15	159		388				
	人員	609	1,359	176	239	497	739	249	144	208	262	4,482				

防災展示体験室　月平均利用者数　　374名　　防災センター月平均利用者数　　2,223名

四日市市防災指導員制度

近年、多発する大規模災害は、私たちに数多くの教訓を残しています。その教訓の中で重要性を増しているのが高齢者等の災害時要援護者の人たちへの防災対策です。

そのため、四日市市消防本部では、災害に強い街づくりを目指して、平成8年度に防災指導員制度を創設し、防災に関して、豊富な経験と知識を有した者を指導員として任命を行い、指導員が民生委員とともに、ひとり暮らしの高齢者宅に、「防災診断」として訪問し、居宅の危険個所や地震発生時の注意点等を指導しています。

また、「防災診断」を平成8年度から開始し、平成18・19年度には特別診断として住宅用火災警報器の設置を対象者に対して行いました。「防災診断」は、市内を3年で一巡するように計画し、令和6年度から10回目の防災診断を開始し、住宅用火災警報器を順次更新するなど、高齢者等の方々への安全・安心な暮らしに寄与するように努めていきます。

防災診断実施状況

（令和7年度）

診断対象区分		第1～第8回	第9回			第10回			総合計
		(H8.6～H29.3)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R8年度)	
対象世帯数	合計	39,530	1,064	2,236	1,586	1,438	1,444		47,298
ひとり暮らし高齢者		37,316	963	2,006	1,432	1,286	1,258		44,261
寝たきりの高齢者世帯等		1,494	79	181	115	119	155		2,143
障害者等		720	22	49	39	33	31		894
診断世帯数	合計	27,617	654	1,273	963	849	897		32,253
ひとり暮らし高齢者		25,923	576	1,094	848	736	773		29,950
寝たきりの高齢者世帯等		1,163	62	141	88	88	106		1,648
障害者等		531	16	38	27	25	18		655

防災指導員による指導状況

指導内容		件数
防火管理	暖房器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	調理器具の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	風呂釜の性能、設置場所及び取扱等に問題があり火災予防上危険である。	
	たばこの始末及びマッチ、ライター、ロウソク等の火気の管理が適切でない。	
	ガス器具、ガスボンベ及びガス警報機等管理及び付近の整理が適切でない。	
	屋内に灯油等の危険物が放置され、その管理が適切でない。	
	電気配線が適切でない。	
	屋内の整理整頓が必要である。	3
	住宅用火災警報器が未設置	257
地震対策	建物の構造等に問題があり、地震が発生した場合に危険である。	
	就寝場所に家具があるため、地震が発生した場合、家具が転倒し負傷する危険がある。	23
	地震や風水害の発生により避難の必要があるときに、自力で避難することができない。	
	燃焼器具等の燃料タンクが屋内で地震が発生した場合、転倒の危険がある。	
指導件数合計		283

防火・防災教室の経緯と現状

（令和7年度）

１．防災教育の目的	阪神・淡路大震災を教訓とした、「災害に強い人づくり」事業として、小・中学校の防災教育をとおし、災害時における行動等について理解を深め、防災意識の高揚を図ります。
２．活動実績 ⑴防災教室 （中学１年生を対象として１学期に実施）	管内の中学１年生を対象として平成８年度からモデル校を指定して試行的に実施。 平成１３年度から管内の中学校（私立中を含む）２８校で実施 ・　令和２年度実施校　（７校・７４９人） ・　令和３年度実施校　（２６校・３，１０１人） ・　令和４年度実施校　（２６校・２，８９５人） ・　令和５年度実施校　（２５校・２，５２４人） ・　令和６年度実施校　（２８校・３，１７９人） ・　令和７年度実施校　（２７校・２，９９０人）
⑵防火教室 （小学３年生を対象として２学期に実施）	管内の小学３年生を対象として昭和５６年度より管内の小学校を対象として実施。 平成２５年度から管内の小学校（私立小を含む）４４校で実施 ・　令和２年度実施校　（４２校・４，６６７人） ・　令和３年度実施校　（４０校・２，８８３人） ・　令和４年度実施校　（４２校・２，８５２人） ・　令和５年度実施校　（４０校・２，５７９人） ・　令和６年度実施校　（４２校・２，７６５人） ・　令和７年度実施校　（４２校・２，７１５人）
３．標準カリキュラム ⑴防災教室（中学生）	（ア）スライド等を活用した防災講話 （阪神淡路大震災、東海豪雨、東日本大震災、能登半島地震等） （イ）応急手当ての実技指導（心肺蘇生法）等 （ウ）防災啓発車による地震体験
⑵防火教室（小学生）	（ア）テキスト「みんなで防火」を用いた防火講話 （イ）体験実技 ・水消火器による模擬消火体験 ・スモークマシンによる煙体験

救助 ・ 救急

一　目　統　計

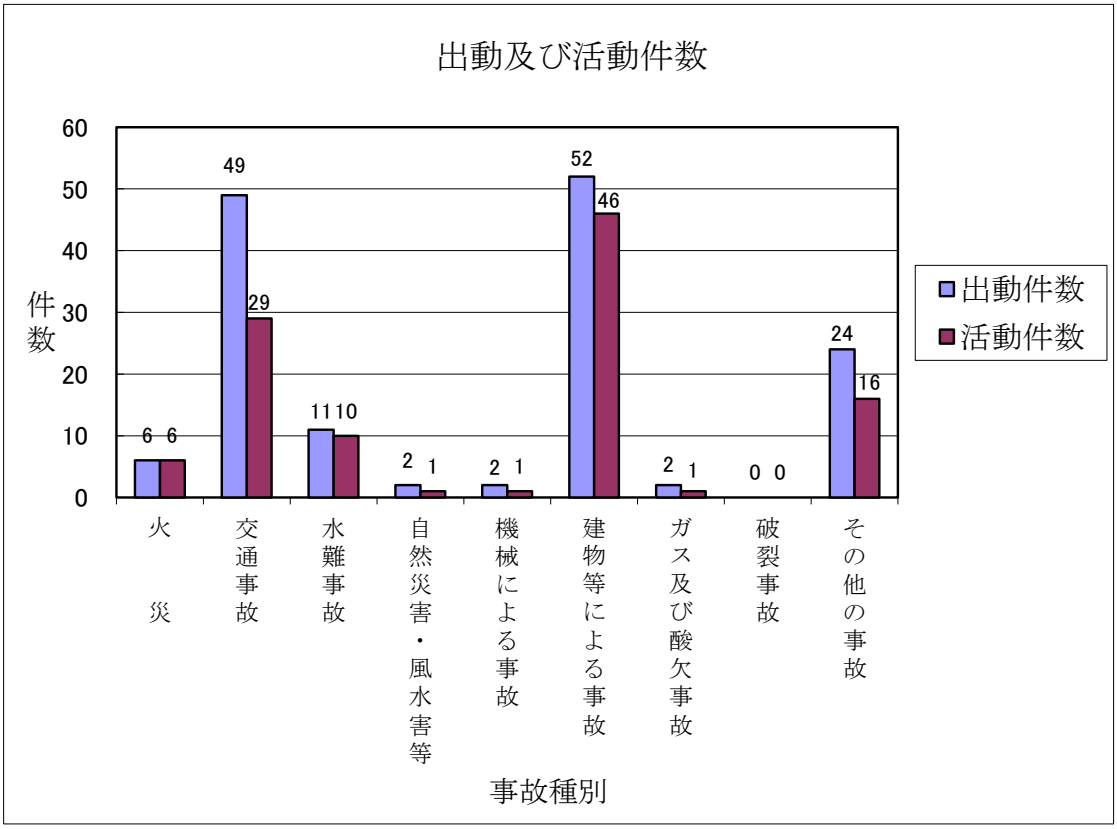
令和７年中

救助出動件数		１４８件
	（うち　高度救助隊　出動件数	８７件　）
救助活動件数		１１０件
	（うち　高度救助隊　活動件数	４０件　）
活動割合		７４％
出動延べ隊数		６４３隊
救助人員		１０４人
１日あたりの平均出動件数		０．４件
活動１回あたりの平均救助人員		０．９人
出動件数の多かった月	３月	２０件
出動件数の少なかった月	２、８、９月	８件
出動件数の多かった曜日	月曜日、水曜日	１８件
出動件数の少なかった曜日	日曜日	１４件
出動件数の多かった地区	富田、内部地区	１２件
出動件数の少なかった地区	同和、港、橋北、桜、朝日町、水沢地区	１件
出動件数の多かった時間帯	１６～１７時	１２件
出動件数の少なかった時間帯	２３時～２４時	１件
出動の多かった事故種別	建物等による事故	５２件
出動件数の１番多かった日	３月２２日	４件

救出・救助活動状況

（令和７年中）

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	6	49	11	2	2	52	2	0	24	148
出動隊数	85	237	64	9	9	144	12	0	83	643
出動延べ人員	389	857	212	20	34	535	43	0	306	2,396
活動件数	6	29	10	1	1	46	1	0	16	110
救助人員	5	28	13	1	1	39	1	0	16	104



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成１５年４月に「水難救助隊」が発足し、令和８年４月１日現在、３７名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年別	月別／種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和3年	災害出動水難救助	9	1	2	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0
	水難訓練	１９	0	0	3	0	3	1	3	0	0	3	3	3
	新人研修	２０	0	0	4	0	0	4	2	2	0	2	4	2
令和4年	災害出動水難救助	7	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	1	1
	水難訓練	２５	0	0	3	3	4	1	1	0	3	4	3	3
	新人研修	１７	0	0	1	1	0	0	4	0	3	2	4	2
令和5年	災害出動水難救助	6	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	1	0
	水難訓練	２８	0	0	3	3	3	3	3	2	3	5	3	0
	新人研修	２４	0	0	3	2	1	4	0	4	2	2	3	3
令和6年	災害出動水難救助	8	0	1	0	0	2	1	2	1	0	0	0	1
	水難訓練	２８	0	0	3	3	3	3	2	3	3	3	5	0
	新人研修	１９	0	0	2	0	0	4	0	5	2	2	2	2
令和7年	災害出動水難救助	１１	1	0	3	2	1	0	0	0	1	1	1	1
	水難訓練	２７	0	0	3	1	3	3	3	0	5	3	3	3
	新人研修	２２	0	0	2	1	0	5	0	2	5	2	4	1

※令和４年６月の１件は管外（菰野町）事案

一 目 統 計

令和7年中

救急出動件数		17,595件
搬送件数		15,945件
不搬送件数		1,650件
搬送人員		16,048人
	男	8,503人
	女	7,545人
一日あたりの平均出動件数		48.2件
一日あたりの平均搬送人員		44.0人
救急告示医療機関数		9施設 四日市市消防本部管内 （四日市市、三重郡朝日町、川越町）
出動件数の多かった月	1月	1,772件
出動件数の少なかった月	5月	1,262件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,577件
出動件数の少なかった曜日	水曜日	2,462件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,552件
出動件数の少なかった地区	同和地区	24件
出動件数の多かった時間帯	9時～10時	1,170件
出動件数の少なかった時間帯	3時～4時	309件
出動の多かった事故種別	急病	12,030件
出動件数の一番多かった日	1月2日	86件
出動件数の一番少なかった日	5月27日	26件

令和7年中の救急業務の概要

令和7年中の救急出動件数は17，595件で、前年に比べ247件の増加となりました。

また、搬送人員は16，048人で前年と比べ181人の増加となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が12，030件（68．4％）で最も多く、続いて「一般負傷」が2，631件（15．0％）、「転院搬送」が1，133件（6．4％）、「交通事故」が1，110件（6．3％）となりました。

「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約18．9人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、48．2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「高齢者」、「新生児」の搬送は減少していますが、「成人」、「少年」、「乳幼児」は増加しました。最も多い年齢区分は「高齢者」で9，408人（58．6％）、続いて「成人」5，150人（32．0％）、「少年」675人（4．2％）、「乳幼児」761人（4．7％）、「新生児」54人（0．3％）となっています。

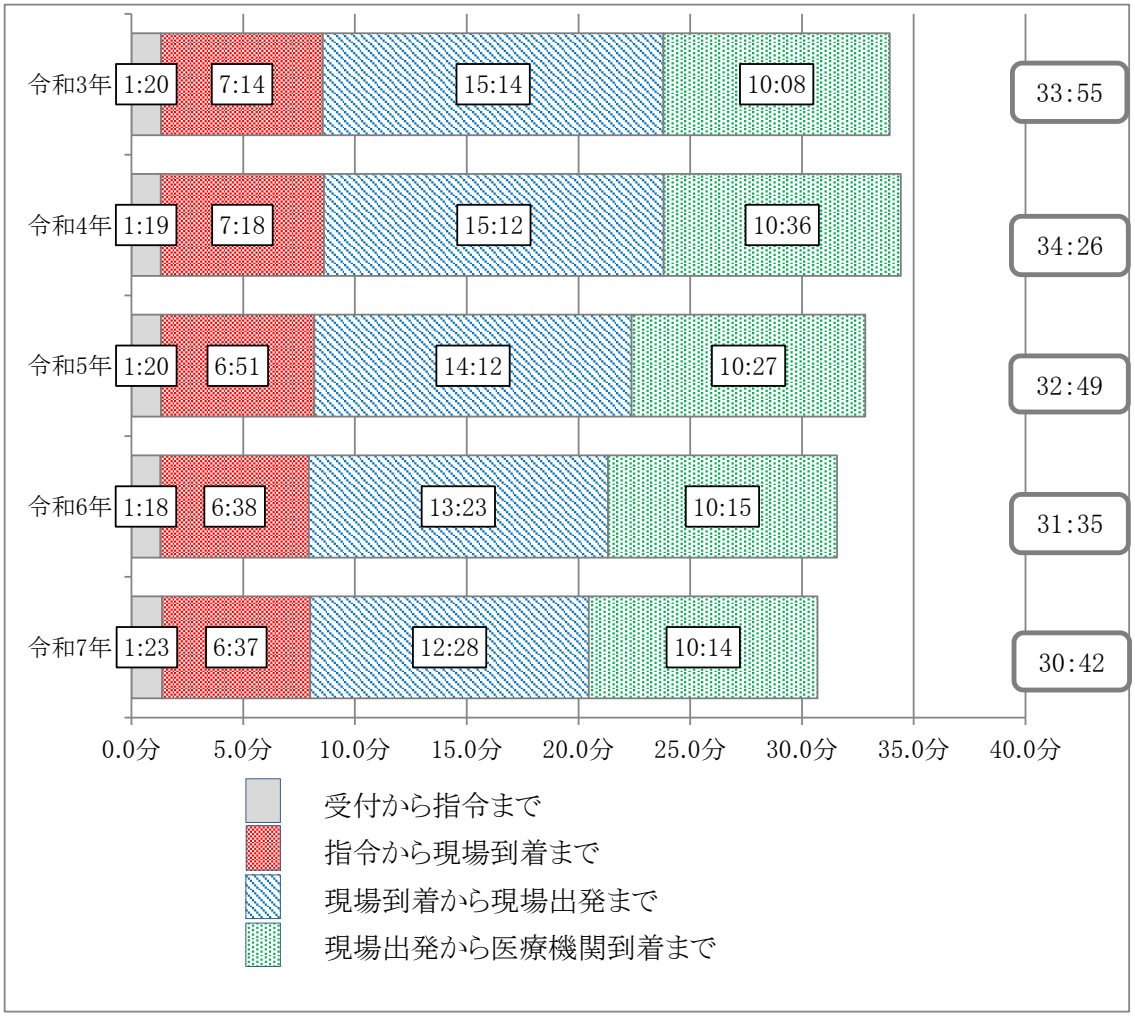
『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は60．1％となっています。続いて、「中等症」が25．9％、「重症」が11．9％となっています。

『地区別』の傾向については、「常磐」「日永」「三重」「四郷」の各地区が救急需要の多い4地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

今後も増加が予想される救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、南部地域、北部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計12台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、通報から医療機関到着までの時間短縮を目指します。

過去5年間の傷病者収容所要時間



5分救急の指標

年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
所要時間	6分28秒	6分39秒	6分17秒	6分05秒	6分05秒

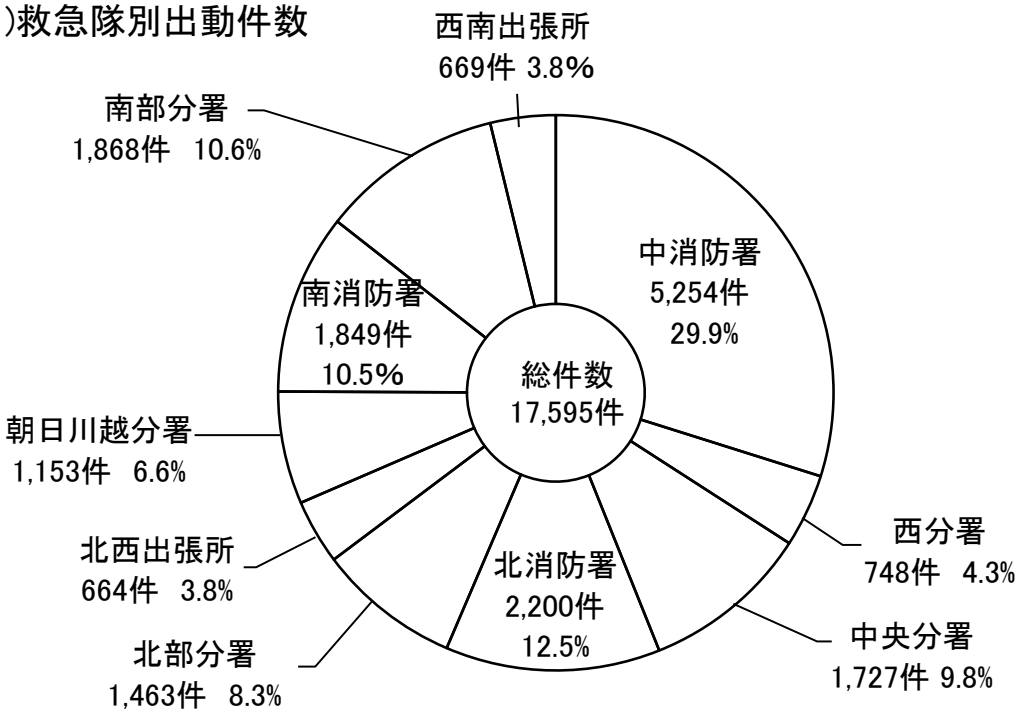
特異事案（高速道路事案、管轄外事案、現場まで20分以上要した事案、AA連携の2台目）を除いた
指令から現場到着までの所要時間

救　急　概　要

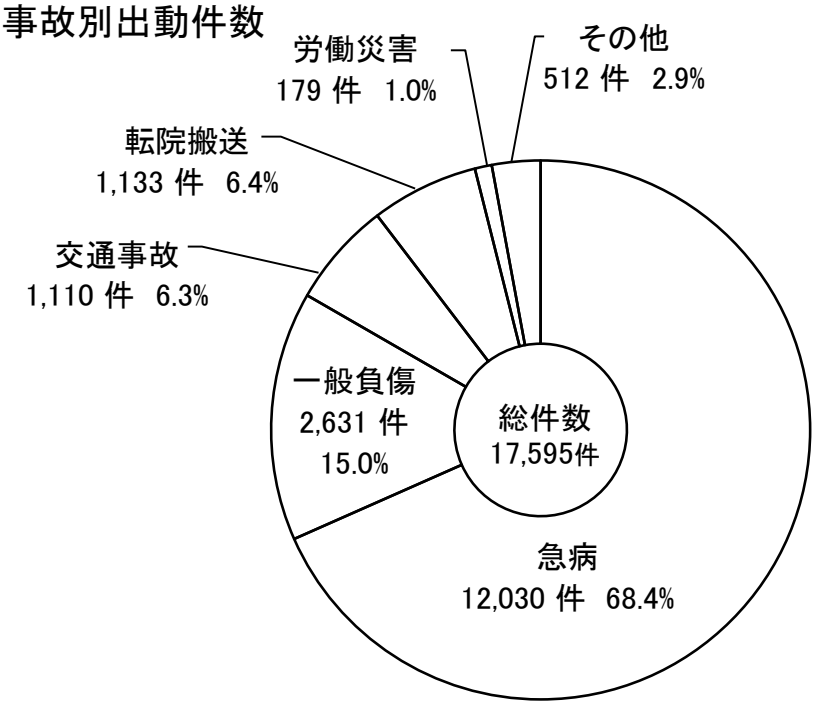
（令和7年中）

区　　分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	17，595件	48．2件
搬　送　件　数	15，945件	43．7件
搬　送　人　員	16，048人	44．0人

(1)救急隊別出動件数



(2)事故別出動件数



※小数点以下第2位を四捨五入
※四捨五入により100%にならないことがあります

救急発生状況比較

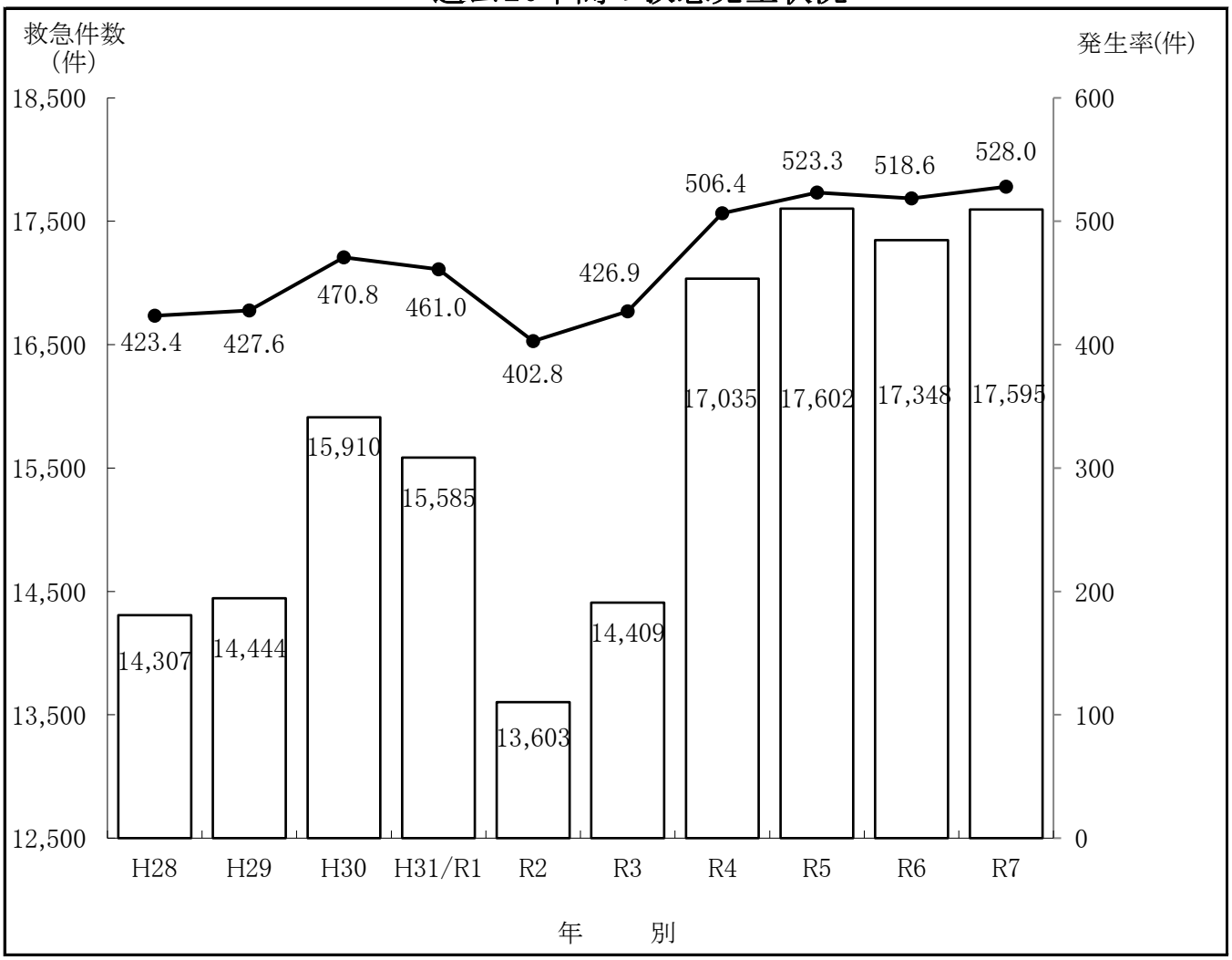
区分＼年別		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
全国	救急件数	6,193,581件	7,229,572件	7,638,558件	7,718,380件	7,686,235件
	発生率	491.2件	573.3件	605.8件	612.1件	609.6件
三重県	救急件数	90,460件	107,157件	112,538件	109,417件	109,804件
	発生率	511.0件	605.3件	635.7件	618.1件	620.3件
四日市市（朝日、川越町含）	救急件数	14,409件	17,035件	17,602件	17,348件	17,595件
	発生率	426.9件	506.4件	523.3件	518.6件	528.0件

※救急自動車による救急出動件数
※令和7年中における全国及び三重県の数値は速報値

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人　口}} \times 10{,}000$$

（人口1万人あたりの発生件数）

過去10年間の救急発生状況



地 区 別 救 急 出 場 状 況

（令和7年中）

区分 / 地区別		出場件数		搬送件数		搬送人員	
合　計		**17,595 件**	**100 %**	**15,945 件**	**100 %**	**16,048 人**	**100 %**
中消防署	小　計	**7,455**	**42.37**	**6,680**	**41.89**	**6,711**	**41.82**
	共　同	845	4.80	673	4.22	674	4.20
	同　和	24	0.14	22	0.14	22	0.14
	中　央	132	0.75	121	0.76	121	0.75
	港	137	0.78	128	0.80	129	0.80
	浜　田	809	4.60	684	4.29	687	4.28
	橋　北	288	1.64	255	1.60	257	1.60
	海　蔵	569	3.23	506	3.17	508	3.17
	常　磐	1,552	8.82	1,391	8.72	1,401	8.73
	川　島	483	2.75	462	2.90	462	2.88
	神　前	429	2.44	406	2.55	411	2.56
	桜	646	3.67	607	3.81	611	3.81
	県	338	1.92	316	1.98	316	1.97
	三　重	1,203	6.84	1,109	6.96	1,112	6.93
北消防署	小　計	**4,007**	**22.77**	**3,668**	**23.00**	**3,691**	**23.00**
	羽　津	931	5.29	859	5.39	863	5.38
	富　田	662	3.76	592	3.71	596	3.71
	富洲原	403	2.29	375	2.35	380	2.37
	大矢知	794	4.51	737	4.62	742	4.62
	八　郷	483	2.75	442	2.77	444	2.77
	下　野	452	2.57	418	2.62	418	2.60
	保　々	282	1.60	245	1.54	248	1.55
南消防署	小　計	**4,876**	**27.71**	**4,458**	**27.96**	**4,490**	**27.98**
	塩　浜	469	2.67	424	2.66	430	2.68
	日　永	1,272	7.23	1,178	7.39	1,188	7.40
	四　郷	1,143	6.50	1,025	6.43	1,030	6.42
	内　部	722	4.10	656	4.11	659	4.11
	河原田	313	1.78	296	1.86	298	1.86
	小山田	291	1.65	262	1.64	266	1.66
	水　沢	138	0.78	123	0.77	124	0.77
	楠	528	3.00	494	3.10	495	3.08
高速自動車道		**35**	**0.20**	**30**	**0.19**	**33**	**0.21**
市外	小　計	**1,222**	**6.95**	**1,109**	**6.96**	**1,123**	**7.00**
	朝日町	438	2.49	399	2.50	402	2.50
	川越町	780	4.43	707	4.43	718	4.47
	そ の 他	4	0.02	3	0.02	3	0.02

月 別 救 急 出 場 状 況

（令和7年中）

事故別	区分	月別 合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	出場件数	**17,595**	**1,772**	**1,396**	**1,462**	**1,290**	**1,262**	**1,402**	**1,631**	**1,650**	**1,323**	**1,367**	**1,471**	**1,569**
	搬送人員	**16,048**	**1,602**	**1,258**	**1,338**	**1,194**	**1,176**	**1,299**	**1,478**	**1,497**	**1,205**	**1,249**	**1,337**	**1,415**
火災	出場件数	**70**	8	8	7	2	2	4	9	5	7	4	5	9
	搬送人員	**14**	2	2	4	0	0	0	1	0	2	3	0	0
自然災害	出場件数	**1**	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	搬送人員	**0**	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	**10**	1	0	2	2	1	0	0	0	1	1	1	1
	搬送人員	**3**	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
交通	出場件数	**1,110**	83	71	98	100	79	98	101	90	90	91	110	99
	搬送人員	**1,044**	80	64	93	95	76	97	96	85	90	76	102	90
労働災害	出場件数	**179**	8	12	14	12	14	20	18	14	22	16	18	11
	搬送人員	**178**	8	12	14	12	14	20	18	14	21	16	18	11
運動競技	出場件数	**128**	8	3	14	12	12	11	12	14	17	5	8	12
	搬送人員	**130**	10	3	14	12	12	11	14	13	17	5	8	11
一般負傷	出場件数	**2,631**	247	225	214	197	203	212	246	196	177	245	225	244
	搬送人員	**2,442**	230	206	197	182	196	202	220	189	164	226	203	227
加害	出場件数	**42**	3	2	10	3	2	6	2	1	4	4	1	4
	搬送人員	**40**	3	2	9	3	2	6	2	1	4	3	1	4
自損行為	出場件数	**135**	13	7	19	6	11	10	14	14	12	8	8	13
	搬送人員	**100**	10	5	14	3	10	8	10	11	8	4	7	10
急病	出場件数	**12,030**	1,276	947	980	849	851	926	1,120	1,225	913	904	993	1,046
	搬送人員	**10,968**	1,153	854	901	788	788	853	1,018	1,101	828	834	908	942
転院搬送	出場件数	**1,133**	106	111	90	99	79	102	99	83	71	83	89	121
	搬送人員	**1,129**	106	110	90	99	78	102	99	83	71	82	89	120
その他	出場件数	**126**	19	10	14	8	8	13	10	8	8	6	13	9
	搬送人員	**0**	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

応 急 手 当 の 普 及 計 画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することで、助かる可能性が高くなります。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習を開催しています。

また、毎月第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである応急手当普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1，500名の応急手当普及員及び指導員がいます。

なお、令和7年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は55．0%となっています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績　（223回）　2,361人　（令和7年中）

講習実施月	講習回数	合計修了者数	消防防災隊団	自治会	公務員	PTA	事業所等	福祉関係	学校関係	その他（定期含む）
合計	223回	2，361	160	104	119		1，113	206	221	438
1月	9回	53					42			11
2月	17回	193	16	63			93	8	13	
3月	17回	187	29				97	3	43	15
4月	13回	118			1		83		11	23
5月	21回	202					128	7	28	39
6月	42回	444	51	41	97		163	26	27	39
7月	12回	134	26				38	12		58
8月	13回	156					35	34		87
9月	15回	148					62	15	4	67
10月	23回	280	36				154	55	2	33
11月	23回	224	2		21		138	11	17	35
12月	18回	222					80	35	76	31

※ 応急手当普及員にて109回実施、受講者806人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数　7回 175名

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習　5回 40名

○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習　3回 ・ 再講習　12回 208名

○救命入門コース（90分）の実績 ： 時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数　67回 965名

心肺機能停止傷病者の救命率

◎　救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の１ヵ月後の生存率です。
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区　分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全　国
令和3年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	296人	129,144人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	72人	26,500人
	１ヵ月後の生存者数	7人	2,944人
	救命率	9.7%	11.1%
令和4年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	375人	142,728人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	99人	28,834人
	１ヵ月後の生存者数	14人	2,971人
	救命率	14.1%	10.3%
令和5年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	378人	140,575人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	84人	28,354人
	１ヵ月後の生存者数	9人	3,348人
	救命率	10.7%	11.8%
令和6年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	353人	140,088人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	76人	27,769人
	１ヵ月後の生存者数	10人	3,434人
	救命率	13.2%	12.4%
令和7年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	362人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	92人	未確定
	１ヵ月後の生存者数	13人	未確定
	救命率	14.1%	未確定

※救命率　＝　$\dfrac{\text{１ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので一般市民に目撃された傷病者数}}$

通信･気象

一　目　統　計

令和７年中

１１９番通報取扱状況

受信総件数	２３，６７８件
携帯電話受信件数	１５，００７件
一日あたりの平均受信件数	６４．８件
一日あたりの携帯電話による平均受信件数	４１．１件
通報件数の多かった月	1月　２，１９２件
通報件数の少なかった月	5月　１，６８０件

指令事務の共同運用

四日市市と桑名市の２消防本部は、平成１９年４月１日から「四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会」を設置して、桑名市消防本部において消防通信指令事務の共同運用を開始しました。

平成２８年４月１日から消防救急無線のデジタル化に併せて、新たに菰野町を加えた３消防本部による消防指令センターを四日市市中消防署中央分署に整備し運用を開始しました。

１　目　的

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２５２条の２の２第１項の規定に基づき、複雑多様化する消防需要に広域的に対応し、住民の期待と信頼に応えられる消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令施設において行う消防通信指令に関する事務を共同して管理し、及び執行する。

２　担任事務

①災害通報の受信　②出動指令　③通信統制　④情報の収集伝達

【概要】

施設の名称	三重北消防指令センター
設置場所	四日市市中消防署中央分署
管内人口及び面積	管内人口約６０万人　面積約７２３㎢
管内署所数	２０署所
指令センター員	総員２８名 四日市市消防本部１４名 桑名市消防本部１１名 菰野町消防本部３名

消防通信施設の概要

令和８年４月に消防指令センターの更なる高機能化を図るため、消防指令システムの全面更新を実施し、１１９番通報受付から出動指令までの時間短縮及び消防車・救急車が災害場所に到着するまでの時間短縮を図ります。

１　統合型位置情報通知システム

固定電話やＩＰ電話、携帯電話からの１１９番通報に対し通報場所の位置を特定するためのシステムで、通報者が動揺していたり、通報場所がどこかわからない状況でも、固定・ＩＰ電話番号は番号情報から、携帯電話はＧＰＳ機能による位置情報から通報場所を絞り込み地図上に通報場所を表示します。

２　車両位置管理システム

ＧＰＳ（衛星利用測位システム）機能により、出向している消防車や救急車の走行している位置を把握して、災害場所に近い消防車・救急車（直近車両の隊編成）に対して出動指令を出します。

３　Ｎｅｔ１１９・ＦＡＸ１１９緊急通報システム

音声による１１９番通報が困難な聴覚障害や言語障害のある方が、スマートフォンを用いた「Ｎｅｔ１１９」、又は「ＦＡＸ」を利用しての火災・救急事案等の緊急通報を受信します。

４　三者間電話通訳システム

外国人の方からの１１９番通報時、迅速に災害・救急要請現場へ消防隊・救急隊を出動させるため、電話通訳センターを介して２４時間３６５日、２４か国語の言語に対応します。

５　１１９番映像通報システム

通報者がスマートフォンなどで撮影した災害現場の映像や位置情報を消防指令センターに伝送するシステムで、指令員がリアルタイムな映像を見ることで、正確な現場状況の把握や、適切な応急手当の指導が行えるなど、より迅速な消防・救急活動が可能となります。

● １１９番通報受付取扱状況

月別通報件数（四日市市消防本部管内）

【 】はFAX119、（ ）はNet119 それぞれ内数　（令和7年中）

区分／月	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合 計
1	22	1,715	9	13	1	184	92	137	19	**2,192**
2	37	1,367(1)	5	13	0	168	124	118	17	**1,849(1)**
3	22	1,442	10	27	0	200	200	143	15	**2,059**
4	9	1,265	7	24	0	151	124	108	9	**1,697**
5	8	1,227	4	26	0	169	141	97	8	**1,680**
6	9	1,379	11	30	0	222	141	132	14	**1,938**
7	32	1,582	13	36	0	222	122	170	10	**2,187**
8	21	1,587	9	22	1	216	108	143	18	**2,125**
9	25	1,269	3	35	1	215	197	178	14	**1,937**
10	8	1,330	7	26	2	185【1】	211	125	21	**1,915【1】**
11	17	1,418	15	20	0	153	213	126	18	**1,980**
12	21	1,529	9	30	1	195	160	162	12	**2,119**
合計	**231**	**17,110(1)**	**102**	**302**	**6**	**2,280【1】**	**1,833**	**1,639**	**175**	**23,678【1】(1)**

（備考） 火災等の災害通報には重複通報含む。

回線別通報件数（四日市市消防本部管内）

（令和7年中）

区分／種別		火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合 計
119	固定	31	1,486	3	34	0	222	1,099	127	3	**3,005**
	IP	31	4,843	8	22	1	212	328	216	3	**5,664**
	携帯	169	10,780	91	246	5	1,845	406	1,296	169	**15,007**
	FAX	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**
Net119		0	1	0	0	0	0	0	0	0	**1**
合計		**231**	**17,110**	**102**	**302**	**6**	**2,280**	**1,833**	**1,639**	**175**	**23,678**

消防本部別通報件数

【 】はFAX119、（ ）はNet119 それぞれ内数　（令和7年中）

区分／本部	火災	救急	救助	警戒	悪戯	間違い	訓練試験	問合せ	転送	合 計
四日市市	231	17,110(1)	102	302	6	2,280【1】	1,833	1,639	175	**23,678【1】(1)**
桑名市	131	11,419	68	192	5	1,339	1,093	916	90	**15,253**
菰野町	20	1,880	24	26	0	222	204	166	7	**2,549**
合計	**382**	**30,409 (1)**	**194**	**520**	**11**	**3,841 【1】**	**3,130**	**2,721**	**272**	**41,480 【1】(1)**

通 信 施 設 保 有 状 況

（令和8年4月1日現在）

所属別　区分		消防緊急通信指令施設Ⅲ型	火災報知専用電話（１１９）	ＭＣＡ無線	指令電話	道路公団	加入電話（回線）	災害問い合わせ案内（回線）	消防無線電話 基地	消防無線電話 移動 消防車両	消防無線電話 移動 その他車両	消防無線電話 移動 携帯	消防無線電話 移動 可搬型・半固定型	消防無線電話	県防災無線電話 地上・衛星	県防災無線電話 防災相互波	市防災行政用無線電話	ファクシミリ	無線ファクシミリ	携帯電話
合　計		1	14	2	11	1	32	15	1	73	27	80	15	114	5	2	13	13	1	28
消防本部		1	14	2	1	1	12	15	1		9	7	4	13	5	1	2	2	1	5
中消防署					1		4			10	4	9	2	19			1	1		5
中央分署					1		1			6	2	5	1	11			1	1		2
西分署					1		2			3	1	4	1	7			1	1		2
港分署							1			1		1				1	1	1		
北消防署					1		3			7	4	6	2	15			1	1		3
北部分署					1		1			5		5	1	8			1	1		2
朝日川越分署					1		2			2	1	4	1	7			1	1		2
北西出張所					1		1			2		2		6			1	1		1
南消防署					1		3			8	4	6	2	15			1	1		3
南部分署					1		1			2		5	1	7			1	1		2
西南出張所					1		1			2		2		6			1	1		1
消防団	団本部									1										
	消防団									24		24								
	水防対応班										2									

※北西出張所・西南出張所・消防団・水防対応班はＦＡＸと電話回線兼用　※県防災行政無線電話には、ＦＡＸ・衛星可搬型地球局含む。

無　線　配　置　状　況

消防本部

○車載無線　（四日市本部）
・指揮車　51・52
・広報車　61・62・63・64・65・66
・資機材搬送車　81
○携帯無線　四日市本部101～104
131・141・151
○可搬型・半固定型無線
四日市本部200～202・三重北指令200
○署活系携帯無線
四日市本部301～313
○防災相互波　防対四日市消防501
○基地局（三重北指令）
三重県防災行政無線（固定局）
四日市市防災行政無線（固定局）

中消防署

○車載無線　（四日市中）
・水槽付ポンプ車　1
・ポンプ車　2
・はしご車　31
・大型化学高所放水車　10
・救助工作車（Ⅲ型）　41
・泡原液搬送車　71
・指揮車/広報車　51／61
・高規格救急車　救急四日市中1～4
・軽救命消防車　四日市中45
○携帯無線　101～106・141・191・192
○可搬型・半固定型無線　200・201
○署活系携帯無線　301～312・341～344
391～393

中央分署

○車載無線（四日市中央）
・水槽付ポンプ車　1
・ポンプ車　2
・水槽車　5
・広報車　61
・資機材搬送車　81
・支援車　支援1
・重機搬送車　重機1
・高規格救急車　救急四日市中央1
○携帯無線　101～105
○半固定型無線　200
○署活系携帯無線
301～311

北消防署

○車載無線（四日市北）
・水槽付ポンプ車　1
・ポンプ車　2
・化学車　10
・屈折はしご車　31
・救助工作車（Ⅱ型）　41
・指揮車/広報車　51／61
・資機材搬送車　81
・高規格救急車　救急四日市北1・2
・軽救命消防車　四日市北45
○携帯無線　101～105・191
○可搬型・半固定型無線　200・201
○署活系携帯無線　301～312・391～393

南消防署

○車載無線（四日市南）
・水槽付ポンプ車　1
・ポンプ車　2
・化学車　10
・高所放水車　31
・救助工作車（Ⅱ型）　41
・泡原液搬送車　71
・指揮車/広報車　51／61
・資機材搬送車　81
・高規格救急車　救急四日市南1・2
・軽救命消防車　四日市南45
○携帯無線　101～105・191
○可搬型・半固定型無線　200・201
○署活系携帯無線　301～312・391～393

四日市市消防団

（四日市消防団）
○車載無線
・ポンプ車　団本部1
・ダンプ　団本部2・3
・ポンプ車（24消防分団）
各分団1
○携帯無線
24消防分団　各分団2

西分署

○車載無線（四日市西）
・水槽付ポンプ車　1・3
・広報車　61
・高規格救急車　救急四日市西1
○携帯無線　101～104
○半固定型無線　200
○署活系携帯無線　301～307

港分署

○車載無線　（四日市港）
・水難救助車　41
○携帯無線　四日市港101
○防災相互波　防対四日市消防502

朝日川越分署

○車載無線（四日市朝川）
・水槽付ポンプ車　1・3
・広報車　61
・高規格救急車　救急四日市朝川1
○携帯無線　101～104
○半固定型無線　200
○署活系携帯無線　301～307

北部分署

○車載無線（四日市北部）
・ポンプ車　2
・水槽付ポンプ車　四日市北3
・高規格救急車　救急四日市北部1
・大容量送水ポンプ車　特装1
・大型放水砲車　特装2
○携帯無線　101～105
○半固定型無線　200
○署活系携帯無線　300～307

北西出張所

○車載無線（四日市北西）
・ポンプ車　2
・高規格救急車　救急四日市北西1
○携帯無線　101・102
○署活系携帯無線　301～306

南部分署

○車載無線（四日市南部）
・水槽付ポンプ車　3
・ポンプ車　2
・高規格救急車　救急四日市南部1
○携帯無線　101～105
○半固定型無線　200
○署活系携帯無線　301～307

西南出張所

○車載無線（四日市西南）
・ポンプ車　2
・高規格救急車　救急四日市西南1
○携帯無線　101・102
○署活系携帯無線　301～306

警報・注意報・情報等の発表状況（四日市市）

（令和7年中）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	発表回数計
特別警報	暴風特別警報													0
	暴風雪特別警報													0
	大雨特別警報													0
	大雪特別警報													0
	高潮特別警報													0
	波浪特別警報													0
警報	暴風警報													0
	暴風雪警報													0
	大雨警報							1		1				2
	大雪警報		1											1
	洪水警報									1				1
	波浪警報													0
	高潮警報													0
注意報	大雨注意報				1	2	2	6		3	1			15
	大雪注意報		3											3
	風雪注意報		1											1
	雷　注意報		1	4	4	5	6	13	18	11	6	3	1	72
	強風注意報	7	9	5	4	4		2		1	2	4	5	43
	融雪注意報													0
	濃霧注意報			3	1	2	4				3		3	16
	乾燥注意報		1	2	3	1								7
	なだれ注意報													0
	低温注意報	1	9											10
	霜　注意報			11	3									14
	着氷注意報													0
	着雪注意報		1											1
	洪水注意報				1			1		3				5
	波浪注意報													0
	高潮注意報							2						2
計		8	26	25	17	14	12	25	18	20	12	7	9	193

火災気象通報		6	5	6	1								19
土砂災害警戒情報									1				1
竜巻注意情報			1			1	2	1	3				8

大津波警報													0
津波警報													0
津波注意報							1						1

注1） 同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表した警報・注意報は回数に含めない。
注2） 火災気象通報は三重県北部を対象に発表した回数を示す。
注3） 土砂災害警戒情報は四日市市に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す。
注4） 竜巻注意情報は三重県北中部に発表した一連の情報を1回と数えた回数を示す。
注5） 大津波警報・津波警報・津波注意報は、「伊勢・三河湾」を対象に発表した回数を示す。

予　　防

一　目　統　計

令和７年度

広報活動		８１１件
広報催事に対する参加者数		５３，２６９人
立入検査数		３，３９６件
建築同意数（消防通知は除く）		３９０件
防火対象物		１３，９０６棟 注)H25年度から延べ面積150㎡以上の数
中高層ビル	４階以上	１，５２９棟
危険物関係受付件数（電子申請件数を含む）		３，８９７件
危険物関係受付件数（電子申請件数に限る）		２，１８３件
危険物施設数		３，７９１施設
火災予防条例に基づく届出件数（電子申請件数を含む）		１０，６４４件
火災予防条例に基づく届出件数（電子申請件数に限る）		５０２件

広 報 活 動 状 況

（令和7年度）

種別	回数／人員	合計	消防本部	中消防署管内	北消防署管内		南消防署管内
					北消防署及び北部分署	朝日川越分署	
広報車等による宣伝活動	回　数	14	8	5	0	0	1
防火講演会	回　数	43	14	2	5	0	22
座談会	人　員	900	264	230	265	0	141
防火映画会	回　数	19	0	3	7	0	9
	人　員	1,757	0	336	698	0	723
自衛消防隊等訓練指導	回　数	170	8	54	34	24	50
	人　員	13,261	660	3,211	2,885	1,933	4,572
庁舎見学	回　数	90	0	31	15	6	38
	人　員	3,349	0	1,188	498	230	1,433
防火展	回　数	16	3	1	7	3	2
	人　員	8,353	5,900	360	1,280	663	150
防火教室	回　数	42	0	17	10	3	12
	人　員	2,715	0	1,028	779	237	671
防災教室	回　数	27	0	10	7	2	8
	人　員	2,990	0	1,146	777	273	794
地震体験車	回　数	345	340	0	1	0	4
	人　員	15,384	15,052	0	86	0	246
火災予防相談	回　数	45	0	24	8	1	12
防災教育センター見学	人　数	4,560	4,482	72	0	6	0
合計	回　数	811	373	147	94	39	158
	人　員	53,269	26,358	7,571	7,268	3,342	8,730

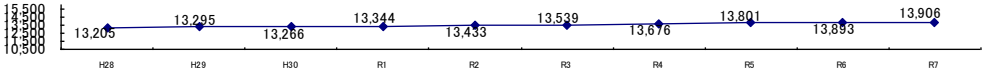
広 報 用 印 刷 物

（令和7年度）

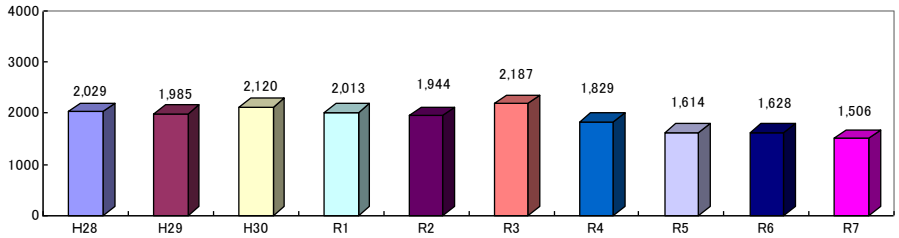
種別	合計(部数)
チラシ	10,947
ポスター	5,472
広報発行物	771,690
その他広報用資材	12,053
合計	800,162

建築同意状況及び防火対象物の推移

防火対象物数　　注)H25 年度から延べ面積 150 ㎡以上の数



建築同意件数



建 築 同 意 件 数

(令和７年度)

区分 / 項目	件数 同意	件数 不同意
新築	２９８	0
増築	８８	0
改築	0	0
移転	0	0
修繕	0	0
用途変更	4	0
模様替え	0	0
小計	３９０	0
消防通知	１，１１６	0
合計	１，５０６	0

消防用設備等届出状況

(令和７年度)

工事計画書	着工届出	設置届出
７３件	７０９件	８０６件

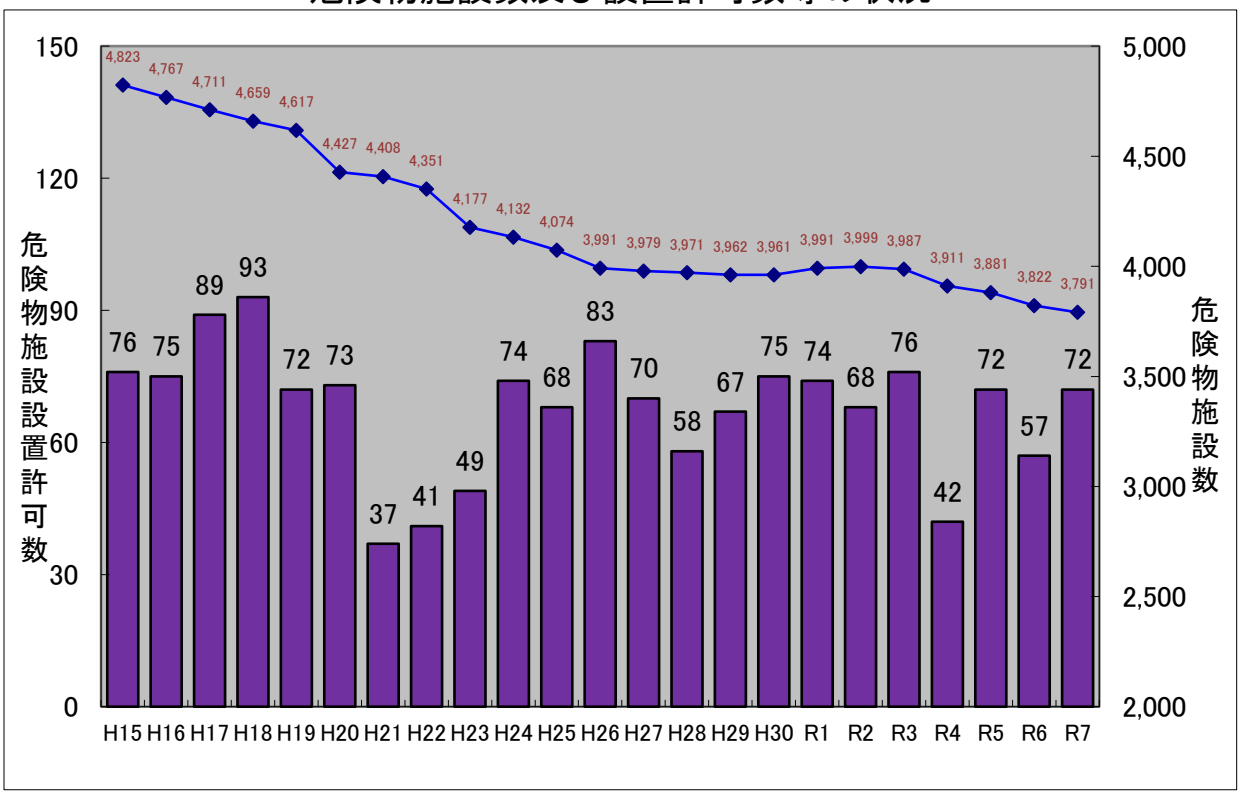
危険物仮貯蔵・仮取扱申請承認状況

(令和７年度)

署別 / 区分	合計	中消防署	北消防署	南消防署
仮貯蔵	１１５	2	１１１	2
仮取扱	8	0	3	5

電子申請数 ()内は昨年	消防用設備等点検結果報告書	209(165)	消火・避難訓練実施計画書	72(38)
	消防計画作成（変更）届出書	55(46)	防火対象物定期点検報告	7(4)
	防火・防災管理者選任（解任）届出書	75(48)	道路工事届出書	17(14)
	電気設備設置届出書	27(11)	防火対象物使用開始届出書	16(12)
	火気使用設備等設置届出書	3(2)	露店等の開設届出書	5(3)
	防火・防災管理対象物点検報告特例認定申請書	1(1)	喫煙・裸火の使用・危険物品持込届出書	9(3)
	全体についての消防計画作成（変更）届出書	4(1)	統括防火（防災）管理者選任（解任）届出書	1(3)
	火災と紛らわしい煙又は火災を発するおそれのある行為届出書			1(3)

危険物施設数及び設置許可数等の状況



	許可申請		完成検査申請	
	設置	変更	設置	変更
製造所	1	196	0	182
屋内貯蔵所	6	11	5	8
屋外タンク貯蔵所	16	179	1	160
屋内タンク貯蔵所	0	2	0	2
地下タンク貯蔵所	2	3	2	3
簡易タンク貯蔵所	1	0	1	0
移動タンク貯蔵所	38	7	41	7
屋外貯蔵所	0	0	0	0
給油取扱所	0	15	0	17
販売取扱所	0	0	0	0
移送取扱所	0	27	0	23
一般取扱所	8	309	2	269
合計	72	749	52	671

完成検査前検査		109
	水張検査	69
	水圧検査	29
	溶接部検査	11
	基礎地盤検査	0

保安検査(定期・臨時)	4	予防規程認可	39
仮使用	554	仮貯蔵・仮取扱	123
変更届出	604	廃止届出	54
その他届出	866		

電子申請数 ()内は昨年	設置変更許可	400(ー)	完成検査	570(641)
	完成検査前検査	30(43)	廃止届出書	21(25)
	品名、数量又は指定数量の倍数変更届	120(107)	危険作業開始	283(261)
	保安監督者選任解任	78(78)	機器開放等	63(44)
	予防規程制定(変更)	17(20)	保安検査	2(10)
	変更届	484(268)	その他届出	115(ー)

火災予防条例等に基づく届出事務処理状況

（令和7年度）

区分＼署別	合計	本部	中消防署	西分署	中央分署	北消防署	北部分署	朝川分署	南消防署	南部分署
防火対象物使用開始届	267		112	2	11	42	9	15	57	19
防火管理者選解任届	674		209	15	75	116	31	51	137	40
消防計画作成(変更)届	711		219	20	83	112	35	55	144	43
共同防火管理協議事項作成(変更)届	0									
消火･避難訓練実施計画書	1,190		352	30	105	216	57	146	200	84
工事中の消防計画届	0									
防火対象物定期点検報告	176		76	2	13	26	1	17	32	9
防火対象物点検報告特例認定申請	26		4	1	4	4	3		9	1
消防用設備等設置届	806	48	214	16	43	114	23	51	266	31
消防用設備等着工届	709	115	206	17	60	92	23	45	119	32
消防用設備等の特例適用願い	15	1	9			1			4	
消防用設備等点検結果報告	5,052		1748	119	486	826	298	406	887	282
炉	6		3	1				1	1	
厨房設備	1				1					
温風暖房機	0									
ボイラー	19		6		2	6			4	1
給湯湯沸設備	8		3						4	1
乾燥設備	7							5	2	
サウナ設備	1		1							
ヒートポンプ冷暖房機	0									
火花を生じる設備	0									
放電加工機	0									
発電設備	14		2	1	2	3		1	5	
変電設備	96		19	3	10	13	6	10	29	6
蓄電池設備	24		6		2	7		4	5	
ネオン管灯設備	0									
指定洞道	0									
水素ガス気球届	0									
熱風炉	0									
少量危険物	175		21	3	11	68	3	10	52	7
指定可燃物	83		11			7	8	7	49	1
圧縮アセチレンガス	37		1	1	1	17		2	11	4
液化石油ガス	203		87		10	35	8	8	50	5
無水硫酸	2					2				
生石灰	0									
毒物	1								1	
劇物	5						4		1	
高圧ガス	0									
喫煙届	0									
裸火	24		11			12		1		
危険物品持込	38		23		1	7		3	4	
避難訓練実施計画届(法第36条)	4		1			1			2	
自衛消防組織設置(変更)届	2							1	1	
防災管理者選解任届	24		15			5			4	
防災管理消防計画作成(変更)届	23		15			4		1	3	
防災管理点検報告届	25		7		2	3	2	2	7	2
防災管理点検報告特例認定申請	4					1			3	
統括防火管理者選解任届	3		3							
全体の消防計画作成(変更)(防火)届	4		4							
統括防災管理者選解任届	1		1							
全体の消防計画作成(変更)(防災)届	1		1							
表示マーク交付(更新)申請	1		1							
露店等の開設届	182		58	6	18	39	8	7	38	8
合計	10,644	164	3,449	237	940	1,779	519	849	2,131	576

防火対象物状況（階層別）

（令和8年4月1日現在）

政令別表項 / 階層		合計	1		2				3		4	5		6																			7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ				ロ						ハ					ニ									イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ	二	三		
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	(1)病院	(2)有床診療所	(3)病院及び有床診療所（左記を除く。）・有床助産所	(4)無床診療所・無床助産所	(1)特別養護老人ホーム等	(2)老人短期入所施設	(3)乳児院	(4)障害児入所施設	(5)障害者支援施設	(1)老人デイサービス等	(2)更生施設	(3)助産施設・保育所・児童養護施設等	(4)児童発達支援センター等	(5)身体障害者福祉センター等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	①～⑤・⑨イに掲げる複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	文化財	延長50m以上のアーケード
合計		13,906	20	199	0	19	0	10	3	295	534	53	3,994	5	1	21	203	140	1	2	3	32	66	0	97	19	92	50	422	11	5	2	9	201	2,259	0	149	0	1,899	1,983	723	361	0	0	4	19
地上階	1階	4,053	0	88	0	8	0	3	0	125	346	0	17	0	0	3	34	33	0	0	1	14	31	0	52	8	28	23	147	3	1	0	2	127	1022	0	98	0	1284	482	36	16	0	0	2	19
	2階	6,269	11	95	0	8	0	5	2	101	158	15	2323	2	0	5	140	71	0	1	2	18	21	0	42	11	49	23	86	6	4	2	6	66	989	0	36	0	533	1009	293	134	0	0	2	0
	3階	2,054	7	14	0	1	0	0	1	32	22	11	907	1	1	4	22	20	0	1	0	0	9	0	2	0	11	3	126	1	0	0	1	7	161	0	7	0	64	336	189	93	0	0	0	0
	4階	693	0	1	0	2	0	1	0	19	7	2	295	0	0	1	4	9	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1	43	0	0	0	0	0	53	0	6	0	12	87	106	39	0	0	0	0
	5階	352	1	0	0	0	0	0	0	12	1	3	196	1	0	3	2	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	13	0	0	0	0	1	14	0	1	0	4	29	37	28	0	0	0	0
	6階	122	0	0	0	0	0	1	0	4	0	6	40	1	0	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	18	0	0	0	1	7	15	17	0	0	0	0
	7階	87	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4	32	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	15	15	12	0	0	0	0
	8階	75	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	36	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	11	9	9	0	0	0	0
	9階	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	5	0	0	0	0
	10階	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	17	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	4	0	0	0	0
	11階	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	12階	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
	13階	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	14階	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	15階	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
	16階以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
上記のうち地階を有するもの	地下1階	238	2	3	0	0	0	1	0	10	1	7	33	0	0	7	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	4	1	1	0	0	1	13	0	2	0	4	88	38	8	0	0	0	0
	地下2階	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	12	1	0	0	0	0	0
	地下3階以下	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
地下のみ		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

防火対象物状況（消防用設備別）

（令和8年4月1日現在）

設備等＼政令別表項目		合計	1		2				3		4	5		6																					7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ					ロ					ハ					ニ						イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ				
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	(1) 病院	(2) 有床診療所	(3) 病院及び有床診療所（左記を除く）・有床助産所	(4) 無床診療所・無床助産所	(1) 特別養護老人ホーム等	(2) 救護施設	(3) 乳児院	(4) 障害児入所施設	(5) 障害者支援施設	(1) 老人デイサービス等	(2) 更生施設	(3) 助産施設・保育所・児童養護施設等	(4) 児童発達支援センター等	(5) 身体障害者福祉センター等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	イ 蒸気・熱気浴場	ロ イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	イ 工場・作業場	ロ 映画・テレビスタジオ	イ 自動車車庫・駐車場	ロ 飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ 存する①～④・⑤イ・⑥・⑨イが①～④・⑤イ・⑥・⑨イ以外の複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	地下	準地下	文化財	延長50m以上のアーケード
防火対象物合計		13,906	20	199	0	19	0	10	3	295	534	53	3994	5	1	21	203	140	1	2	3	32	66	0	97	19	92	50	422	11	5	2	9	201	2259	0	149	0	1899	1983	723	361	0	0	4	19
消防用設備等を要する防火対象物の別	屋内消火栓設備を要するもの	1,508	13	14	0	7	0	1	1	5	51	25	205	0	0	6	3	21	0	0	1	2	5	0	5	1	0	10	162	3	1	0	1	1	450	0	1	0	294	148	51	20	0	0	0	0
	スプリンクラー設備を要するもの	315	4	0	0	3	0	0	0	1	23	3	52	5	1	9	0	129	1	2	3	34	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	14	3	20	1	0	0	0	0
	水噴霧等消火設備を要するもの	288	1	2	0	2	0	1	0	0	26	8	23	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	60	0	84	0	8	50	12	3	0	0	0	0
	屋外消火栓設備を要するもの	372	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	186	0	1	0	147	28	0	1	0	0	0	0
	動力消防ポンプを要するもの	116	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	38	8	2	1	0	0	0	0
	自動火災報知設備を要するもの	5,694	17	73	0	18	0	10	1	132	292	68	1267	4	1	20	94	137	1	2	3	38	48	0	74	3	100	38	311	6	5	1	3	11	1202	0	55	0	869	461	450	145	0	0	4	0
	ガス漏れ火災警報設備を要するもの	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	漏電火災警報器を要するもの	19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	消防機関へ通報する火災報知設備を要するもの	1,277	5	8	0	9	0	6	0	6	105	42	160	5	1	18	33	139	1	2	3	37	23	0	54	2	19	14	35	0	2	0	0	0	219	0	14	0	91	98	93	32	0	0	1	0
	非常警報設備を要するもの	1,616	17	233	0	15	0	5	1	158	156	7	242	2	0	8	64	22	0	0	1	1	13	0	14	1	9	14	209	1	4	0	1	33	40	0	5	0	10	204	113	13	0	0	0	0
	避難器具を要するもの	1,283	4	24	0	2	0	4	1	69	8	22	550	3	1	12	7	34	0	1	2	3	7	0	15	0	6	16	160	2	1	0	0	4	12	0	0	0	4	102	148	59	0	0	0	0
	誘導灯を要するもの	3,723	19	202	0	19	0	10	3	372	514	68	158	4	1	20	204	137	1	2	3	37	70	0	74	38	131	39	49	6	6	1	2	7	270	0	27	0	264	395	521	49	0	0	0	0
	消防用水を要するもの	110	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	65	0	1	0	16	11	4	0	0	0	0	0
	排煙設備を要するもの	26	2	0	0	3	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0
	連結散水設備を要するもの	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
	連結送水管を要するもの	392	1	1	0	0	0	0	0	2	1	18	210	2	0	6	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	5	0	4	0	3	36	44	32	0	0	0	19
	非常コンセント設備を要するもの	114	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	2	0	0	0	0
	無線通信補助設備を要するもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
防火対象物の防火管理者選任の別	甲種防火対象物	2,093	9	75	0	16	0	8	1	106	256	41	336	5	1	10	42	114	1	2	2	20	31	0	72	2	16	27	102	3	4	1	1	26	160	0	0	0	32	193	319	59	0	0	0	0
	乙種防火対象物	630	1	188	0	1	0	2	0	205	101	0	3	0	0	0	6	0	0	0	0	0	3	0	8	1	3	1	6	1	0	0	0	13	3	0	0	0	0	32	52	0	0	0	0	0
	統括防火管理を要するもの	47	0	0	0	0	0	0	0	7	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	1	24	3	0	0	0	0

防火対象物状況（地区別）

（令和8年4月1日現在）

地区＼政令別表項		合計	1		2				3		4	5		6																				7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		16	16	17	18
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ					ロ						ハ						ニ				イ	ロ					イ	ロ			イ	ロ	ニ	三		
			劇場・映画館	公会堂・集会場	キャバレー・カフェー	遊技場等	風営法規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗等	カラオケ等	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄宿舎・下宿・共同住宅	(1) 病院	(2) 有床診療所	(3) 病院及び有床診療所（左記を除く）・有床助産所	(4) 無床診療所・無床助産所	(1) 特別養護老人ホーム等	(2) 老人短期入所施設	(3) 救護施設	(4) 乳児院	(5) 障害児入所施設	(1) 障害者支援施設等	(2) 老人デイサービス等	(3) 更生施設	(4) 助産施設・保育所・児童養護施設等	(5) 児童発達支援センター等	身体障害者福祉センター等	幼稚園・盲学校等	学校	図書館・美術館	蒸気・熱気浴場	イに掲げる以外の公衆浴場	車両の停車場	神社・寺院	工場・作業場	映画・テレビスタジオ	自動車車庫・駐車場	飛行機等の格納庫	倉庫	その他の事業所	イ～④・⑤イ・⑥・⑨イが存する①～④・⑤イ・⑥・⑨イ複合用途防火対象物	イ以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	文化財	延長50m以上のアーケード
合計		13,906	20	199	0	19	0	10	3	295	534	53	3994	5	1	21	203	140	1	2	3	32	66	0	97	19	92	50	422	11	5	2	9	201	2259	0	149	0	1899	1983	723	361	0	0	4	19
中消防署管内	小計	5244	2	62	0	8	0	5	1	182	219	30	1641	2	1	8	99	48	0	0	0	7	27	0	35	11	33	19	144	3	2	1	3	82	524	0	73	0	556	743	447	207	0	0	0	19
	共同	598	0	2	0	2	0	1	0	81	21	8	99	0	0	0	7	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3	3	11	0	1	1	0	10	8	0	15	0	19	67	188	33	0	0	0	15
	同和	13	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	2	0	0	0	0
	中央	127	0	0	0	0	0	0	1	3	2	2	25	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	0	1	7	5	0	3	0	3	35	20	8	0	0	0	4
	港	284	0	4	0	0	0	0	0	2	1	1	23	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	52	0	1	0	108	75	3	7	0	0	0	0
	浜田	956	2	5	0	1	0	0	0	11	38	9	247	0	0	1	9	0	0	0	0	0	2	0	4	2	3	1	21	2	0	0	0	9	92	0	31	0	129	178	87	72	0	0	0	0
	常磐	1161	0	14	0	1	0	2	0	32	63	5	661	0	0	3	18	17	0	0	0	1	7	0	10	2	7	4	12	1	0	0	0	14	37	0	6	0	40	101	65	38	0	0	0	0
	橋北	314	0	3	0	0	0	0	0	3	8	1	75	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	7	0	0	0	0	2	57	0	2	0	68	56	10	12	0	0	0	0
	海蔵	501	0	2	0	1	0	1	0	5	18	0	186	0	0	0	6	4	0	0	0	0	3	0	3	2	3	2	8	0	1	0	2	7	84	0	1	0	85	49	14	14	0	0	0	0
	三重	569	0	9	0	2	0	1	0	21	29	1	178	1	0	3	22	5	0	0	0	5	7	0	7	2	5	2	20	0	0	0	0	12	69	0	0	0	48	83	30	7	0	0	0	0
	神前	153	0	5	0	1	0	0	0	8	9	1	21	0	0	0	9	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	31	0	0	0	0	6	24	0	3	0	8	11	5	4	0	0	0	0
	川島	149	0	2	0	0	0	0	0	4	6	0	72	0	1	1	6	4	0	0	0	0	1	0	2	0	1	1	4	0	0	0	0	4	7	0	2	0	4	11	13	3	0	0	0	0
	県	227	0	4	0	0	0	0	0	6	11	1	16	1	0	0	6	3	0	0	0	0	2	0	2	2	1	3	13	0	0	0	0	6	59	0	3	0	28	52	3	5	0	0	0	0
	桜	192	0	12	0	0	0	0	0	6	10	1	36	0	0	0	9	4	0	0	0	1	3	0	3	1	2	3	14	0	0	0	0	4	30	0	6	0	14	23	8	2	0	0	0	0
北消防署管内	小計	4370	15	75	0	4	0	3	0	56	161	5	1414	0	0	5	59	41	1	0	1	9	14	0	31	0	20	13	149	3	2	0	4	53	852	0	41	0	609	496	142	92	0	0	0	0
	富田	432	0	4	0	0	0	0	0	3	13	0	202	0	0	1	11	5	0	0	0	0	2	0	1	0	3	1	22	0	1	0	2	9	34	0	3	0	30	47	22	16	0	0	0	0
	羽津	1055	9	9	0	1	0	1	0	14	47	1	289	0	0	3	12	2	0	0	0	3	0	0	5	0	4	4	15	0	0	0	0	8	266	0	12	0	162	142	26	20	0	0	0	0
	富洲原	298	0	6	0	0	0	0	0	11	19	1	71	0	0	0	7	5	0	0	0	0	2	0	5	0	2	3	9	0	0	0	0	4	56	0	4	0	35	26	22	10	0	0	0	0
	大矢知	572	0	8	0	0	0	0	0	6	21	1	335	0	0	0	7	10	0	0	0	0	4	0	3	0	0	3	8	1	0	0	0	8	46	0	2	0	48	34	22	5	0	0	0	0
	八郷	411	0	11	0	0	0	0	0	3	11	1	73	0	0	0	6	4	0	0	0	1	1	0	3	0	3	1	39	0	0	0	1	6	116	0	1	0	62	45	16	7	0	0	0	0
	下野	191	0	8	0	0	0	0	0	0	6	0	78	0	0	0	1	4	0	0	0	1	0	0	4	0	2	0	10	0	0	0	0	3	26	0	2	0	10	21	9	6	0	0	0	0
	保々	208	1	6	0	0	0	0	0	0	6	0	41	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	15	0	0	0	0	6	50	0	0	0	49	21	4	2	0	0	0	0
	川越町	891	4	13	0	3	0	2	0	14	23	1	252	0	0	1	5	6	1	0	1	4	4	0	6	0	4	1	22	0	0	0	1	4	181	0	17	0	176	113	13	19	0	0	0	0
	朝日町	312	1	10	0	0	0	0	0	5	15	0	73	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	9	2	1	0	0	5	77	0	0	0	37	47	8	7	0	0	0	0
南消防署管内	小計	4292	3	62	0	7	0	2	2	57	154	18	939	3	0	8	45	51	0	2	2	16	25	0	31	8	39	18	129	5	1	1	2	66	883	0	35	0	734	744	134	62	0	0	4	0
	塩浜	794	0	4	0	0	0	0	0	8	9	6	65	0	0	0	1	2	0	0	0	1	3	0	4	2	3	0	10	0	0	0	1	10	232	0	8	0	174	218	21	12	0	0	0	0
	日永	1059	2	13	0	3	0	1	0	25	82	2	339	0	0	4	14	16	0	2	0	0	5	0	8	1	9	1	41	0	0	0	1	10	149	0	8	0	119	155	37	12	0	0	0	0
	河原田	573	0	4	0	3	0	0	2	0	13	1	55	0	0	0	1	6	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	14	0	0	0	0	5	173	0	3	0	153	124	8	5	0	0	0	0
	四郷	512	0	10	0	0	0	0	0	11	20	1	240	0	0	0	12	10	0	0	1	5	4	0	12	2	11	12	32	0	0	0	0	12	18	0	0	0	21	37	30	10	0	0	1	0
	内部	444	0	6	0	1	0	1	0	9	17	2	91	1	0	0	11	5	0	0	1	7	5	0	3	1	12	5	12	0	1	0	0	10	80	0	7	0	86	43	16	11	0	0	0	0
	小山田	160	0	7	0	0	0	0	0	2	2	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	8	1	0	0	0	8	59	0	2	0	20	23	5	3	0	0	0	0
	水沢	189	0	6	0	0	0	0	0	1	1	5	7	2	0	4	0	4	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	3	0	0	0	2	48	0	0	0	30	67	3	0	0	0	0	0
	楠	561	1	12	0	0	0	0	0	1	10	1	132	0	0	0	6	3	0	0	0	3	2	0	2	2	1	0	9	1	0	1	0	9	124	0	7	0	131	77	14	9	0	0	3	0

数量・類別危険物施設設置状況

（令和8年4月1日現在）

分区	所製等造	合計	製造所	貯蔵所										取扱所							事業所数
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	14kℓを越える被率引車	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	特定移送取扱所	一般取扱所	
合計		3,791	129	2,988	376	1,519	299	55	134	15	768	270	121	674	185	4	0	53	0	432	637
数量別	5倍以下	478	6	401	102	79	0	21	58	15	107	3	19	71	3	1	0	0	0	67	
	5倍を越え10倍以下	378	18	268	63	99	0	5	27	0	39	3	35	92	21	2	0	0	0	69	
	10倍～50倍〃	965	18	747	90	395	0	29	33	0	155	25	45	200	84	1	0	0	0	115	
	50倍～100倍〃	526	15	436	25	140	0	0	7	0	258	57	6	75	10	0	0	0	0	65	
	100倍～150倍〃	343	4	323	35	120	0	0	4	0	164	153	0	16	4	0	0	0	0	12	
	150倍～200倍〃	110	5	86	14	55	2	0	2	0	3	3	12	19	11	0	0	2	0	6	
	200倍～1,000倍〃	505	29	365	27	290	57	0	3	0	42	26	3	111	52	0	0	5	0	54	
	1,000倍～5,000倍〃	221	20	167	14	152	66	0	0	0	0	0	1	34	0	0	0	10	0	24	
	5,000倍～10,000倍〃	65	2	52	3	49	43	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	5	0	6	
	10,000倍を越えるもの	200	12	143	3	140	131	0	0	0	0	0	0	45	0	0	0	31	0	14	
類別	単独 第1類	5	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	単独 第2類	23	1	19	7	9	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0	2	
	単独 第3類	46	5	33	4	29	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
	単独 第4類	3,527	106	2,810	312	1,450	297	55	134	15	726	244	118	611	185	2	0	48	0	376	
	単独 第5類	10	0	9	6	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	単独 第6類	48	0	46	1	28	2	0	0	0	17	5	0	2	0	0	0	1	0	1	
	混在	132	17	68	43	0	0	0	0	0	25	21	0	47	0	2	0	3	0	42	

地区別危険物施設設置状況

（令和8年4月1日現在）

区分 / 地区		合計	製造所	貯蔵所 小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	取扱所 小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		3,791	129	2,988	376	1,519	55	134	15	768	121	674	185	4	53	432
中消防署管内	小計	754	25	568	52	222	38	53	7	171	25	161	58	1	13	89
	中部	373	9	310	26	97	5	24	1	140	17	54	21	1	1	31
	橋北	171	10	129	6	110	0	1	0	8	4	32	4	0	12	16
	海蔵	19	0	14	1	0	1	2	0	10	0	5	4	0	0	1
	常磐	13	0	8	3	0	0	5	0	0	0	5	2	0	0	3
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	13	0	8	3	0	0	2	0	0	3	5	4	0	0	1
	桜	20	1	15	3	0	0	5	2	5	0	4	3	0	0	1
	県	28	0	16	3	9	1	2	1	0	0	12	5	0	0	7
	三重	113	5	67	7	5	31	12	3	8	1	41	12	0	0	29
北消防署管内	小計	1,166	46	926	112	437	9	40	5	268	55	194	60	0	14	120
	羽津	517	33	396	44	271	0	6	0	59	16	88	7	0	13	68
	富田	42	0	36	5	0	3	6	1	16	5	6	6	0	0	0
	富洲原	59	2	49	10	1	2	1	0	27	8	8	7	0	0	1
	大矢知	24	0	17	13	0	0	3	0	1	0	7	2	0	0	5
	八郷	19	0	13	5	0	2	1	1	4	0	6	5	0	0	1
	下野	9	0	7	3	1	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1
	保々	25	1	16	7	4	0	1	1	1	2	8	4	0	0	4
	朝日町	39	0	29	7	12	1	0	1	2	6	10	5	0	0	5
	川越町	432	10	363	18	148	1	21	0	157	18	59	23	0	1	35
南消防署管内	小計	1,871	58	1,494	212	860	8	41	3	329	41	319	67	3	26	223
	塩浜	811	30	649	64	447	4	10	0	108	16	132	14	0	24	94
	日永	329	12	256	41	166	1	11	1	27	9	61	13	2	1	45
	四郷	8	0	4	1	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	2
	内部	74	1	53	6	5	0	4	0	38	0	20	13	0	0	7
	河原田	336	9	270	57	175	2	1	0	26	9	57	8	1	0	48
	小山田	76	2	57	6	17	0	4	2	28	0	17	9	0	0	8
	水沢	13	0	11	1	7	0	3	0	0	0	2	2	0	0	0
	楠	224	4	194	36	41	1	8	0	101	7	26	6	0	1	19

事業所等別危険物施設状況

（令和8年4月1日現在）

区分 ＼ 施設		合計	コンビナート				その他
			小計	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	
合計		3,791	1,828	1,126	297	405	1,963
製造所		129	95	46	16	33	34
貯蔵所	小計	2,988	1,424	891	235	298	1,564
	屋内貯蔵所	376	146	103	15	28	230
	屋外タンク貯蔵所	1,519	1,217	754	204	259	302
	屋内タンク貯蔵所	55	2	2	0	0	53
	地下タンク貯蔵所	134	6	4	2	0	128
	簡易タンク貯蔵所	15	0	0	0	0	15
	移動タンク貯蔵所	768	1	0	1	0	767
	屋外貯蔵所	121	52	28	13	11	69
取扱所	小計	674	309	189	46	74	365
	給油取扱所（営業用）	70	0	0	0	0	70
	給油取扱所（自家用）	115	1	1	0	0	114
	販売取扱所	4	0	0	0	0	4
	移送取扱所	53	52	26	13	13	1
	一般取扱所	432	256	162	33	61	176

コンビナート概要

事業所数　　（令和8年4月1日現在

事業所種別	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
第1種事業所	5	3	6	32
第2種事業所	12	2	4	
合計	17	5	10	

石油等の貯蔵取扱量及び高圧ガス処理量

石油等区分	第1コンビナート	第2コンビナート	第3コンビナート	コンビナート全体
石油貯蔵量（kl）	3,216,204	1,382,324	192,072	4,790,600
石油取扱量（kl）	930,472	1,017,877	65,585	2,013,934
石油合計量（kl）	4,146,676	2,400,201	257,657	6,804,534
高圧ガス処理量（N㎥）	279,331,057	91,711,922	207,026,328	578,069,307

特定防災施設

消火用屋外給水施設設置状況

種別 / 設置事業所数	消火栓単独施設	貯水槽単独施設	合計
23	23	0	23

流出油等防止堤設置状況

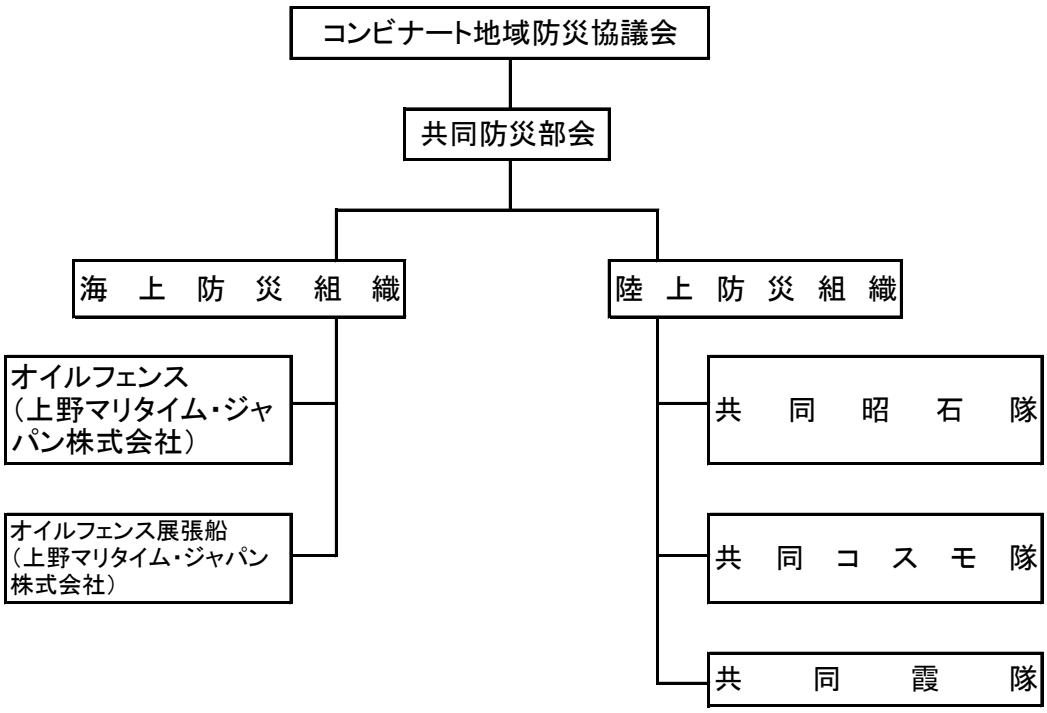
事業所数及びブロック数	対象タンク数及び合計容量	ブロックの最大収容容量	収容タンク数	収容タンクの総容量	法定堤内容量	堤内容量	堤の総延長
3社 10ブロック	93基 4,025,212 kl	232,210 kl	240 基	4,568,233 kl	702,195 kl	941,118 kl	15.34 km

非常通報設備（MCA無線機）導入状況

区分	導入事業所数	導入台数
第1種事業所	13	18
第2種事業所	16	21
合計	29	39

コンビナート防災体制

（共同防災体制）　　（令和8年4月1日現在）



（1） 海上防災組織防災隊員（計）

総　　数	16人
船舶乗組員	8人
その他の防災要員	8人

（1）陸上防災組織防災隊員（計）

総　　数	65人
指揮者・機関員	27人
その他の防災要員	38人

（2）防災資機材（計）

オイルフェンス	2,160m
オイルフェンス展張船	1隻

（2）防災資機材(計）

2　点　セ　ッ　ト	3セット
泡　消　火　薬　剤	64.4kℓ

（自衛消防体制）

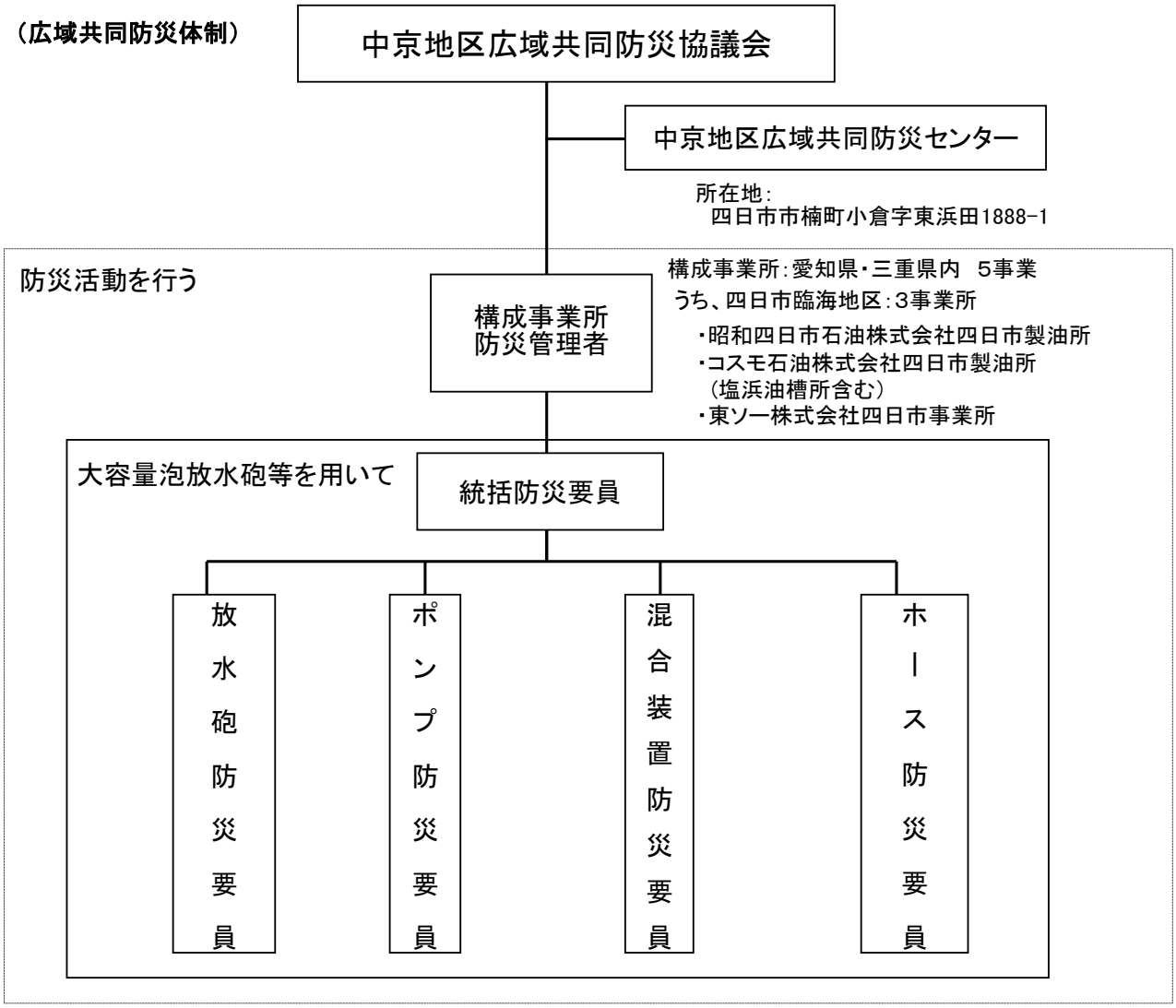
（1）防災隊員（計）

総　　数	1,182人
専　　任	280人
兼　　任	902人

（2）防災資機材（計）

オイルフェンス展張船	2隻
油回収船・油回収装置付	2隻
オイルフェンス	11,020m
泡消火薬剤	308.4kℓ
大型化学消防車	3台
大型高所放水車	0台
泡原液搬送車	1台
大型化学高所放水車	2台
甲種普通化学消防車	6台
その他消防車	1台

（広域共同防災体制）

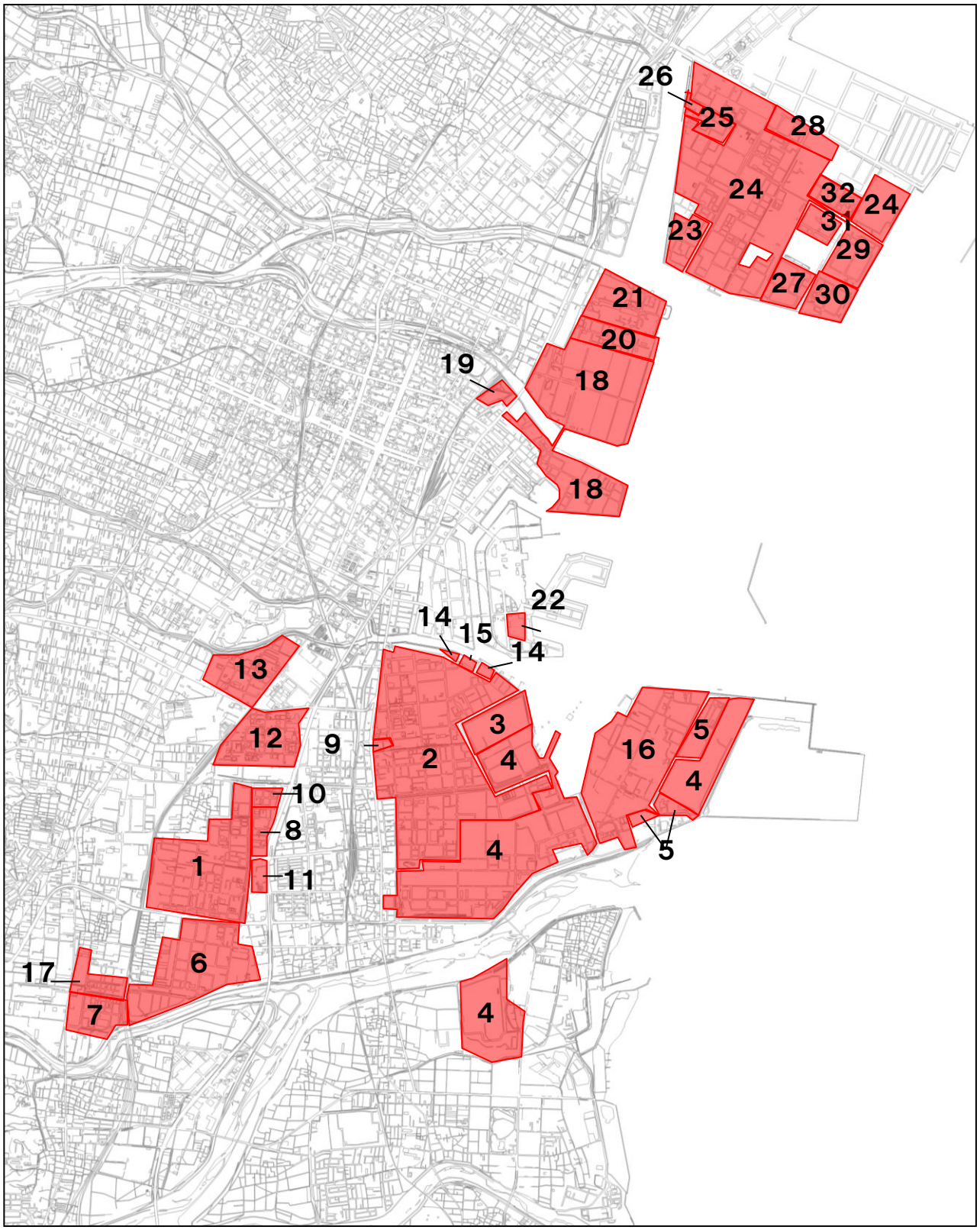


防災資機材の備付状況

項　　目	数 量	要　　目	備　付　場　所
放水砲	2砲	ノンアスピレート型 10,000～30,000L/min 可変ノズル2基	中京地区広域 共同防災センター
水中ポンプ	4基	型式：HFS Super HiFlow(2x) 駆動方式：油圧システム 吐出量：15,000L/min(1基当たり)	
加圧ポンプ	2台	型式：HS1200F 駆動源：ディーゼルエンジン(CAT　C32) 吐出流量：10,000L/min～30,000L/min	
ホース	4,727m	12B・リール式　計36セット 150m×24セット、100m×8セット、 50m×4セット（20m未満ホース含む）	
耐熱服	4着	PL－4000 東消型フードエプロンタイプ 呼吸器内蔵型	
空気呼吸器	4個	自動陽圧型空気呼吸器 ドレーゲルPSS5000	
泡消火薬剤	74kl	メガフォームCV－1 （AR-AFFF　1%型）	
消火薬剤用 仮設タンク	2個	ET-20　20kl	

四日市臨海地区特定事業所配置図

（令和８年４月１日現在）



四日市臨海地区特定事業所

	番号	種別	事業所名
第1コンビナート	1	第一種	(株)ENEOS マテリアル四日市工場
	2	〃	三菱ケミカル㈱東海事業所　塩浜地区
	3	〃（※）	コスモ石油㈱塩浜油槽所
	4	〃	昭和四日市石油㈱四日市製油所
	5	〃（※）	高純度シリコン㈱
	6	第二種	三菱ケミカル㈱東海事業所　川尻地区
	7	〃	三菱ケミカル㈱東海事業所　大治田地区
	8	〃	㈱ジェイエスピー四日市　第一工場
	9	〃	四日市合成㈱四日市工場
	10	〃	四日市合成㈱六呂見工場
	11	〃	東邦化学工業㈱四日市工場
	12	〃	味の素㈱東海事業所
	13	〃	三菱ガス化学㈱四日市工場
	14	〃	日本トランスシティ㈱東邦町タンクヤード
	15	〃	中部海運㈱東邦町タンクヤード
	16	〃	石原産業㈱四日市工場
	17	〃	ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ㈱四日市工場
第2コンビナート	18	第一種	コスモ石油㈱四日市製油所
	19	〃（※）	コスモ石油㈱第１陸上出荷場
	20	〃	KH ネオケム㈱四日市工場　午起製造所
	21	第二種	㈱ＪＥＲＡ四日市火力発電所
	22	〃	第一工業製薬㈱四日市工場　千歳地区
第3コンビナート	23	第一種	KH ネオケム㈱四日市工場　霞ヶ浦製造所
	24	〃	東ソー㈱四日市事業所
	25	〃	丸善石油化学㈱四日市工場
	26	〃（※）	四日市オキシトン㈱四日市工場
	27	〃	四日市エルピージー基地㈱霞事業所
	28	〃（※）	DIC㈱四日市工場
	29	第二種	㈱ＪＥＲＡ四日市 LNG センター
	30	〃	東邦ガス㈱四日市工場
	31	〃	コスモ石油㈱四日市霞発電所
	32	〃	第一工業製薬㈱四日市工場　霞地区

注）（※）はレイアウト対象外事業所を示す。

消　防　団

四 日 市 市 消 防 団 の 沿 革

江戸時代	各村に火の番所が設けられ、五人組という自治制度のもとに防火、消防活動が行われていた。また、江戸や城下町には町火消が組織されていた
明治19年	四日市に初めて火防組が組織される　消防夫59人
明治20年	火防組12組消防夫864 人となる
明治24年	火防組が消防組と改名される
明治25年	消防組23組消防夫1,309 人となる
明治27年 2月	勅令をもって消防規制が公布される 消防組規制により、消防組の全国的な統一が行われる
明治28年 12月26日	各町自警消防組を統一し、新たに四日市消防組として発足 四日市町消防組　第１番組川原町、末永、浜一色（橋北地区） 第２番組西町、久六町、比丘尼町、堅町 南町、北町、上新町（共同地区） 第３番組中町、境町、八幡町、中新町 四ツ谷新町、南新町、（同和地区） 第４番組浜町、北条町、下新町、新町　（同盟地区） 第５番組蔵町、北納屋町、中納屋町 桶ノ町、袋町、高砂町、稲葉町、南納屋町（港地区） 第６番組浜田、赤堀（浜田地区） 配置人員　組頭１人　小頭６人　消防手 193人　合計 200人 配備器具　ポンプ６　大水桶12　小水桶64　梯子６　鳶口31　刺又６　釣13 斧６　大縄６　纏　６　旗６　高張提灯６　弓張提灯62　消口札６
明治30年	市政実施とともに四日市消防組も市に引き継がれる
大正 6年 10月	第５番組（港地区）に初めてガソリンポンプを配置
大正12年 １月	全ての組にガソリンポンプを配置
大正15年	初めて自動車ポンプを購入し、組頭直属のもとに自動車隊が登場
昭和５年	市域の拡大に伴って第７番組（海蔵地区）第８番組（塩浜地区）が本市消防組に編入
昭和７年	本市上水道が完成し、消火栓355基を設置
昭和14年 １月	政府は準戦時体制から戦時体制に切換えを強行し、警防団令を発布した
昭和14年 4月1日	昭和６年頃に結成され、防空活動を行っていた防護団と消防組を合体し、四日市警防団を設置した 警防団は消防組と同一区画の８分団とした 定員 622人（内本部消防部16人） 分団に警護、消防、救護の３部を置く 初代警防団長　九鬼紋七氏
昭和16年	本市が富田町等２町３村を併合
昭和16年 10月3日	富田、富洲原両町の警防団を合体し、四日市北警防団を結成 四日市北警防団は、本部を富田警察署に置く　６分団　定員 363人 自動車ポンプ２台　ガソリンポンプ４台　腕用ポンプ３台 羽津、常磐、日永の各村警防団は四日市警防団の第9.10.11 分団として本市に引き継がれた
昭和17年 ８月	四日市警防団第５分団（港地区）に海上部を設置
昭和18年 ６月	海上部を四日市警防団海上分団とし、発動機船２、消防艇１、短艇４を装備した
昭和18年	四郷、内部両村が併合され四日市市には２警防団20分団になる
昭和22年 ９月	新消防団令に基づき、四日市市消防団と四日市市北消防団が組織され再出発した 四日市市消防団　本部と７分団　725人編成　初代団長　九鬼紋十郎氏 四日市市北消防団　富田、富洲原地区を区域とする　６分団　225人編成　初代団長　大野正平氏
昭和23年 ２月29日	消防組織法の施行により、四日市市消防団と四日市市北消防団を四日市市消防団として一本化した 初代消防団長　九鬼紋十郎氏
昭和24年 8月11日	２代目四日市市消防団長に大野正平氏就任
昭和26年 4月1日	四日市市消防団は消防団本部と橋北、港、中部、海蔵、塩浜、羽津、常磐、日永、四郷、内部、富田、富洲原、海上の13分団 四日市市消防団の定員 716名
昭和27年	四日市市消防団の定員 718名
昭和28年	四日市市消防団の定員 646名

昭和29年 ３月	小山田村が合併され、小山田村消防団が四日市市消防団に編入
昭和29年 ７月	市町村の合併により、河原田、神前、川島、桜、県、三重、大矢知、八郷、下野の９分団が増加し、23分団 四日市市消防団の定員 1,156名
昭和32年	市町村の合併により、保々、水沢の２分団が増加し25分団とした
昭和35年	四日市市消防団の定員 1,258名とした
昭和39年	中部分団を廃止し、四日市市消防団の定員の見直しを実施24分団1,258 名→ 427名
昭和53年 3月1日	３代目消防団長に榊原孫七氏就任
昭和63年	海上分団に消防車両が配備され、全消防分団に消防車両が配備された
平成元年 2月1日	４代目消防団長に岩田忠兵衛氏就任
平成７年 3月3日	四日市市消防団・四日市市消防本部連名で、消防庁長官表彰を受章
平成９年 2月1日	５代目消防団長に後藤正義氏就任
平成13年 8月1日	６代目消防団長に堀善澄氏就任
平成17年 2月7日	四日市市と楠町の合併に伴い、四日市市消防団と四日市市楠消防団の２団制をとる
平成17年 9月1日	港分団を廃止し、女性消防団員15名による「サルビア分団」を結成し、26分団とした
平成18年 2月24日	四日市市消防団が、消防庁長官から「消防団地域活動表彰」（団員確保功労）を受賞
平成22年 4月1日	四日市市消防団と四日市市楠消防団を四日市市消防団として一団化した 一団化に伴い、14分団で増員をするとともに機能別団員を採用し、定員を620名とした
平成22年 10月1日	７代目消防団長に稲垣貢氏就任
平成25年 8月1日	８代目消防団長に伊藤忠夫氏就任
令和2年 4月1日	北楠分団、南楠分団の2分団を楠分団として一分団化し、25分団とした 警防部水防対応班を警防部大規模災害対応班として再編成した
令和4年 6月1日	警防部大規模災害対応班としてバイク隊、水上バイク隊が発隊した
令和6年 8月1日	９代目消防団長に加藤友久氏就任

歴 代 四 日 市 市 消 防 団 長

代	氏　　名	在　　職　　期　　間
初	九　鬼　　紋十郎	昭和23年 9月29日 ～ 昭和24年 8月10日
2	大　野　　正　平	昭和24年 8月11日 ～ 昭和53年 2月28日
3	榊　原　　孫　七	昭和53年 3月 1日 ～ 平成元年 1月31日
4	岩　田　　忠兵衛	平成元年 2月 1日 ～ 平成９年 1月31日
5	後　藤　　正　義	平成９年 2月 1日 ～ 平成13年 7月31日
6	堀　　善　澄	平成13年 8月 1日 ～ 平成22年 8月29日
7	稲　垣　　貢	平成22年10月 1日 ～ 平成25年 7月31日
8	伊　藤　　忠　夫	平成25年 8月 1日 ～ 令和6年 7月31日
9	加　藤　　友　久	令和6年 8月 1日 ～ 現　　在

歴 代 四 日 市 市 楠 消 防 団 長

代	氏　　名	在　　職　　期　　間
初	橋　本　　巳貴也	平成17年 2月 7日 ～ 平成22年3月31日

消　防　団　員　の　配　置　状　況

（令和８年４月１日現在）

区分 ＼ 分団			団員数							
			合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
四日市市消防団	合計（条例定数６２０）		563	1	4	25	25	51	100	357
	団本部		91	1	4			2	7	77
		サルビア分団	15			1	1	1	2	10
	北ブロック	羽津分団	22			1	1	2	4	14
		富田分団	22			1	1	2	4	14
		富洲原分団	11			1	1	2	4	3
		大矢知分団	21			1	1	2	4	13
		八郷分団	20			1	1	2	4	12
		下野分団	20			1	1	2	4	12
		保々分団	22			1	1	2	4	14
	中ブロック	橋北分団	12			1	1	2	3	5
		海蔵分団	14			1	1	2	3	7
		海上分団	17			1	1	2	3	10
		常磐分団	19			1	1	2	4	11
		三重分団	21			1	1	2	4	13
		神前分団	22			1	1	2	4	14
		川島分団	19			1	1	2	4	11
		県分団	22			1	1	2	4	14
		桜分団	20			1	1	2	4	12
	南ブロック	塩浜分団	17			1	1	2	3	10
		日永分団	17			1	1	2	4	9
		河原田分団	17			1	1	2	3	10
		内部分団	22			1	1	2	4	14
		四郷分団	19			1	1	2	4	11
		小山田分団	17			1	1	2	4	9
		水沢分団	22			1	1	2	4	14
		楠分団	22			1	1	2	4	14

四 日 市 市 消 防 団 員 の 状 況

職業別消防団員数　　（令和8年4月1日現在）

職業別 / 団員数（人）	農業 林業 漁業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食業	金融 保険業	ｻｰﾋﾞｽ業 不動産業	公務	その他
564	25	54	186	18	40	51	6	69	25	90

消防団員の年令別状況　　平均年令　49才　　（令和8年４月１日現在）

区分 / 階級	総数	18～20才	21～25才	26～30才	31～35才	36～40才	41～45才	46～50才	51～55才	５６才以上
総数	**564**	**16**	**24**	**26**	**33**	**38**	**55**	**70**	**95**	**207**
団長	**1**									1
副団長	**4**							1		3
分団長	**25**						1		2	22
副分団長	**25**							1	5	19
部長	**51**							4	14	33
班長	**101**	1				2	10	22	28	38
団員	**357**	15	24	26	33	36	44	42	46	91

消防団員の在職年数状況　平均勤続年数　15年　　（令和8年４月１日現在）

区分 / 階級	総数	５年未満	５年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上～30年未満	30年以上
総数	**564**	**124**	**67**	**90**	**102**	**48**	**54**	**79**

消 防 団 員 出 動 状 況

（令和７年度）

区分＼月別		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
計	回数	**１４２**	**１９２**	**３０６**	**３２８**	**１３２**	**１８５**	**２１７**	**３４２**	**２８７**	**１８５**	**１２８**	**２６０**
	人員	**７５５**	**８４０**	**２,１９０**	**２,９４６**	**８５９**	**１,０６２**	**１,０２１**	**２,０８８**	**１,６７０**	**１,２２９**	**７９６**	**１,４２６**
災害	回数	０	０	０	０	０	２６	０	０	０	０	０	０
	人員	０	０	０	０	０	１４２	０	０	０	０	０	０
災害（４時間未満）	回数	３	２	１１	１７	２１	２４	９	１６	２０	１４	９	１６
	人員	２４	１１	７６	１３３	１４３	１５１	７５	１０４	１５０	８２	５９	１０６
警戒	回数	０	２	０	３	２	０	２	０	６５	１１	０	０
	人員	０	２	０	２３	２３	０	１５	０	６１８	７０	０	０
訓練	回数	４４	７６	１４８	１８５	４３	７５	７１	１５２	５９	７２	５０	６３
	人員	２７９	３５２	１,２５３	２,１４５	３１１	４４２	４５１	１,１５５	３３２	６８９	３４２	３４４
広報活動	回数	６	１	２	３９	１５	２	５	８８	２	２	４	７６
	人員	２５	１３	１４	９６	６０	２６	４１	４２７	２１	２２	３４	４１４
警防調査	回数	１３	１０	９	３	５	８	９	９	８	５	５	１２
	人員	１０１	８３	７７	２０	４１	５７	５７	８８	６５	４７	３３	５７
会議	回数	５０	５６	２１	１４	４	１７	４５	１２	３４	２４	３	３０
	人員	６４	６９	３８	２２	７	２６	５３	１６	３８	２９	３	３３
研修	回数	０	１	１８	４	９	１０	１５	７	７	８	３３	３４
	人員	０	３	３０	４	１２	１３	３８	２６	１１	１０	８６	２１２
消防用件	回数	４	１８	７６	４１	７	４	４０	３９	６７	３１	４	１０
	人員	１７	２８	４９０	３０７	２２	１７	８７	１０１	１５５	９８	２１	４０
ポンプ点検	回数	２２	２６	２１	２２	２６	１９	２１	１９	２５	１８	２０	１９
	人員	２４５	２７９	２１２	１９６	２４０	１８８	２０４	１７１	２８０	１８２	２１８	２２０

消防団訓練・研修実施状況

種別	実施機関	期間	参加人員	
分団長研修	消防本部	２月８日	８名	
警防・機関リーダー研修	各消防署	４月、５月	９２名	
初級幹部科	三重県消防学校	２月１４日～２月１５日（２日間）	１名（桜分団員）	
指揮幹部科分団指揮課程・指導員科	三重県消防学校	１０月１１日～１０月１２日（２日間）	１名（河原田分団員）	
指揮幹部科現場指揮課程	三重県消防学校	１０月２５日～１０月２６日（２日間）	１名（大矢知分団員）	
団長科	三重県消防学校	２月９日～２月１０日	１名（副団長）	
応急手当指導員	各消防署	５月、６月、１１月	２２名	
消防団員１日教育研修	三重県消防学校	１２月２１日、１月２５日、２月８日	３７名	
防災訓練	四日市市	９月２８日（中止）	０名	
規律訓練	各消防署	１１月	４１３名	
春・秋の火災予防運動．訓練	各消防署	１１月９日 ～ １１月１５日	３１６名	合計 １１１４名
		３月１日～３月７日	３９９名	
文化財防火デー	各消防署	１月、２月	３５名	

サルビア分団活動状況

四日市市消防団の女性消防分団（以下　サルビア分団）は、平成１７年９月に、消防団の活性化対策の一助とするために結成されました。

主に火災予防啓発活動を行っており、具体的には、幼児を対象として行う大型紙芝居や小・中学生を対象として防火教育、防災教室、応急手当普及び講習などの訓練指導を中心に活動しています。災害出動はしませんが、きめ細かな対応で創意工夫をしながら減災活動に取り組んでいます。

サルビア分団年間活動状況　　令和７年度（回／年）

予防広報（大型紙芝居を含む）	１０回

消防団防災支援者の登録状況

「災害」への備えとしては、被害の発生を防ぐ「もの」の備えと、被害は出てもその拡大を防ぐ「ひと」・「こと」の備えが必要であるといわれています。特に大規模災害が発生した場合には、地域における消火・救助・避難誘導等の防災活動が被害の拡大を食い止めるために重要になってきます。

そのため、四日市市として安全で安心して暮らせるまちづくりの推進事業の一環として 、四日市市消防団から退職されました団員の消火技術や防災の知識・技術・経験を活かし、消防分団及び自主防災隊が行う消防・防災活動をボランティアで支援する四日市市消防団防災支援者制度を創設したものです。

登録状況

令和８年４月１日現在　１２３名